

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和2年9月30日

【計算期間】 第14期中（自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日）

【ファンド名】 マネックス ファンド・オブ・ファンズ シリーズ -
Monex-HFR プライベートエクイティファンド&ヘッジファンド・イ
ンベストメント 2006
(Monex Fund of Funds Series I -
Monex-HFR Private Equity Fund & Hedge Fund Investments
2006)

【発行者名】 バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド
(Butterfield Bank (Cayman) Limited)

【代表者の役職氏名】 トラスト・サービシズ マネージャー
クリストファー・エバンクス (Christopher Ebanks)
トラスト・サービシズ ディレクター
スチュアート・ブレイ (Stuart Bray)

【本店の所在の場所】 ケイマン諸島、KY1-1107、グランド・ケイマン、私書箱705、
フォート・ストリート68
(68 Fort Street, P.O. Box 705, Grand Cayman, KY1-1107,
Cayman Islands)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 竹野 康 造

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所

【事務連絡者氏名】 弁護士 竹野 康 造

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所

【電話番号】 03 (6212) 8316

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

マネックス ファンド・オブ・ファンズ シリーズ - Monex-HFR プライベートエクイティファンド&ヘッジファンド・インベストメンツ2006（以下、マネックス ファンド・オブ・ファンズ シリーズ を「ファンド」、Monex-HFR プライベートエクイティファンド&ヘッジファンド・インベストメンツ 2006を「サブ・ファンド」といいます。）の運用状況は以下のとおりです。

(1)【投資状況】

(2020年7月末日現在)

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託 （ヘッジ・ファンド）	バミューダ諸島	1,947,708,849	91.19
リミテッド・パートナーシップ持分 （プライベート・エクイティ・ファンド）	アメリカ合衆国	32,000,694	1.50
リミテッド・パートナーシップ持分 （プライベート・エクイティ・ファンド）	日本	4,888,179	0.23
小計		1,984,597,722	92.92
現金・その他の資産（負債控除後）		151,185,268	7.08
合計（純資産総額）		2,135,782,990	100.00

（注1）投資比率とは、サブ・ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。以下同じです。

（注2）ファンドは、ケイマン諸島の法律（以下「ケイマン法」といいます。）に基づいて設定されますが、ファンド証券は、円建てのため以下の金額表示は別段の記載がない限り円貨をもって行います。

（注3）本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入してあります。従って、合計の数字が一致しない場合があります。また、円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

2020年7月末日までの1年間における各月末の純資産の推移は以下のとおりです。

	純資産総額 (円)	1口当たり純資産価格 (円)
2019年8月末日	2,509,459,836	11,852
9月末日	2,499,895,764	11,807
10月末日	2,487,063,994	11,747
11月末日	2,376,511,471	11,738
12月末日（注）	2,360,675,227	11,660
2020年1月末日	2,355,433,962	11,634
2月末日	2,345,931,847	11,587
3月末日	2,260,961,793	11,167
4月末日	2,281,146,254	11,267
5月末日	2,137,392,570	11,215
6月末日	2,134,933,595	11,202
7月末日	2,135,782,990	11,207

（注）純資産総額および1口当たり純資産価格は、各評価時点において入手した直近の価格等の情報に基づき算定された、各月末時点の数値です。

そのため、毎年会計年度末時点および中間期末時点で、管理報酬、受託報酬およびその他の運営費用がその発生時に費やされるものとして計算され作成される財務書類記載の数値とは異なることがあります。

なお、各評価日に算定された純資産総額および受益証券の1口当たり純資産価格は、財務書類記載の純資産総額により（上方または下方）修正されることはありません。また、受益証券に係る（購入または買戻しなどの）取引も、目論見書および付属書類に準拠して算定された純資産総額が適用され、財務書類記載の純資産総額により当該取引が修正されることはありません。

【分配の推移】

計算期間	分配金（円）
2019年8月1日～2020年7月末日	0

【収益率の推移】

計算期間	収益率（注）
2019年8月1日～2020年7月末日	-6.01%

（注）収益率（%）= 100 × (a - b) / b

a = 当該期間最終日の1口当たり純資産価格（当該期間の分配金の合計額を加えた額）

b = 当該期間の直前の日の1口当たり純資産価格（分配前の額）

2【販売及び買戻しの実績】

2020年7月末日までの1年間における販売および買戻しの実績ならびに2020年7月末日現在の発行済口数は以下のとおりです。

販売口数	買戻口数	発行済口数
0	21,145	190,582
(0)	(21,145)	(190,582)

(注) ()内の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

3【ファンドの経理状況】

- a . ファンドの日本語の中間財務書類は、米国で一般に認められた会計原則に準拠して作成された原文の中間財務書類を日本語に翻訳したものです。これは「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第76条第4項ただし書の規定の適用によるものです。
- b . ファンドの原文の中間財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）の監査を受けていません。
- c . ファンドの原文の中間財務書類は日本円で表示されています。

（１）【資産及び負債の状況】

Monex-HFR プライベートエクイティファンド&ヘッジファンド・インベストメンツ 2006

連結純資産計算書
2020年6月30日現在
(日本円で表示)

	(日本円)
資産	
投資有価証券	
株式	2,012,226,062.40
現金	
現金および現金等価物	160,438,150.98
為替予約に係る未収金	
為替予約に係る未収金	1,926,299,550.00
前払マネーロンダリング報告責任者報酬	
前払マネーロンダリング報告責任者報酬	323,790.00
資産合計	4,099,287,553.38
負債	
未払会計費用	
未払会計費用	- 971,369.94
未払投資顧問報酬	
未払投資顧問報酬	- 4,363,735.72
未払代行協会員報酬	
未払代行協会員報酬	- 272,733.48
未払監査報酬	
未払監査報酬	- 7,730,486.40
ブローカー未払金	
ブローカー未払金	- 12,707,881.18
未払保管報酬	
未払保管報酬	- 202,368.75
未払販売会社報酬	
未払販売会社報酬	- 2,454,602.34
為替予約に係る未払金	
為替予約に係る未払金	- 1,931,965,293.69
未払信用状手数料	
未払信用状手数料	- 323,789.95
未払投資運用報酬	
未払投資運用報酬	- 2,731,751.00
未払金	
未払金	- 113,447.31
未払管理報酬	
未払管理報酬	- 404,737.49
未払受託会社報酬	
未払受託会社報酬	- 111,760.43
負債合計	- 1,964,353,957.68
純資産総額	2,134,933,595.70

Monex-HFR プライベートエクイティファンド&ヘッジファンド・インベストメンツ 2006

連結損益計算書

2020年1月1日から2020年6月30日までの期間

（日本円で表示）

		（日本円）
費用		- 27,863,814.55
会計費用		- 1,939,275.00
	現金および現金等価物	- 1,939,275.00
投資顧問報酬		- 9,071,763.07
	現金および現金等価物	- 9,071,763.07
代行協会員報酬		- 566,985.19
	現金および現金等価物	- 566,985.19
監査報酬		- 2,544,120.00
	現金および現金等価物	- 2,544,120.00
銀行手数料		- 43,586.65
	現金および現金等価物	- 43,586.65
保管報酬		- 404,015.63
	現金および現金等価物	- 404,015.63
販売会社報酬		- 5,102,866.73
	現金および現金等価物	- 5,102,866.73
政府費用		- 545,853.79
	現金および現金等価物	- 545,853.79
弁護士報酬		- 6,781.59
	現金および現金等価物	- 6,781.59
信用状手数料		- 646,425.00
	現金および現金等価物	- 646,425.00
マネーロンダリング報告責任者報酬		- 321,480.00
	現金および現金等価物	- 321,480.00
投資運用報酬		- 5,633,930.08
	現金および現金等価物	- 5,633,930.08
管理報酬		- 808,031.25
	現金および現金等価物	- 808,031.25
受託会社報酬		- 228,700.57
	現金および現金等価物	- 228,700.57
投資に係る実現および未実現損益		- 63,980,789.08
為替に係る未実現損益の変動		- 21,392,063.01
	現金および現金等価物	1,097,766.57
	株式	- 10,106,679.58
	為替予約	- 12,383,150.00
価格に係る未実現損益の変動		- 49,391,462.07
	株式	- 49,391,462.07
長期通貨に係る損益		457,730.76
	株式	457,730.76
長期価格に係る損益		8,691,483.78
	株式	8,691,483.78
Section 988の費用		- 85,676,618.50
	現金および現金等価物	- 48,517,998.50
	為替予約	- 37,158,620.00
Section 988の収益		89,807,665.25
	現金および現金等価物	24,047,065.25
	為替予約	65,760,600.00
短期通貨に係る損益		- 4,513,997.23
	株式	- 4,513,997.23
短期価格に係る損益		- 1,963,528.06
	現金および現金等価物	0.56
	株式	- 1,963,528.62
純損益		- 91,844,603.63

(2) 【投資有価証券明細表等】

Monex-HFR プライベートエクイティファンド&ヘッジファンド・インベストメンツ 2006

連結投資有価証券明細表

2020年6月30日現在

(日本円で表示)

	%	口数	時価 (日本円)
HFRマスター・トラスト	92.49		
バミューダ・ユニット・トラスト	92.49		
リキッド・オルタナティブ			
HFR LA Master Trust - Monex 2006 Fund Class C		18,480.75	1,974,652,020
合計	92.49		1,974,652,020
マスター・トラストへの投資合計			1,974,652,020
			時価 (日本円)
			地域
Blackstone Capital Partners V-AC L.P./Blackstone Capital Partners(Cayman)V-AC L.P.		10,449,027	北アメリカ
Carlyle Japan International Partners II, LP		5,033,364	アジア
J.C. Flowers II L.P.		288,389	北アメリカ
Thomas H. Lee Parallel Fund VI, L.P.		21,803,262	北アメリカ
プライベート・エクイティ・ファンドへの投資合計	1.76	37,574,042	
純資産計算書上の投資有価証券合計	94.25		2,012,226,062

4【管理会社の概況】

（１）【資本金の額】

管理会社の2020年7月末日現在の資本金は、16,450,000米ドル（17億2,067万円）であり、授權資本数および発行済株式総数は16,450,000株で、全額払込済みです。授權資本および追加で発行する株式資本について、法律上または規制上の制限はありません。

（注）アメリカ合衆国ドル（以下「米ドル」といいます。）の円貨換算は、便宜上、2020年7月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝104.60円）によります。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

管理会社の事業の目的には、定款に記載される以外の制限はなく、あらゆる種類の金融、商業および取引業務ならびにこれらの目的に関連して便宜上行われ得ると考えられるその他業務を履行することを含みます。

管理会社は、2020年7月末日現在、以下の投資信託の管理・運用を行っています。

国別（設立国）	種別（基本的性格）	本数	純資産額の合計
ケイマン諸島	公募	2	3,092,526,375円

（３）【その他】

本書提出日前6か月以内において、訴訟事件その他管理会社に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実は生じておりません。

5【管理会社の経理の概況】

- a . 管理会社であるバターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッドの直近2事業年度の日本文の財務書類は、米国において一般的に公正妥当と認められる会計原則（GAAP）に準拠して作成された原文（英文）の財務書類を日本語に翻訳したものです。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第131条第5項ただし書の規定の適用（ただし、円換算部分を除きます。）によるものです。
- b . 管理会社の原文（英文）の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるプライスウォーターハウスクーパース ケイマン諸島から監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含む。）が当該財務書類に添付されています。
- c . 管理会社の原文（英文）の財務書類は米ドルで表示されています。日本文の財務書類には、主要な金額について円貨換算が併記されています。日本円による金額は、2020年7月31日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝104.60円）で換算されています。なお、百万円未満の金額は四捨五入されています。

（１）【資産及び負債の状況】

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド

連結貸借対照表

12月31日現在（米ドルで表示：千単位）

	2019年		2018年	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
資産				
現金および要求払い預金	133,793	13,995	156,036	16,321
現金等価物	623,614	65,230	762,301	79,737
銀行預け金合計	757,407	79,225	918,337	96,058
短期投資	-	-	24,878	2,602
負債証券				
売却可能	967,591	101,210	837,341	87,586
満期保有	924,423	96,695	817,565	85,517
負債証券への投資合計	1,892,014	197,905	1,654,906	173,103
貸出金および参加貸出金（貸倒引当金控除後）	1,104,689	115,550	1,012,235	105,880
土地建物、設備およびソフトウェア	46,804	4,896	48,186	5,040
無形資産	12,056	1,261	13,157	1,376
未収利息	7,336	767	7,368	771
のれん	551	58	551	58
売却目的で保有する資産	-	-	397	42
その他の資産	18,217	1,905	25,453	2,662
資産合計	3,839,074	401,567	3,705,468	387,592
負債				
顧客預金				
無利息	782,079	81,805	715,417	74,833
利付	2,693,087	281,697	2,652,140	277,414
顧客預金合計	3,475,166	363,502	3,367,557	352,246
未払利息	1,626	170	1,922	201
その他の負債	60,167	6,293	63,649	6,658
その他の負債合計	61,793	6,464	65,571	6,859
負債合計	3,536,959	369,966	3,433,128	359,105
株主資本				
普通株式資本（1株当たり1.00米ドル、 授權株式数 16,450,000株）				
（2018年：1株当たり1.00米ドル、 授權株式数16,450,000株）	16,450	1,721	16,450	1,721
利益剰余金	277,466	29,023	269,643	28,205
その他の包括（損）益累計額	8,199	858	(13,753)	(1,439)
株主資本合計	302,115	31,601	272,340	28,487
負債および株主資本合計	3,839,074	401,567	3,705,468	387,592

役員会を代表して署名

マイケル A. マクワット
代表取締役アーウィン ディカー
最高財務責任者

添付の注記は当連結財務書類と不可分のものである。

（２）【損益の状況】

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド

連結運用計算書

12月31日終了年度（米ドルで表示：千単位）

	2019年		2018年	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非金利収益				
資産運用	3,524	369	3,476	364
銀行業務	22,309	2,334	20,457	2,140
外為収益	20,671	2,162	18,630	1,949
信託	5,347	559	5,098	533
その他の非金利収益	2	0	120	13
非金利収益合計	51,853	5,424	47,781	4,998
利息収益				
貸出金にかかる利息および手数料	56,446	5,904	54,535	5,704
投資有価証券	54,624	5,714	45,837	4,795
銀行預け金	11,901	1,245	7,019	734
利息収益合計	122,971	12,863	107,391	11,233
利息費用				
預金	8,407	879	4,182	437
利息費用合計	8,407	879	4,182	437
債権回収引当金控除前利息純収益	114,564	11,983	103,209	10,796
債権回収引当金	1,893	198	1,297	136
債権回収引当金控除後利息純収益	116,457	12,181	104,506	10,931
売却可能投資有価証券にかかる 実現純利益	571	60	341	36
土地建物、設備およびソフトウェアにかかる 実現純（損）益	(2)	(0)	6	1
その他の保有不動産にかかる 実現純利益	-	-	2	0
その他の利益合計	569	60	349	37
純収益合計	168,879	17,665	152,636	15,966
非金利費用				
給料およびその他の従業員給付	29,787	3,116	29,055	3,039
技術および通信	13,732	1,436	13,739	1,437
財産（維持）	4,300	450	5,242	548
専門および外部サービス	4,334	453	4,213	441
所得税以外の税金	2,109	221	1,850	194
無形資産の償却	1,101	115	1,014	106
マーケティング	1,070	112	987	103
その他の費用	4,623	484	4,566	478
非金利費用合計	61,056	6,386	60,666	6,346
純利益	107,823	11,278	91,970	9,620

添付の注記は当連結財務書類と不可分のものである。

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド
連結包括利益計算書
12月31日終了年度（米ドルで表示：千単位）

連結運用計算書の項目 (もしあれば)	2019年		2018年	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
包括利益				
純利益	107,823	11,278	91,970	9,620
売却可能投資有価証券 から移動された 満期保有投資有価証券 にかかる未実現純利益の増 加	(56)	(6)	(73)	(8)
期中未実現純（損）益	22,579	2,362	(8,996)	(941)
実現利益から 純利益への再分類		売却可能投資有価証券に かかる実現純損（益）		
	(571)	(60)	(341)	(36)
包括利益合計	129,775	13,574	82,560	8,636

添付の注記は当連結財務書類と不可分のものである。

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド

連結株主資本変動計算書

12月31日終了年度（米ドルで表示：千単位）

	2019年		2018年	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
発行済普通株式				
授権株式、発行および全額払込済 （2019年：16,450,000株） （2018年：16,450,000株）	16,450	1,721	16,450	1,721
利益剰余金				
期首残高	269,643	28,205	237,673	24,861
当期純利益	107,823	11,278	91,970	9,620
宣言済および支払済現金分配	(100,000)	(10,460)	(60,000)	(6,276)
期末残高	277,466	29,023	269,643	28,205
その他の包括（損）益累計額				
期首残高	(13,753)	(1,439)	(4,343)	(454)
満期保有投資有価証券の調整				
純利益への純利益の償却	(56)	(6)	(73)	(8)
満期保有投資有価証券にかかる 未償却利益純変動	(56)	(6)	(73)	(8)
売却可能投資有価証券の調整				
未実現（損）益総額	22,579	2,362	(8,996)	(941)
実現（利益）から純利益への移動	(571)	(60)	(341)	(36)
売却可能投資有価証券にかかる 未実現および実現（損）益の純変動	22,008	2,302	(9,337)	(977)
期末残高	8,199	858	(13,753)	(1,439)
株主資本合計	302,115	31,601	272,340	28,487

添付の注記は当連結財務書類と不可分のものである。

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド

連結キャッシュ・フロー計算書

12月31日終了年度（米ドルで表示：千単位）

	2019年		2018年	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
純利益	107,823	11,278	91,970	9,620
純利益を営業によるキャッシュ・フローへ調整：				
減価償却費	17,374	1,817	17,493	1,830
債権回収引当金	(1,893)	(198)	(1,297)	(136)
売却可能投資有価証券の実現純損（益）	(571)	(60)	(341)	(36)
営業資産および負債の変動：				
未収利息の（増）減	33	3	(824)	(86)
その他の資産の（増）減	7,236	757	(11,527)	(1,206)
未払利息の（増）減	(296)	(31)	917	96
その他の負債の増（減）	(3,484)	(364)	17,129	1,792
営業活動により生じた現金	126,222	13,203	113,520	11,874
投資活動によるキャッシュ・フロー				
短期投資の純減少	24,878	2,602	24,943	2,609
土地建物、設備およびソフトウェアの取得	(4,320)	(452)	(3,113)	(326)
貸出金および参加貸出金の純（増）減	(93,908)	(9,823)	(47,786)	(4,998)
満期保有投資有価証券：満期および償還手取金	109,999	11,506	68,450	7,160
満期保有投資有価証券：購入	(220,144)	(23,027)	(357,675)	(37,413)
売却可能投資有価証券：売却手取金	111,247	11,636	219,332	22,942
売却可能投資有価証券：満期および償還手取金	143,841	15,046	141,834	14,836
売却可能投資有価証券：購入	(366,355)	(38,321)	(132,636)	(13,874)
事業取得の現金支出純額	-	-	(5,483)	(574)
投資活動（に使用された）/により生じた現金	(294,762)	(30,832)	(92,134)	(9,637)
財務活動によるキャッシュ・フロー				
要求払預金および定期預金債務の純増（減）	107,610	11,256	419,047	43,832
現金分配金支払	(100,000)	(10,460)	(60,000)	(6,276)
財務活動により生じた/（に使用された）現金	7,610	796	359,047	37,556
銀行預け金の純増（減）	(160,930)	(16,833)	380,433	39,793
期首現在銀行預け金	918,337	96,058	537,904	56,265
期末現在銀行預け金	757,407	79,225	918,337	96,058
キャッシュ・フロー情報の補足開示				
現金支払利息	8,703	910	3,265	342
現金項目以外の補足開示				
売却可能投資有価証券と引き換えた貸出金の消滅	3,347	350	-	-

添付の注記は当連結財務書類と不可分のものである。

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド

連結財務書類に対する注記

（米ドルで表示：千単位）

注1：事業内容

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッド（以下「当銀行」という。）は、すべてのサービスを備えたコミュニティ・バンク（地域密着型）であり、専門的なウェルス・マネジメント（富裕層向け）サービスも提供している。提供業務には、ケイマン諸島におけるリテール業務、プライベートおよびコーポレート・バンキング業務、トレジャリー業務、資産運用業務、ならびに個人および企業向けの信託業務が含まれる。

当銀行は、1967年11月22日にケイマン諸島の法律に基づき設立され、バミューダで設立された企業であるザ・バンク・オブ・NT・バターフィールド・アンド・サン・リミテッド（以下「バターフィールド」という。）の完全子会社である。バターフィールドは、ニューヨーク証券取引所およびバミューダの証券取引所に株式が上場されている株式公開企業である。バターフィールド・グループは、バミューダ金融庁（以下「BMA」という。）により規制されている一方で、ケイマン諸島金融庁（以下「CIMA」という。）にも規制されている。両監督機関ともバーゼル基準に従い運営している。

当銀行は、ケイマン諸島の銀行信託会社法に基づくカテゴリー A 銀行免許および信託免許を有している。さらに、当銀行は、証券投資業務法に基づき認可されている。

当銀行は、直接または間接的に以下の子会社を有する。

フィールド・ディレクターズ
（ケイマン）リミテッド

フィールド・セクレタリーズ
（ケイマン）リミテッド

フィールド・ノミニーズ
（ケイマン）リミテッド

バターフィールド・トラスト
（ケイマン）リミテッド

バターフィールド・フィデューシャリー
・サービス（ケイマン）リミテッド

当銀行は、米国連邦税法上、米国内での取引または事業に従事しているとみなされず、またはいかなる法域においても課税対象となるとみなされないような運営体制をとっている。

注2：重要な会計方針

a. 表示の基準ならびに見積りおよび仮定の利用

当銀行およびその子会社の会計および財務報告方針は、米国で一般に認められる会計原則（以下「GAAP」という。）に従う。GAAPに準拠した財務書類の作成のため、経営陣は資産および負債の計上額、および財務書類日付時点の偶発資産および負債の開示、ならびに当期中の損益の計上額に影響を与える見積りおよび仮定を行わなければならない、実際の結果はかかる見積りとは異なる可能性がある。

重要な会計上の見積りは、経営陣に対して本質的に不確実で翌期以降に変動する可能性のある事項の影響について主観的で複雑な判断を求めるものである。かかる分野における裏付となる仮定または見積りの変更が求められたことで、将来の財務状況および運用実績に重大な影響を及ぼすことがある。経営陣は、銀行の財務状況および業績を左右し、最も複雑もしくは主観的な決定または精査を含む最も重要な会計方針は、以下のとおりと考えている。

貸倒損失の引当て

金融商品の公正価値および減損

無形資産の減損

株式報酬

b．連結基準

連結財務書類には、当銀行および当銀行が過半数を所有する子会社ならびに当会社が第一受益者である変動持分事業体（以下「VIE」という。）の会計を含んでいる。当銀行は、連結を義務付けられているVIEに対する持分を保有していない。会社間勘定および会社間取引は排除されている。当銀行は議決権の50%超を直接または間接的に保有するか、支配権を行使する子会社を連結している。当銀行が議決権の20%から50%を保有し、および/または重大な影響を及ぼす権限を有する事業体を持分法に基づき計上し、その損益の割当持分はその他の非金利収益に含まれる。

c．外貨換算

外貨取引により生じる資産および負債は、貸借対照表日付現在の実勢為替レートで米ドルに換算され、関連する収入および費用は当期中の実勢為替レートで米ドルに換算される。これにより生じた損益は連結運用計算書の外為収益に含まれる。

d．信託資産または保管資産

顧客に代わり預託されているか、保護預かりまたは受託者資格で保有する有価証券および財産（当銀行で保有する現金および預金を除く。）は、当銀行が当該資産の受益者でないため、連結貸借対照表に含めない。

e．銀行預け金

銀行預け金には、手許現金、回収が見込まれる現金項目、コルレス銀行からの未収金および既知の金額に容易に換金可能な極めて流動性が高く、公正価値の変動リスクが僅少な投資対象を含む。かかる投資対象は、取得日から満期までが3か月以下のもので、制限のない定期預金、譲渡性預金および財務省証券である。

f．短期投資

短期投資は、取得日から満期までが1年未満で、公正価値の変動リスクが僅少であるもののみとする、定期預金、譲渡性預金および取得日から満期までが3か月以上の財務省証券からなる。財務省証券は償却原価で計上される。

g．投資

負債証券への投資は、売却可能（以下「AFS」という。）または満期保有（以下「HTM」という。）に分類される。

投資は、主に当銀行の金利および流動性の変動に対するエクスポージャーの管理、同時に戦略的な長期投資に用いられる場合にAFSに分類される。AFS投資は、その他の包括（損）益累計額（以下「AOCI」という。）に対する純増減として未実現損益を計上し、連結貸借対照表に公正価値で計上される。

当銀行が満期まで保有する積極的意思と能力を有する投資は、HTMに分類され、連結貸借対照表に償却原価で計上される。HTM証券の未実現損益は、連結財務書類の注記に開示される。AFS投資に対する実現損益の決定には、特定持分法が用いられ、これは連結運用計算書上のAFS投資に対する実現純利益に含まれている。

プレミアムおよび割引の償却を含むキャッシュ・フローが未確定とみなされない証券に対する利息収益は、連結運用計算書の利息収益に含まれる。キャッシュ・フローが未確定である証券に関して、投資は原価回収

基準に基づき計上され、これにより、受領した全ての元本およびクーポン支払額については償却原価および帳簿価額の減額とされる。未収利息は、債務不履行となったか、または予定通りに将来利払いが受領できない可能性が高い負債証券については中止される。

一時的でない減損の認識

負債証券について、経営陣は、当該証券に基づく償却原価全額を回収する見込みのない場合、公正価値の下落を一時的でない減損とみなす。評価損を抱える負債証券に対する投資は、経営陣による継続中の一時的でない減損(以下「OTTI」という。)の評価の一環として分析される。経営陣にかかる証券を売却する意思があるか、または当銀行がおそらく償却原価の回復前に当該証券の売却を求められる可能性がある場合、減価償却法による場合と当該証券の公正価値の場合の差額全額に相当する減損額を認識する。経営陣に売却を行う意思がないか、当銀行がおそらく償却原価の回復まで当該証券を保有する可能性が高い場合は、経営陣はOTTIを認識するため貸倒損失が存在するかどうか判断する。一定の状況で、経営陣は、定性的判断を行い、公正価値が原価を下回っている期間および割合、特に当該産業に関連する悪条件、発行会社の地域もしくは財務状況、または証券の裏付けとなる担保、当該証券の支払構造、格付け機関による当該証券の格付け変更、公正価値の変動ボラティリティ、貸借対照表日付後の当該証券の公正価値の変動を含むさまざまな要素を考慮する。あるいは、経営陣が貸倒損失が存在するかどうかを評価するために裏付けとなる証券の残存期間にわたるキャッシュ・フローを見積る。貸倒損失が存在する場合、AFSおよびHTM投資に関する貸倒損失に関する減損額を純益として認識される。AFS投資については、貸倒損失以外の要因に関連する公正価値の減少をAOCIで認識する。キャッシュ・フロー見積額には、例えば、裏付けとなるローンレベル情報、および劣後状況、超過スプレッド、超過担保、またはその他の様式の信用補完等の証券化の構造的特徴を含む、報告期間終了時の関連市場および経済情報が考慮されている。投資証券の回収可能金額の決定に含まれる判断の成否は、観測可能な市場価格、または観測可能な市場パラメータが利用できるかどうかによって左右される。観測可能な市場価格およびパラメータが存在しない場合、回収可能価格を見積るためには判断が必要であり、これにより評価過程の不確実性が増すことになる。評価過程では、利率変動、信用スプレッドの変動、デフォルト率の仮定、前払金の仮定、担保の種類および品質、ならびに市場センチメントが考慮される。

経営陣による公正評価には、観測の可能性が低いか、より高度の見積りを必要とするインプットや仮定を含む可能性があり、このため当該投資が最終的に売却される実際の価格または最終的に回収されるキャッシュ・フローより高くなることも低くなることもある。経営陣によるその公正評価の根拠となる仮定が変動した場合、当銀行はさらなるOTTIまたは実現損益を生じ、期間ごとの評価額の変動が、極めて大きくなる可能性がある。

h. 貸出金

貸出金は残存元本(貸倒引当金、前受収益、および正味繰延貸出金手数料控除後)で計上される。利息収益は、実効金利法を用いて貸出期間にわたり認識するか、または貸出期間にわたり平均収益率の近似値に基づき認識するが、不良債権については除かれる。繰上げ返済違約金(もしあれば)は、特定融資契約の条項に基づき、支払金の受領時に認識される。

取得貸出金

取得貸出金は、取得日現在の公正価値で計上される。取得資産の公正価値が信用リスクに関する仮定を含むため、貸倒引当金は取得日に計上されない。契約上支払い義務のあるすべての未収金を受取れない可能性についての信用の質の低下の証拠を有する取得貸出金は、購入信用減損貸出金として処理される。通常、不計上状態についての当銀行の定義を満たす取得貸出金は信用減損とみなされる。

取得日に測定される購入信用減損貸出金に係る予想回収キャッシュ・フローと見積公正価値との差額は、増加収益とされ、実効金利法を用いて貸出金の残存期間にわたり利息収益として認識される。取得日現在、契約上支払い義務のある金額と予想回収キャッシュ・フローとの差額は、非増加差額とされ、購入信用減損貸出金の帳簿価額の減少として計上される。

当銀行は、貸借対照表日ごとに見積キャッシュ・フローおよび購入信用減損貸出金の簿価を下記に記載する不良債権の測定と同じ方法で評価する。当銀行は、購入信用減損貸出金の簿価が減少しているかどうかを貸借対照表日ごとに評価し、もし減少している場合、連結運用計算書の貸倒引当金に認識する。予想回収キャッシュ・フローのいずれの増加についても、当銀行は、まず初めに今まで計上された購入信用減損貸出金の引当金を調整し、その後に購入信用減損貸出金の残存期間にわたり、見込みベースで認識される増加収益を調整する。

予想回収キャッシュ・フローの時期および金額について合理的期待がある限り、購入信用減損貸出金は、債務不履行とはみなさず、増加収益の受取を継続する。

参加または譲渡ローン

当銀行は、大規模ローンの主導的な貸し手として随時行為することができ、戦略的または商業的理由から、当該ローンの一部を他の市場参加者に譲渡することができる。このような譲渡は、主導的な貸し手である当銀行に対する償還請求権を伴わないものであり、参加者/譲渡人は、当該貸出金に比例して参加し、譲渡することに伴う最終的な借り手のリスクと義務をすべて受け入れるものである。当銀行は、当該貸出金の残存残高のうち未割り当て部分を貸借対照表に記録し、当該貸出金の未割り当て部分に係る利息収入の比例持分のみを連結運用計算書に記録している。

減損した貸出金

貸出金は、最新の情報および事象に基づき、当銀行が、予定の利払いを含むローン契約に基づく期日の到来した全ての金額を回収することができないと判断した場合に減損したとみなす。減損した貸出金等には、不良債権化した全ての貸出金、およびトラブルド・デット・リストラクチャリング（以下「TDR」という。）に修正された全ての貸出金（リストラクチャリング後に全額回収が見込まれる場合であっても）を含む。

貸出金が減損したと認識された場合、減損は予想将来キャッシュ・フローの現在価値に基づき測定されるが、当該貸出金の唯一（残存する）返金の資金源が、担保の運用または現金化である場合を除き、貸出金の実効金利で割引かれる。かかる場合、割引キャッシュ・フローではなく、担保の現在の公正価値（売却費用控除後）を用いる。

当銀行が、減損した貸出金の実現可能な予想価値が計上した貸出金に対する投資額（事前の貸倒償却、繰延貸出金手数料、および未償却プレミアムまたはディスカウント控除後）を下回ると判断した場合、減損は引当金の見積額で認識する。当銀行が引当金の一部が回収不能と判断した場合、当該金額を貸倒償却する。

未収利息不計上

商業ローン、商業不動産ローン、および消費者ローン（クレジットカード消費者ローンは除く。）は、以下の場合、直ちに未収利息不計上とみなす。

- 経営陣が、元本または利息の全額支払いが疑わしいと判断した場合、または
- 元本または利息が支払期日を90日経過している場合。

住居用モーゲージは、以下の場合、直ちに未収利息不計上とみなす。

- 経営陣が、元本または利息の全額支払いが疑わしいと判断した場合、または
- 元本または利息が支払期日を90日経過している場合、ただし当該貸出金が十分に担保され、現行の回収作業で当該貸出金の契約条項に基づき、期日の到来した全ての金額の返金が合理的に見込まれる場合を除く。

未収利息不計上貸出金に係る利息収益は、現金で受領した場合にのみ認識される。確実に全額が回収できる（特定の引当金で減損を認識しない）未収利息不計上貸出金につき受領した現金は、最初に当該貸出金のこれまでの未払元本の支払いに充当され、次にこれまでの未払利息および手数料に充当される。

未収利息不計上貸出金の完全な全額返金が疑わしい（特定の引当金で減損を認識する）場合は、受領したすべての現金は、当該貸出金の元本に充当される。当該貸出金の利息収益は、すべての未収残金が回収され利息分が実際に受領された場合にのみ認識する。

貸出金が未収利息計上に戻されるのは、

- 元本および未収利息の支払期限前（一定の例外あり）であり、当銀行への契約上の債務残額の返済が期待できる。または
- 当該貸出金が、十分に保証され、かつ回収手続きにある場合。

トラブルド・デット・リストラクチャリング（「TDR」）に修正された貸出金

貸出金の修正は、借り手が財政困難な状態であり、修正が当初に合意された条件からの譲歩となる場合にTDRとなる。リストラクチャリングがTDRとみなされる場合、当銀行は、連結財務書類の注記において一定の開示を行わなければならない、減損のために再構築された貸出金を個別に評価しなければならない。当銀行は、そうでなければ考慮しないであろう貸出金の修正に際し、返済期間の延長、金利の引き下げ、元本または利息の免除、支払猶予、およびその他経済的損失を最低限にし、差し押さえまたは担保の占有の回収を避けるためのその他の行為を含むさまざまな種類の譲歩を行う。

TDRに修正された商業および産業用ローンは、一時的に利払いのみ、期間延長、およびリボルビングローンのタームローンへの変更を含むことが多い。追加担保、共同債務者、または保証人が要請されることも多い。

TDRに修正された商業モーゲージおよび建築用ローンは、同様のリスクを有する新たな負債に対する現行の市場金利を下回る金利での満期延長、または新たな借り手もしくは保証会社への変更もしくは追加を含むことが多い。

住居用モーゲージの修正は、通常、短期の支払猶予期間が含まれ、その後、ローン期間終了まで支払われなかった金額が付加されるため、満期日が延長される。支払われなかった金額に対し利息は継続して発生するため、モーゲージに対する実効利回りは変わらない。支払猶予期間は、通常、重要でない支払遅延を含むため、一般的にはTDRの報告水準には該当しない。

貸出金がTDRとなる場合、修正後に貸出金を未収利息計上とするか未収利息不計上とするかの判断は、いくつかの要因に依拠する。リスク評価プロセスと同様に、係る貸出金の未収利息計上の決定は、貸出金のTDR分析および算定とは独立しており、かつ明確に異なるプロセスで行われる。経営陣は、リストラクチャーされた貸出金の未収利息計上を判断する際に、以下について考慮する。

リストラクチャー前の貸出金が適切に未収利息計上であった場合、借り手は、従前の条件に基づく実績を明らかにし、当銀行の信用評価では、リストラクチャーの条件に基づく債務の履行(元本と利息の支払いの両方)が継続可能であるという借り手の能力を明らかにする。これによってリストラクチャー時点で未収利息計上のままである貸出金について適切な結論となり得る。評価には、貸出金がリストラクチャーされた日付より前の合理的な期間について、借り手の継続的な過去の返済実績を考慮しなければならない。一般的な返済実績の継続期間は、最短6か月で、現金および現金等価物が含まれる。または、

リストラクチャー前の貸出金が未収利息不計上であった場合、当銀行の信用評価では、リストラクチャーの条件に該当するという借り手の能力を明らかにし、借り手が継続的な返済実績の合理的な期間を実証するまで貸出金は未収利息不計上のままの可能性がある。上述の通り、一般的な当該期間は、少なくとも6か月である(これにより修正された条件に基づく元本と利息の全額が最終的に回収されるといふ合理的な確証を与える。)。リストラクチャー前の継続的な実績が考慮されることがある。

TDRに修正された貸出金は、修正条件に基づき利息および元本の支払いが6か月間継続して履行されている場合にのみ未収利息計上に戻される。ただし、修正前の履行状況または修正と同時に発生した重大な事象は、借り手が新たな条件を満たすかどうかの精査に含まれ、かかる貸出金は貸出金修正時に未収利息計上またはより短期間の履行期間後に未収利息計上に戻されることがある。借り手がかかる修正支払スケジュールを履行できるかどうか不確実な場合、貸出金は未収利息不計上の状態のままとする。

減損する前にTDRに修正された貸出金は、再構築された条件で全額回収が予想される場合には、未収利息計上のままとする。当銀行は、顧客と共にこうした困難な経済状況に取り組んでおり、貸出金が減損していない場合でも、不良債権化、または不良債権の危険のある貸出金のTDRへの振替を行うことがある。

前期にTDRに修正され、その後に緩和条件なく市場金利で現行の貸出審査基準に基づき借り換えられた貸出金は、新規貸出金として会計処理され、もはやTDRとして報告されない。

延滞

元本または利息の最低支払額が特定の期日までに受領されていない場合、一勘定の残額全額を契約上の支払いが延滞しているとする。延滞は支払期日を30日以上経過している貸出金について計上される。

貸倒償却

当銀行は、貸出金を回収不能とみなした場合に貸倒償却を認識し、これは、通常、実務上合理的な貸出金残額の回収方法が消滅した場合に発生する。

商業用および消費者ローンは、以下の場合に当該貸出金の担保の公正価値まで全額または一部のいずれかで貸倒償却される。

- 経営陣が当該貸出金を回収不能と判断した場合、
- 合理的なタイムフレーム以上に回収に時間がかかると予想される場合、
- 当銀行の内部貸出金検討手順または第三者の鑑定人のいずれかにより、資産が損失に分類された場合、または
- 顧客が破産を申請し、資産またはキャッシュ・フローの欠如を理由に損失が明白になった場合。

売却費用を控除した不動産の見積額を上回る商業用および消費者用不動産担保ローンならびに住宅用モーゲージの未払残高は、かかる超過残高が回収不能であることが合理的に見て確実となった場合に、貸倒償却される。

契約上の支払期日を180日超過したクレジットカード消費者ローン、および契約上の支払期日を180日超過した10万ドル未満の未払残高のその他の消費者ローンは、貸倒償却される。

i . 貸倒引当金

当銀行が貸倒引当金を計上している場合、経営陣は、貸借対照表日付現在の貸出およびオフバランスシートと信関連契約に関わる予想される信用関連損失全額は十分にカバーされると考えている。貸倒損失引当金は、以下の個別引当金および一般引当金からなる。

個別引当金

個別引当金は、エクスポージャーを基準としてエクスポージャーごとに決定され、関連する予想貸倒損失を反映する。個別貸倒引当金は、貸出金の計上投資額と当該貸出金の将来キャッシュ・フロー予想額の差額として算出される。当該貸出金の実行利率がキャッシュ・フローの割引に使用される。ただし、担保付貸出金の差し押さえが確実な場合、当銀行は、当該担保の公正価値に基づき減損を測定する。当銀行は、減損の測定に際して、割引基準で売却見積費用を考慮するが、かかる費用が返金または別途当該貸出金の支払いに当てるために利用可能なキャッシュ・フローを減額する可能性がある場合に限る。減損した貸出金の測定額が当該貸出金計上投資額を下回る場合、当銀行は、貸倒引当金の繰入に相当額を計上して引当金を設定し減損を認識する。

一般引当金

残存ポートフォリオに帰属する貸倒引当金は、貸借対照表日付現在で貸出およびオフバランスシートの与信関連契約ポートフォリオに関して発生済みの損失を予測するさまざまな分析を通じて、設定される。かかる分析では、これまでのデフォルト率、地理上、産業上およびその他環境上の要因を考慮する。また、経営陣は、内部リスク格付けのエクスポージャーの傾向、現金主義の貸出金、過去および予測される回収不能額、ならびに産業上、地理上およびポートフォリオ上の集中(かかるセグメント内の最新の展開を含む。)を含むポートフォリオ指標全般についても考慮することがある。さらに、経営陣は、最新の事業戦略および与信供与プロセスを考慮するが、これには、限度設定、およびコンプライアンス、与信承認、貸出引受基準、ならびに貸出実施手順を含む。

小口均質貸出金の各ポートフォリオ(消費者割賦払い、リボルビング貸付け、および多くのその他の消費者ローンを含む。)は、減損を集合的に評価する。かかる貸出金に帰属する貸倒引当金は、さまざまな分析に基づき、当該ポートフォリオに付属し、そこから生じた確実に発生する損失を見積り後設定される。経営陣は、これまでの貸倒損失、延滞債権(支払期日を30日を超えて経過している貸出金と定義される。)、支払停止債権および条件緩和債権、貸出金残高および期間の傾向、貸出全般の品質評価、与信供与プロセス(貸出方針および手順を含む。)ならびに経済的、地理的、製品のおよびその他の環境要因を含むポートフォリオ指標全般を検討する。

j . 企業結合、のれんおよび無形資産

全ての企業結合は、取得法を用いて会計処理される。識別可能な無形資産(主に顧客関連)は、のれんとは個別に認識され、当初、割引キャッシュ・フローの計算およびその他の認可された評価方法を用いて公正価値で評価される。のれんは、企業買収に支払った対価の公正価値と取得純資産の公正価値の差額で表示される。

のれんは、毎年、報告単位レベルで、または事象や状況が減損の可能性を示す場合には、より頻繁に、減損の有無が検査される。配分されたのれんを含む報告単位の帳簿価額が公正価値を超過する場合、のれんの減損は、報告単位の配分されたのれんの帳簿価額とのれんの想定される公正価値の差額として測定される。耐用年数を確定できるその他の取得無形資産は、見積耐用年数にわたり定額法で償却されるが、15年を超えてはならない。無形資産の見積耐用年数は、毎年見直され、減損の兆候がある場合、減損テストを実施する。

k. 土地建物、設備およびソフトウェア

土地は、原価で計上される。建物、設備およびソフトウェア(リース物件改良費を含む。)は、減価償却費控除後の原価で計上される。当銀行は、通常、資産の見積耐用年数(建物については50年、その他の設備については3年から10年)にわたり定額法で減価償却費を計算する。リース物件改良費について、当銀行は、リース物件の残存期間または当該改良の経済的な見積耐用年数のいずれか短いほうの期間にわたり定額法を用いる。当銀行は、内部利用のソフトウェアの取得または開発に関連して、その開発段階で発生した一定の費用を資産計上する。当該ソフトウェアが予定通り利用可能となった時点で、当該費用はかかるソフトウェアの見積利用年数(5年から10年の間)にわたり定額法で減価償却される。

経営陣は、減損の兆候がある場合、土地建物、設備およびソフトウェアの帳簿価額の回収可能性を見直し、見直しを行った資産の帳簿価額が当該資産の利用および処分で生じる将来予想キャッシュ・フローにより回収できないと判断した場合、減損を計上する。土地建物、設備およびソフトウェアの処分がある場合、処分に係る受取額の差額が当該資産の帳簿価額を超過する場合に利益が計上される。それ以外の場合は、損失が計上される。土地建物、設備およびソフトウェアからの廃棄がある場合、当該資産の帳簿価額の全額が損失として認識される。

l. リース

通常の業務において、当銀行は賃借人または賃貸人のいずれかとしてリース契約を締結する。2019年1月1日(新たなリース会計ガイダンスの会計基準書アップデート(以下「ASU」という。)第2016-02号「リース」(トピック842)の適用日)より、当銀行は、オペレーティング・リースおよびファイナンス・リースについて、使用権資産およびリース債務を(それ以前の期間に対して調整することなく、将来に向かって)認識した。リース債務は、合理的に確実に生じる更新期間を含む、当銀行の限界借入利率を用いて割り引きされた将来のリース料支払額の現在価値として測定される。使用権資産は、関連するリース債務の帳簿価額として測定され、前払いまたは未払いのリース料、未償却の受取りリース・インセンティブ、未償却の当初直接費用および使用権資産の減損について調整される。

2019年1月1日、当銀行は、実務上の便宜として、(1)契約が失効しているか既存の契約があるか、またはリースが含まれているかを再評価しないこと、(2)契約が失効しているか既存のリースかについて、リース分類を再評価しないこと、(3)既存のリースについて、当初の直接費用を再評価しないこと、を選択した。

当銀行はまた、すべての原資産のクラスについて、リースの構成要素とリース以外の構成要素とを分離しない実務上の便宜を選択した。

さらに当銀行は、当初12か月以内に期限の到来するリースについて、合理的に確実に行使可能な更新オプション(以下「短期リース」という。)を含む使用権資産およびリース債務を認識しないという実務上の便宜を選択した。

m. デリバティブ

全てのデリバティブは、連結貸借対照表に公正価値で認識される。当銀行がデリバティブ契約を締結した日付現在で、当該デリバティブを、認識済の資産または負債の公正価値のヘッジ(公正価値ヘッジ)、予定取引または認識済の資産もしくは負債に関連して受領予定あるいは支払予定のキャッシュ・フローの変動のヘッジ(キャッシュ・フロー・ヘッジ)、トレーディング目的、またはヘッジ以外の目的で保有される商品(トレーディング目的またはヘッジ以外を目的とした商品)に指定する。

公正価値ヘッジまたはキャッシュ・フローヘッジにおいてヘッジ手段として使用されるすべての商品は、デリバティブ商品の定義を満たすために、1つ以上の基礎となる想定元本、ゼロもしくは少額の当初純投資額、および契約に差金決済のための引当金を有していなければならない。

公正価値ヘッジとして指定し認められたデリバティブの公正価値の変動は、ヘッジ対象リスクに起因するヘッジ資産または負債の公正価値の変動とともに、当期利益に計上される。キャッシュ・フロー・ヘッジに指定され認められたデリバティブの公正価値の変動は、ヘッジ有効部分は、その他の包括利益(以下「OCI」という。)に計上され、非有効部分は当期利益に計上される。デリバティブによる非有効部分で、ヘッジされたキャッシュ・フローの変動を上回る金額は利益に計上される。しかし、デリバティブによる非有効部分で、ヘッジされたキャッシュ・フローの変動を下回る金額は利益に計上されない。為替ヘッジに指定され認められたデリバティブの公正価値の変動は、公正価値またはキャッシュ・フロー・ヘッジの基準をヘッジ関係が満たしているかどうかによって、当期利益またはOCIのいずれかに計上される。トレーディング目的およびヘッジ以外の目的のデリバティブ商品の公正価値の変動は、当期利益に計上される。

当銀行は、リスク管理目的、および様々なヘッジ取引の実施戦略と同様に、ヘッジ商品およびヘッジ対象間のすべての関係につき、正式に文書化する。かかる過程には、公正価値ヘッジ、キャッシュ・フロー・ヘッジ、または為替ヘッジに指定された全てのデリバティブの連結貸借対照表上の特定資産および負債、または特定の確定コミットメントもしくは予定取引との関連付けを含む。また、当銀行は正式に、ヘッジ取引に利用されるデリバティブがヘッジ対象の公正価値またはキャッシュ・フローの変動を相殺するのに極めて有効であるかどうか、およびかかるデリバティブが、将来も極めて有効であると予想されるかどうかにつき精査する。こうした中止されたヘッジ関係、削除されたヘッジ指定、または発生する見込みのなくなった予定取引、またはヘッジ関係が極めて有効ではないものについては、上記に記載のヘッジ会計の適用は行われず、エンド・ユーザーのデリバティブも停止され、トレーディング勘定に振り替えられる。公正価値ヘッジに関しては、中断前のヘッジ対象項目の簿価の変動は、資産または負債の一部に残される。キャッシュ・フロー・ヘッジが中断された場合、当初に指定した期間内に予定取引が発生する見込みがなくなるまで、デリバティブ純(損)益はAOCIに残る。

n. 担保

当銀行は、預金商品およびデリバティブ金融商品に関係する様々な取引に対し、必要に応じて資産を担保として差し入れる。担保として差し入れられた資産(担保権者が売却または再担保できるものを含む。)は、引き続き、同種の無担保資産と同じ勘定科目で、当銀行の連結貸借対照表に計上される。

o. 従業員給付

当銀行は、全ての従業員に対して、信託型確定拠出年金制度を維持している。当銀行および加入従業員は、各加入従業員の年金受給対象給与に基づく年間拠出額を提供する。支払額は当期に費用計上され、連結運用計算書の給料およびその他の従業員給付に含まれる。

p. 株式報酬

バターフィールドは、適格従業員による業務に対して株式決済型の株式報酬支払取引を実施している。提供された業務の公正価値は、付与日の株式または株式オプションの公正価値を参考に測定される。付与された株式または株式オプションに関連する従業員の業務にかかる費用は、バターフィールドにより当銀行に割り当てられ、付与期間または勤務期間の短い方にわたり、連結運用計算書の給料およびその他の従業員給付で認識される。

q . 収益認識

信託報酬、コーポレート・サービス報酬には、非公開および機関投資家向け信託、遺言執行者責務、企業およびマネージド・バンク勘定に対する報酬を含む。資産運用報酬には、投資運用、投資顧問およびブローカー業務に対する報酬が含まれる。報酬は関係する期間にわたり、または当銀行が顧客に対して全ての業務を提供し、当該顧客より報酬を回収する権限を有する場合、当該報酬に関連する偶発事象がない場合に限り、収益として認識される。

銀行業務報酬は、主に、信用状およびその他の財務保証書、両建預金、当座貸越およびその他の金融サービス関連商品に対する手数料報酬ならびにクレジットカード手数料報酬を含む。信用状手数料およびその他の財務保証書手数料は、関連する保証が発行されている期間にわたり収益として認識される。クレジットカード手数料報酬は、加盟店割引料、延滞金および会費から仲介料ならびに報酬費用を控除した金額から構成されている。クレジットカード手数料報酬は、当該業務が提供される期間に認識される。その他すべての報酬は、当該業務が提供される期間に収益で認識される。

外貨収益には、当該取引が発生した時点で認識される為替取引から得られる手数料、ならびに現地の機能通貨以外の通貨で保有または支払われる金融商品を貸借対照表日現在の実勢為替レートで換算した際に認識される損益が含まれる。

貸出利息収益には、払戻不能なローン組成手数料およびコミットメント報酬の償却費が含まれる。当該報酬は、関連する貸出期間にわたり金利調整額として認識される。かかるローン組成手数料およびコミットメント報酬は、関連する直接費用で相殺され、純額のみが繰り延べられ、利息収益に償却処理される。

負債証券に関する利息収益(プレミアムおよびディスカウントの償却額を含む。)でキャッシュ・フローが不確実でない場合、連結運用計算書の利息収益に含める。未収利息不計上の貸出金は、原価回収基準に基づき計上され、これにより、受領した全ての元本、利息およびクーポン支払額については償却原価および帳簿価額の減額が行われる。

r . 公正価値

公正価値は、測定日に市場参加者間の秩序ある取引により当該資産または負債の主要なもしくは最も有利な市場において、資産につき受領したか、負債の移転のために支払った交換価値(出口価格)である。当銀行は、企業に対して公正価値測定時に観察可能な入力値の使用を最大限にし、観察不能な入力値を最小限にすることを要求する公正価値ヒエラルキーをもとに、資産および負債の公正価値を決定する。当該会計基準には、公正価値測定に使用される入力値の三階層が記載されている。トレーディングおよび売却可能と分類された投資、ならびにデリバティブ資産および負債は、連結貸借対照表上に公正価値で認識される。

レベル1、2および3の評価入力値

経営陣は、以下に記載されるそれぞれの公正価値決定につき使用される入力値のレベルに基づき、公正価値で認識される項目を分類する。

公正価値入力値がレベル1とみなされるのは、同一資産の活発な市場における未調整の相場価格に基づく場合である。

公正価値入力値がレベル2とみなされるのは、資産または負債について直接もしくは間接的に観察可能な相場価格以外の入力値（活発とはみなされない市場における入力値を含む。）に基づく場合である。

公正価値入力値が、レベル3とみなされるのは、経営陣の見積りまたはブローカーからの拘束力のない買気配値を含む観察不能な重大な仮定を用いる内部で開発されたモデルに基づく場合である。

金融商品の公正価値決定に際し、以下のモデルおよび仮定を用いる。

現金および現金等価物

現金および銀行預金（その性質上短期である）の帳簿価額は、公正価値に等しいとみなす。

現金等価物には、取得日から満期までが3か月未満のもので、制限のない定期預金、譲渡性預金証書および財務省証書が含まれ、これらは、その性質上短期であり、市場金利に近い利息を生じ、一般に信用リスクが軽微であるため、取得価格の帳簿価額が公正価値に近いとみなす。

短期投資

短期投資は制限付き定期預金および要求払い預金、および制限のない定期預金、ならびに取得日から満期までが3か月以上1年未満の財務省証書からなる。これらは、その性質上短期であり、市場金利に近い利息を生じ、一般に信用リスクが軽微であるため、取得価格の帳簿価額が公正価値に近いものとみなす。

投資

AFS（売却可能投資）の公正価値は、通常、第三者から提供される。確定利付債の公正価値は、入手可能な市場相場価格に基づき、市場相場価格が入手できない場合、第三者の値付けサービス（以下「値付けサービス」という。）により提供される「買い呼び値評価額」に基づくか、または値付けサービスが特定の有価証券について提供を行っていない場合は、ブローカーまたは引受人の買い呼び値気配値を参考にする。当銀行が、現在の取引状況が問題のある取引であると判断した場合、当銀行は、内部で作成したモデルの活用を選択できる。値付けサービスは、一般的に評価の大半に主にレベル2の入力値を用いる評価にマーケット・アプローチ法を用いるか、またはディスカウント・キャッシュ・フロー分析の様式を用いることもある。値付けサービスは、評価を行うために利用可能な客観的に認められる情報がある場合、公正価値の見積りのみを行うとしている。利用可能な場合のおおよその利用優先順位順に列記された、値付けサービスにより提供された評価に対する標準入力値には、計上取引、ベンチマーク利回り、ブローカー/ディーラー相場、発行体スプレッド、両面市場、ベンチマーク証券、買い呼び値、申込み、および参照データを含む。値付けサービスは、入力値の優先順位を日付ごと、証券ごとに変えてつけることがあり、各証券の評価について各日に行われる評価過程においてすべての列挙された入力値が利用可能とは限らない。ただし、値付けサービスはまた、市場指数ならびに産業および経済事象も監視している。こうした入力値が入手できない場合、「大量の」類似の証券（資産クラスタイプ、セクター、サブ・セクター、契約上のキャッシュ・フロー/構造、および信用格付けの特徴により振り分けられる）を見出し、いくつかのマトリックスやその他のモデル化された値付けを適用し、市場の買い手が直近の売却時に証券に対して支払うであろう最善の見積価格を表す証券価格の近似値を決定する。値付けサービスが、報告日の評価を行うために十分な市場の裏付け情報を入手できる場合、投資対象の公正価値を決定する情報源として値付けサービスを活用することは業界の一般的な慣習である。さらに、大半の場合、評価額が、一証券または類似証券のクラスについて特定の値付けサービスから入手できる場合でも、こうした評価額は、他の値付けサービスが提供する評価額により裏付けを行う。

当銀行が、保有する投資証券の過半数につき値付けサービスから評価額を受領する場合、最終的には、受領し財務書類に計上した評価額が適切な公正価値測定を表象しているかどうか決定するのは経営陣の責任である。

ブローカー/ディーラー相場は、流動性が制限されているか、最新の取引がないか、または個別に交渉される取引のみで取引が行われているといった当該証券に固有の要因のため、値付けサービスより価格を入手することができない場合、確定した満期のあるものを評価するために用いる。このような場合、ブローカーが利用する重要な入力値が観察可能な市場データにより裏付け困難であるか、またはブローカーが活用する特定の入力値に関する十分な情報がレベル2に分類できるほど入手できないことを理由に、レベル3の評価とみなされる。

開示の目的上、満期保有目的の投資は、上記と同様の方法を用いた公正価値で評価される。

貸出金

貸出金の過半数は、変動金利であり、市場金利の変動に合わせて価格が変動するが、経営陣は貸出金の公正価値はその帳簿価額と大きく違わないと予想している。重要な固定金利貸出金エクスポージャーについては、将来のキャッシュ・フローを割引くことにより公正価値が見積もられ、類似の貸出金が、類似の信用格付け、同じ残存満期で借り手に対して実行されるであろう現行の金利が用いられる。

未収利息・未払利息

未収利息および未払利息の帳簿価額は、短期という性質上、その公正価値に近いと推定される。

預金

固定金利預金の公正価値は、契約上のキャッシュ・フローを割引くことにより見積られ、条件が同じ預金に対する貸借対照表日現在の市場金利が用いられる。満期のない預金の帳簿価額は、公正価値に等しいとみなす。

デリバティブ

デリバティブ契約には、取引所で売買されるもの、または店頭（以下「OTC」という。）デリバティブ契約があり、金利または為替に関する先渡、スワップおよびオプション契約が含まれる。取引所で売買されるデリバティブは、一般的に活発に取引されているかどうかによって公正価値ヒエラルキーのレベル1に含まれる。OTCデリバティブは、市場取引およびその他の市場での根拠を使用して評価される。それには、可能であれば、当該評価に至るまでに使用されたインプットの理解が得られる場合、モデルに対する市場ベースのインプット、市場決済取引に対するモデル・キャリブレーション、ブローカーまたはディーラー相場価格あるいは別の価格情報が含まれる。

モデルが使用される場合、OTCデリバティブを評価する特定のモデルの選択は、契約条件および商品に内在する特定のリスクならびに市場価格情報の有効性に依拠する。当銀行は通常、類似商品进行评估するために類似モデルを用いる。評価モデルには、契約条件、市場価格、利回曲線、信用曲線、ボラティリティーの測定、支払金利およびかかるインプットの相関関係を含む様々なインプットを要する。一般的な先渡、金利スワップおよびオプションなどの流動性の高い市場で取引されるOTCデリバティブについて、モデルインプットは通常検証され、モデルの選択は重要な経営陣の判断を伴わない。

のれん

のれんが認識される報告単位の公正価値は、評価日現在の市況および報告単位に固有のリスクを反映した割引率を用いて見積将来キャッシュ・フローを割り引くことにより減損評価を行った時点で決定される。

s . 固定資産の減損または処分

固定資産の帳簿価額がその使用および処分により予想される割引前のキャッシュ・フロー額を上回る場合に、減損損失を認識する。認識された減損は、当該資産の帳簿価額が公正価値を上回った額と測定される。売却以外の方法で処分された固定資産は、処分または廃棄日まで利用目的保有に分類され計上される。一定の基準を満たす資産は、売却目的保有に分類され、その帳簿価額または公正価値(見積売却額控除後)のいずれか低い価格で測定される。

t . 与信関連契約

通常業務において、当銀行は、顧客の与信請求に因應するため、様々なコミットメントを締結している。かかるコミットメントは、連結貸借対照表には計上されておらず、以下を含む。

- 一定の条件に従い、貸出またはその他特定額および特定の満期を有する融資の形態で、与信を利用できる仕組みをあらわす与信付与のコミットメント
- スタンドバイ信用状(顧客が金融債務を支払えなくなった場合に第三者に対して支払いを行う取り消し不能の債務を表章する。)
- 主に顧客によるケイマン諸島への商品輸入に関連する荷為替信用状および商業信用状(特定の活動が完了した際に第三者により提示される手形を引き受けることを表章する。)

かかる与信契約は、当銀行の通常の与信基準に従っており、適切な場合担保を取得する。注12の表に記載されたコミットメントの契約額は、契約が満額で支払われ、相手方がデフォルトに陥り、保有担保にまったく価値がないことが立証された場合に、当銀行が支払わなければならない上限額をあらわしている。こうした契約の多くが支払われることなく、または全額担保されることなく、失効または終了するため、契約額は必ずしも将来のキャッシュ需要を表章しない。当銀行は、かかる債務に対する負債を計上しない。

u . 連結キャッシュ・フロー計算書

連結キャッシュ・フロー計算書上、銀行預け金は、手許現金、回収が見込まれる現金項目、コルレス銀行からの未収金および既知の金額に容易に換金可能な極めて流動性が高く、公正価値の変動リスクが僅少な投資対象を含む。

v . 新しい会計意見書

2019年12月31日終了年度中、会計に関する以下の進展が公表された、または会計基準の採用が保留となっている。

2016年6月、FASBは、会計基準書アップデート第2016-13号「金融商品 - 信用損失」を公表した。当該アップデートの修正は、新たな減損モデルを提供するもので、発生損失ではなく予想損失に基づく現在予想信用損失モデル(以下「CECL」という。)として認知されている。当該アップデートの修正は、複雑さを減らし、事業体が負債商品の会計に使用する減損モデルの数を減らすことを意図している。SEC提出者の米国GAAPの定義を満たす公開企業について、当該アップデートの適用日は、2019年12月15日より後に開始する会計年度(当該会計年度中の中間期間を含む)としている。CECLモデルは、貸出金や満期保有目的の負債証券を含む償却原価での金融商品の信用損失の測定に適用可能である。また、保険(融資約定、スタンドバイ信用状、財務保証およびその他の類似商品)として会計処理されていないオフ・バランスの信用エクスポージャー、および貸し手が認識する一定のリースへの純投資にも適用される。さらに、トピック326の修正により、売却可能証券の信用損失は直接減額するのではなく、評価引当金として表示することが要求されている。

負債証券については、ガイダンスは将来に向かって適用される。既存の購入信用減損(「PCI」)資産にガイダンスは適用されず、適用日現在の購入信用毀損(「PCD」)資産として分類される。当該資産は、適用日現在のPCDの全資産に対する予想貸倒引当金としてグロスアップされ、適用日現在の当該資産の利回りに基づく利息収入において信用供与なしで割引いた金額を引き続き認識する。その後の予想信用損失の変動は、引当金を通じて認識される。CECLの対象となる他のすべての資産(主に当銀行に対するローン)については、累積的影響額の調整は、適用日現在の利益剰余金(欠損金)に認識される。

当銀行は、2020年1月1日からASU第2016-13号の規定を適用する。当銀行は、比較情報等の修正再表示は行わない。期首累積欠損金の調整および予想信用損失の測定に加え、当該基準は、会計方針および手続き、財務書類の注記の新たな開示および追加開示、内部統制文書の変更および改訂、新たなリスクモデルおよび関連手法の開発、ならびに上記で論じたとおり改訂される。また、新たな損失モデルでは、担保の公正価値、商品の存続期間にわたる期待パフォーマンス、および将来の経済状況について合理的かつ裏付可能な仮定を含む、CECLの範囲内にある金融商品に関連する場合、当銀行は追加的な属性を回収し維持することが求められている。要求される貸倒引当金の変更は、連結運用計算書に計上される。

当銀行は、従来、信用リスク管理および財務等の関係部署の複数のメンバーからなるワーキング・グループを設置している。これは、新基準の要件を評価し、残存期間の予想損失見積額と整合した損失モデルを構築し、現行のプロセスに必要な変更を設計および実施するためのものである。新しい減損プロセスの設計と実施は、主に、それぞれの商品のデフォルト率(「PD」)、デフォルト時損失率(「LGD」)、およびデフォルト時エクスポージャー(「EAD」)およびこれまでに発生した損失率に基づく予想損失の測定によって完了した。売却可能証券については、貸倒引当金は減損評価に基づく。しかし、関連するポートフォリオの過去の実績に基づき、損失モデルは引き続き強化されるであろうことに留意されたい。

2019年12月31日現在のデータを使用すると、2020年1月1日現在の当銀行の純資本の期首残高に当該アップデートを採用した結果、予想される調整総額は3.0百万米ドル減少する。この見積もられた影響額は、新たな予想信用損失要件に基づく貸倒引当金の増加に関するものである。当銀行は、2020年第1四半期の報告に先立ち、減損処理の特定の要素を引き続き監視し、改善する。

2019年4月および2019年11月、FASBIは、それぞれASU第2019-04号およびASU第2019-11号トピック326「金融商品 - 信用損失」に関するコード化の改善を公表しており、これは、トピック815「デリバティブおよびヘッジ」、トピック825「金融商品」およびサブトピック805-20「企業結合 - 識別可能資産および負債」ならびに「非支配持分」を含む様々なトピックに影響を与えるものであった。当該改訂は、金融商品に関連する以下のASUのガイダンスの様々な側面を明確にし、正して改善するものである。ASU第2016-01号「金融商品 - 全般(サブトピック825-10):金融資産と負債の認識と測定」、ASU第2016-13号「金融商品 - 信用損失(トピック326):金融商品に関する信用損失の測定」およびASU第2017-12号「デリバティブおよびヘッジ(トピック815):ヘッジ活動の会計処理の特定項目の改善」。ASU第2016-01号に関連する修正は、2019年12月15日以降に始まる会計年度(当該会計年度中の中間期間を含む)に適用され、早期適用が認められており、修正遡及による移行ベースで適用されるべきである。ASU第2016-13号に関する修正は、ASU第2016-13号に記載されているとおり有効である。ASU第2017-12号に関連する修正は、ASU第2017-12号に記載されているとおり有効である。上記で開示したASU第2016-13号の影響を除けば、ASU第2019-04号およびASU第2019-11号は、当銀行の財務書類に重要な影響を与えることはないと思込まれる。

2019年5月、FASBIは、会計基準書アップデート第2019-05号「金融商品 - 信用損失(トピック326) - 限定的な経過救済措置」を公表した。このアップデートの修正は、トピック326の範囲内のすべての報告事業体にとつ

ての選択肢であり、かつ利用可能な限定的な経過救済措置を提供するものである。それはトピック326の適用時に、サブトピック326-20の適用対象となる対象商品について、対象商品ごとに適用されるサブトピック825-10の公正価値オプションを取り消し不能に選択するオプションを事業体に提供している。満期保有目的の負債証券については、公正価値オプションの選択は適用されない。このアップデートの修正の発効日および移行方法は、ASU第2016-13号と同じである。当銀行は、この選択的指針を採用しないことを選択した。

2019年3月、FASBは、会計基準書アップデート第2019-01号「リース(トピック842) - コード化の改善」を公表した。このアップデートの修正は、ASU第2016-02号「リース(トピック842)」に関する3つの事項について明確にしている。(1)製造業者またはディーラーではない貸し手による原資産の公正価値の決定、(2)キャッシュ・フロー計算書上の表示 - トピック942の範囲内の預託および貸出事業体であるすべての貸し手についての販売型リースおよび直接金融型リース、ならびに(3)トピック250「会計上の変更および誤謬の訂正」に関する移行開示。このアップデートに関する移行日および施行日の規定は、1つ目の事項および2つ目の事項に適用し、2019年12月15日より後に開始する会計年度から適用され、公開企業については当該会計年度中の中間期間にも適用される。3つ目の事項の修正は、トピック842の当初の移行要件に対するものであり、トピック250の移行開示、パラグラフ250-10-50-1(b)(2)およびパラグラフ250-10-50-3がトピック842の中間開示要件から除外されることを明確にするものである。当銀行は、当該ASUが当銀行に影響を及ぼすことを予想していない。

注3：銀行預け金

	2019年12月31日	2018年12月31日
制限されない		
利息以外の収益		
現金および要求払い預金	24,453	16,723
利息収益		
要求払預金 ¹	109,340	139,313
現金等価物	623,614	762,301
小計(利息収益)	732,954	901,614
銀行預け金合計	757,407	918,337

¹ 銀行預け金の利息収入には、2019年12月31日現在、ごく僅かなレートで利息のある20.1百万米ドル(2018年：25.8百万米ドル)の特定の要求払い預金が含まれる。

注4：短期投資

	2019年12月31日	2018年12月31日
制限されない		
利息収益		
米国財務省証券（3か月以内の満期）	-	24,878
短期投資合計	-	24,878

注5：負債証券への投資

償却原価、帳簿価額および公正価値

連結貸借対照表上、売却可能（AFS）投資は公正価値で計上され、満期保有（HTM）投資は償却原価で計上される。

	2019年12月31日				2018年12月31日			
	償却原価	未実現利益 （総額）	未実現損失 （総額）	帳簿価額 / 公正価値	償却原価	未実現利益 （総額）	未実現損失 （総額）	帳簿価額 / 公正価値
売却可能								
米国政府および連邦機関	898,566	9,670	(1,613)	906,623	664,541	1,687	(11,771)	654,457
米国政府以外の負債証券	3,348	81	-	3,429	3,046	18	-	3,064
社債	-	-	-	-	55,508	-	(1,149)	54,359
アセット・バック証券・学生ローン	13,290	-	(399)	12,891	13,290	-	(665)	12,625
商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	55,504	6	(1,176)	54,334
住宅ローン担保証券	44,600	188	(140)	44,648	59,674	-	(1,172)	58,502
売却可能合計	959,804	9,939	(2,152)	967,591	851,563	1,711	(15,933)	837,341

	2019年12月31日				2018年12月31日			
	償却原価 / 帳簿価額	未実現利益 （総額）	未実現損失 （総額）	公正価値	償却原価 / 帳簿価額	未実現利益 （総額）	未実現損失 （総額）	公正価値
満期保有 ⁽¹⁾								
米国政府および連邦機関	924,423	19,488	(277)	943,634	817,565	2,068	(14,694)	804,939
満期保有合計	924,423	19,488	(277)	943,634	817,565	2,068	(14,694)	804,939

⁽¹⁾ 2019年12月31日および2018年12月31日終了期間について、満期保有投資のAOCI / AOCLに認識される信用以外の減損は0米ドルである。

2019年12月31日終了年度中、親銀行からのAFS証券の購入はなかった。2018年12月31日終了年度中、当銀行は、親銀行から見積公正価値で46.8百万米ドルのAFS証券および0.03百万米ドルの未収利息を購入した。

未実現損失ポジションを伴う投資

下記表は、当銀行の売却可能および満期保有投資の公正価値ならびに未実現損失総額（一時的でない減損とみなされない未実現損失とあわせて）を投資カテゴリおよび個々の証券が継続的な未実現損失であった期間に基づき合計して表示したものである。負債証券のうち、公正価値が原価を下回った時点を基準に「12か月未満」または「12か月以上」継続して損失となっているかで分類している。

2019年12月31日	12か月未満		12か月以上		公正価値 合計	未実現損失 (総額) 合計
	公正価値	未実現損失 (総額)	公正価値	未実現損失 (総額)		
売却可能						
米国政府および連邦機関	85,107	(460)	125,749	(1,153)	210,856	(1,613)
米国政府以外の負債証券	202	-	-	-	202	-
アセット・バック証券・学生ローン	-	-	12,891	(399)	12,891	(399)
住宅ローン担保証券	-	-	28,531	(140)	28,531	(140)
売却可能証券合計（未実現損失）	85,309	(460)	167,171	(1,692)	252,480	(2,152)
満期保有						
米国政府および連邦機関	-	-	46,411	(277)	46,111	(277)
満期保有証券合計（未実現損失）	-	-	46,411	(277)	46,111	(277)
2018年12月31日	12か月未満		12か月以上		公正価値 合計	未実現損失 (総額) 合計
	公正価値	未実現損失 (総額)	公正価値	未実現損失 (総額)		
売却可能						
米国政府および連邦機関	141,343	(522)	372,832	(11,249)	514,175	(11,771)
社債	14,914	(114)	39,445	(1,035)	54,359	(1,149)
アセット・バック証券・学生ローン	-	-	12,625	(665)	12,625	(665)
商業用モーゲージ担保証券	-	-	49,317	(1,176)	49,317	(1,176)
住宅ローン担保証券	16,182	(352)	42,320	(820)	58,502	(1,172)
売却可能証券合計（未実現損失）	172,439	(988)	516,539	(14,945)	688,978	(15,933)
満期保有						
米国政府および連邦機関	332,551	(5,441)	285,162	(9,253)	617,713	(14,694)
満期保有証券合計（未実現損失）	332,551	(5,441)	285,162	(9,253)	617,713	(14,694)

当銀行は、2019年12月31日現在未実現損失となっているAFSおよびHTM投資証券（AFSおよびHTMのポートフォリオの簿価の15.64%を表章する23銘柄（2018年：84銘柄および79.6%）を構成している）が一時的でない減損（OTTI）であるとは考えていない。未実現損失総額合計は、影響を受ける証券の公正価値の0.81%（2018年：2.34%）であった。経営陣に売却の意向はなく、また予定される回収の前に、経営陣にその証券の売却を要求することになる可能性の方が低い。未実現損失は、主に投資証券を購入した時に関連した市場金利の変動に起因するものであり、当該投資証券の信用評価が原因ではない。発行体は、引き続き証券の元利払いをタイムリーに行う。以下は、上記の表に記載される最も重要な未実現損失を伴う証券タイプの信用減損の識別過程を詳述したものである。

経営陣は、米国連邦政府が提供する明示的および暗示的な保証を前提とすると、すべての米国政府および連邦政府の証券に信用損失はないと考えている。

経営陣は、発行国政府が提供する明示的な保証を前提とすると、すべての米国以外の負債証券に信用損失はないと考えている。

アセット・バック証券 - 学生ローンへの投資は、主に連邦家族教育ローン（以下「FFELPローン」という。）を担保とした証券で構成されている。FFELPローンは、債務不履行に陥った元本および経過利息の少なくとも97%を連邦政府が保証することで利益を得ており、合計で100%を超える超過担保、劣後および超過スプレッドという形態で追加的な信用の裏付けが提供されている。したがって、FFELPローン担保証券の大部分は、伝統的な消費者信用リスクに晒されていない。

住宅ローン担保証券への投資は、格付けがAAA(3銘柄)およびAaa(1銘柄)の4銘柄に関連しており、上記に類似した重要な信用補完を有する。これらの証券については、信用補完の加重平均とLTVの加重平均比率がそれぞれ11%から22%および59%から63%として、信用損失は認識されなかった。現在の信用補完は、対象住宅ローンのいずれの支払延滞よりも高いものである。

投資の満期

下記表は、当銀行の証券の契約上の満期までの残存期間を表す。特定の証券は借り手に期限前返済オプションを提供しているため、実際の満期とは異なることがある。

2019年12月31日	満期までの残存期間					特定の償還 期限なし	帳簿価額
	3か月以内	3 - 12か月	1 - 5年	5 - 10年	10年超		
売却可能							
米国政府および連邦機関	-	-	-	-	-	906,623	906,623
米国政府以外の負債証券	-	-	202	3,227	-	-	3,429
アセット・バック証券 - 学生ローン	-	-	-	-	-	12,891	12,891
住宅ローン担保証券	-	-	-	-	-	44,648	44,648
売却可能合計	-	-	202	3,227	-	964,162	967,591
満期保有							
米国政府および連邦機関	-	-	-	-	-	924,423	924,423
満期保有証券合計	-	-	-	-	-	924,423	924,423
投資合計	-	-	202	3,227	-	1,888,585	1,892,014
通貨別合計							
米ドル	-	-	202	3,227	-	1,888,585	1,892,014
投資合計	-	-	202	3,227	-	1,888,585	1,892,014

2018年12月31日

満期までの残存期間

	満期までの残存期間					特定の償還	帳簿価額
	3か月以内	3 - 12か月	1 - 5年	5 - 10年	10年超	期限なし	
売却可能							
米国政府および連邦機関	-	-	-	-	-	654,457	654,457
米国政府以外の負債証券	-	3,064	-	-	-	-	3,064
社債	-	-	54,359	-	-	-	54,359
アセット・バック証券 - 学生ローン	-	-	-	-	-	12,625	12,625
商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	54,334	54,334
住宅ローン担保証券	-	-	-	-	-	58,502	58,502
売却可能合計	-	3,064	54,359	-	-	779,918	837,341
満期保有							
米国政府および連邦機関	-	-	-	-	-	817,565	817,565
満期保有証券合計	-	-	-	-	-	817,565	817,565
投資合計	-	3,064	54,359	-	-	1,597,483	1,654,906
通貨別合計							
米ドル	-	3,064	54,359	-	-	1,597,483	1,654,906
投資合計	-	3,064	54,359	-	-	1,597,483	1,654,906

差入投資

当銀行は、当銀行が発行している顧客預金商品をさらに保証するため、米国政府および連邦機関の投資証券を差し入れている。担保権者は、当該担保を売却または再度差し入れる権利を持たない。

	2019年12月31日		2018年12月31日	
	償却原価	公正価値	償却原価	公正価値
差入投資				
売却可能	2,960	3,002	2,751	2,707
満期保有	3,123	3,177	3,558	3,467

AFS証券の売却手取金および実現損益

	2019年12月31日			2018年12月31日		
	売却 手取額	実現利益 総額	実現（損失） 総額	売却 手取額	実現利益 総額	実現（損失） 総額
売却AFS証券						
社債	55,256	49	(129)	24,975	-	(87)
商業用モーゲージ担保証券	55,991	651	-	-	-	-
住宅ローン担保証券	-	-	-	194,357	544	(116)
純収益に認識された 実現純（損）益	111,247	700	(129)	219,332	544	(203)

注6：貸出金および参加貸出金

以下の表は、貸出金および参加貸出金のポートフォリオの構成である。

	2019年12月31日	2018年12月31日
商業用ローン		
銀行	33,101	-
政府	127,509	12,670
商業用および産業用	66,096	147,691
商業用当座貸越	5,475	10,156
商業用ローン総額合計	232,181	170,517
政府ローンに対する個別貸倒引当金控除額	-	(1,688)
商業用ローン純額	232,181	168,829
商業用不動産ローン		
商業用モーゲージ	179,304	180,420
建設関連	57,509	48,909
商業用不動産ローン総額合計	236,813	229,329
商業用不動産ローンに対する個別貸倒引当金控除額	-	-
商業用不動産ローン純額	236,813	229,329
消費者ローン		
自動車ローン	7,765	6,975
クレジット・カード	26,253	23,623
当座貸越	3,043	2,242
その他の消費者ローン	30,174	27,751
消費者ローン総額合計	67,235	60,591
消費者ローンに対する個別貸倒引当金控除額	-	-
消費者ローン純額	67,235	60,591
住居用モーゲージ・ローン	569,550	555,362
住宅用モーゲージ・ローンに対する個別貸倒引当金控除額	(181)	(203)
住居用モーゲージ・ローン純額	569,369	555,159
貸出金総額合計	1,105,779	1,015,799
個別貸倒引当金控除額	(181)	(1,891)
一般貸倒引当金控除額	(909)	(1,673)
貸出金純額	1,104,689	1,012,235

住居用モーゲージ、個人ローン、クレジット・カード・ローンおよび商業用ローンの主要な保証方法は、資産に対する手数料および保証である。住居用および商業用モーゲージ・ローンは、一般に返済期限は30年まで、個人、商業用および政府ローンは、一般に15年以下の返済期限となっている。クレジット・カードの未払額はリボルビングで、通常、請求から30日以内に最低額の支払期日が到来する。2019年12月31日現在の貸出金総額に対する実効利回りは、4.92%（2018年：5.71%）である。

支払期日を経過した貸出金（未収利息不計上ローンを含む）の時系列分析

下記表は、支払期日を経過した貸出金の概要である。支払期日経過後の金額の時系列は、貸出金の契約上の滞納状態に基づき決定され、この時系列は、期末時点の最終営業日の時期によって影響を受ける場合がある。支払いが貸出条件に沿って行われなかった場合、当該勘定は、通常、契約上の滞納状態にあるとみなされる。

	2019年12月31日				直近合計 ⁽¹⁾	ローン合計
	30 - 59日	60 - 89日	90日以上	支払期日 経過後の ローン		
商業用ローン						

銀行					33,101	33,101
政府	-	-	-	-	127,509	127,509
商業用および産業用	-	-	-	-	66,096	66,096
商業用当座貸越	-	-	-	-	5,475	5,475
商業用ローン合計	-	-	-	-	232,181	232,181
商業用不動産ローン						
商業用モーゲージ	445	-	-	445	178,859	179,304
建設関連	-	-	-	-	57,509	57,509
商業用不動産ローン合計	445	-	-	445	236,368	236,813
消費者ローン						
自動車ローン	-	-	-	-	7,765	7,765
クレジット・カード	-	-	-	-	26,253	26,253
当座貸越	-	-	-	-	3,043	3,043
その他の消費者ローン	-	16	-	16	30,158	30,174
消費者ローン合計	-	16	-	16	67,219	67,235
住居用モーゲージ・ローン	2,646	1,466	2,146	6,258	563,292	569,550
貸出金総額合計	3,091	1,482	2,146	6,719	1,099,060	1,105,779

(1) 期日経過後30日未満のローンについては、直近に含まれる。

2018年12月31日

	30 - 59日	60 - 89日	90日以上	支払期日 経過後の ローン	直近合計 ⁽¹⁾	ローン合計
商業用ローン						
政府	-	-	3,750	3,750	8,920	12,670
商業用および産業用	231	-	-	231	147,460	147,691
商業用当座貸越	-	-	-	-	10,156	10,156
商業用ローン合計	231	-	3,750	3,981	166,536	170,517
商業用不動産ローン						
商業用モーゲージ	837	-	-	837	179,583	180,420
建設関連	-	-	-	-	48,909	48,909
商業用不動産ローン合計	837	-	-	837	228,492	229,329
消費者ローン						
自動車ローン	9	5	-	14	6,961	6,975
クレジット・カード	-	-	-	-	23,623	23,623
当座貸越	-	-	-	-	2,242	2,242
その他の消費者ローン	114	4	-	118	27,633	27,751
消費者ローン合計	123	9	-	132	60,459	60,591
住居用モーゲージ・ローン	3,861	1,069	3,319	8,249	547,113	555,362
貸出金総額合計	5,052	1,078	7,069	13,199	1,002,600	1,015,799

(1) 期日経過後30日未満のローンについては、直近に含まれる。

債務不履行ローン（購入信用減損貸出金を除く）

	2019年12月31日			2018年12月31日		
	未収利息 不計上ローン	未収利息計上ローン （期日後90日以上）	債務不履行 ローン合計	未収利息 不計上ローン	未収利息計上ローン （期日後90日以上）	債務不履行 ローン合計
商業用ローン						
政府	-	-	-	3,750	-	3,750
商業用および産業用	31	-	31	-	-	-
商業用ローン合計	31	-	31	3,750	-	3,750
商業用不動産ローン	-	-	-	-	-	-
消費者ローン						
自動車ローン	-	-	-	-	-	-
クレジット・カード	-	-	-	-	-	-
当座貸越	-	-	-	-	-	-
その他の消費者ローン	-	-	-	-	-	-
消費者ローン合計	-	-	-	-	-	-
住居用モーゲージ・ローン	1,632	568	2,200	1,683	194	1,877
債務不履行ローン合計	1,663	568	2,231	5,433	194	5,627

下記表は、当銀行の貸出ポートフォリオの信用の質に関する情報を表す。

2019年12月31日	非分類	要注意債権	回収懸念債権	未収利息不計上 ⁽¹⁾	計上済 総貸出金合計
商業用ローン					
銀行	33,101	-	-	-	33,101
政府	127,509	-	-	-	127,509
商業用および産業用	64,665	462	938	31	66,096
商業用当座貸越	5,475	-	-	-	5,475
商業用ローン合計	230,750	462	938	31	232,181
商業用不動産ローン					
商業用モーゲージ	158,922	19,957	425	-	179,304
建設関連	57,509	-	-	-	57,509
商業用不動産ローン合計	216,431	19,957	425	-	236,813
消費者ローン					
自動車ローン	7,765	-	-	-	7,765
クレジット・カード	26,253	-	-	-	26,253
当座貸越	3,043	-	-	-	3,043
その他の消費者ローン	30,172	2	-	-	30,174
消費者ローン合計	67,233	2	-	-	67,235
住居用モーゲージ・ローン	561,911	-	6,007	1,632	569,550
計上済総貸出金合計	1,076,325	20,421	7,370	1,663	1,105,779

(1) 購入信用減損貸出金は除く。

2018年12月31日	非分類	要注意債権	回収懸念債権	未収利息不計上 ⁽¹⁾	計上済 総貸出金合計
商業用ローン					
政府	8,920	-	-	3,750	12,670
商業用および産業用	146,535	191	965	-	147,691
商業用当座貸越	10,156	-	-	-	10,156

商業用ローン合計	165,611	191	965	3,750	170,517
商業用不動産ローン					
商業用モーゲージ	168,311	11,635	474	-	180,420
建設関連	48,909	-	-	-	48,909
商業用不動産ローン合計	217,220	11,635	474	-	229,329
消費者ローン					
自動車ローン	6,975	-	-	-	6,975
クレジット・カード	23,623	-	-	-	23,623
当座貸越	2,242	-	-	-	2,242
その他の消費者ローン	27,742	9	-	-	27,751
消費者ローン合計	60,582	9	-	-	60,591
住居用モーゲージ・ローン	545,713	-	7,966	1,683	555,362
計上済総貸出金合計	989,126	11,835	9,405	5,433	1,015,799

(1) 購入信用減損貸出金は除く。

貸出金の信用の質

上記に記載の信用の質の4分類は、以下に定義され、当該グループの貸出ポートフォリオの信用の質を表す。かかる分類には、それぞれ一連のより細かい内部格付けの付与が含まれる。

非分類ローンとは、合意されたとおりに返済が予定されているローンのことである。現在および予定されているキャッシュ・フローが債務の返済に十分であり、契約書に基づき設定されている返済が実施されていることを理由に、当銀行が返済困難な状況に直面すると予想していない場合に非分類に分類される。

要注意債権ローンとは、当銀行経営陣による詳細な監視が行われているローンのことである。当該カテゴリーのローンは現在保護され、（現在の利払いおよび元本の返済につき）履行されており、潜在的に基盤が脆弱で、未払信用リスクのエクスポージャーを有しているが、回収懸念債権の分類水準にまでは至っていない。

回収懸念債権ローンとは、明らかな信頼性の欠如により回収が疑問視されており、かかる信頼性の欠如が回復しなければ、当銀行に損失を与えるおそれがあるローンのことである。

未収利息不計上ローンとは、元本または利息の全額回収が疑わしいと経営陣が判断するか、元本または利息が期日を90日経過しており、かつ住居用ローンの場合、十分に保証されておらず、回収過程にあるかのいずれかの場合である。

減損について評価したローン総額合計	2019年12月31日		2018年12月31日	
	個別評価	集合的評価	個別評価	集合的評価
商業用ローン	969	231,212	4,715	165,802
商業用不動産ローン	425	236,388	474	228,855
消費者ローン	7	67,228	11	60,580
住居用モーゲージ・ローン	6,487	563,063	7,991	547,371
計上済ローン総額合計	7,888	1,097,891	13,191	1,002,608

一般および個別貸倒引当金の変動 貸倒引当金

	2019年12月31日				2018年12月31日	
	商業用ローン	商業用不動産 ローン	消費者ローン	住居用 モーゲージ・ ローン	貸出金合計	貸出金合計
期首現在引当金残額	2,375	645	115	429	3,564	5,545
期中引当金（戻入）繰入額	(1,715)	(385)	95	112	(1,893)	(1,297)
取戻額	8	-	112	21	141	409
償却額	(374)	-	(211)	(137)	(722)	(1,093)
期末現在引当金残額	294	260	111	425	1,090	3,564
期末残高：減損の個別評価	-	-	-	181	181	1,891
期末残高：減損の集合的評価	294	260	111	244	909	1,673

不良債権（購入信用減損貸出金を除く）

不良債権とみなされるのは、直近情報および事象に基づき、ローン契約に沿って、利息支払予定を含め全額回収することができないと当銀行が判断した時点である。リストラクチャー後に全額回収が期待できる場合であっても、すべての未収利息不計上ローンおよびTDRに修正されたすべてのローンが、不良債権に含まれる。2019年12月31日終了年度について、不良債権状態が続いていた場合、計上されるはずだった利息収益総額は、0.092百万米ドル（2018年：0.341百万米ドル）であった。下記表は、当銀行の不良債権に関する情報を表す。

2019年12月31日	引当金計上済み不良債権			引当金未計上 不良債権	不良債権合計		
	貸出金 計上総額	個別引当金	貸出金純額	貸出金 計上総額	貸出金 計上総額	個別引当金	貸出金純額
商業用ローン							
商業用および産業用	-	-	-	969	969	-	969
政府	-	-	-	-	-	-	-
商業用ローン合計	-	-	-	969	969	-	969
商業用不動産ローン							
商業用モーゲージ	-	-	-	425	425	-	425
商業用不動産ローン合計	-	-	-	425	425	-	425
消費者ローン							
自動車ローン	-	-	-	-	-	-	-
クレジット・カード	-	-	-	-	-	-	-
その他の消費者ローン	-	-	-	-	-	-	-
消費者ローン合計	-	-	-	-	-	-	-
住居用モーゲージ・ローン	1,440	(181)	1,259	3,259	4,699	(181)	4,518
不良債権合計	1,440	(181)	1,259	4,653	6,093	(181)	5,912

2018年12月31日	引当金計上済み不良債権			引当金未計上 不良債権	不良債権合計		
	貸出金 計上総額	個別引当金	貸出金純額	貸出金 計上総額	貸出金 計上総額	個別引当金	貸出金純額
商業用ローン							
商業用および産業用	-	-	-	965	965	-	965
商業用当座貸越	3,750	(1,688)	2,062	-	3,750	(1,688)	2,062
商業用ローン合計	3,750	(1,688)	2,062	965	4,715	(1,688)	3,027
商業用不動産ローン							
商業用モーゲージ	-	-	-	474	474	-	474
商業用不動産ローン合計	-	-	-	474	474	-	474
消費者ローン							
自動車ローン	-	-	-	-	-	-	-
クレジット・カード	-	-	-	-	-	-	-
その他の消費者ローン	-	-	-	-	-	-	-
消費者ローン合計	-	-	-	-	-	-	-
住居用モーゲージ・ローン	1,015	(37)	978	3,852	4,867	(37)	4,830
不良債権合計	4,765	(1,725)	3,040	5,291	10,056	(1,725)	8,331

平均不良債権残高および認識された関連利息収益

2019年12月31日	不良債権		2018年12月31日	不良債権	
	計上済ローン総額平均	認識済利息収益 ⁽¹⁾		計上済ローン総額平均	認識済利息収益 ⁽¹⁾
商業用ローン					
商業用および産業用	967	69	985	68	
政府	1,875	-	1,875	-	
商業用ローン合計	2,842	69	2,860	68	
商業用不動産ローン					
商業用モーゲージ	450	31	454	42	
商業用不動産ローン合計	450	31	454	42	
消費者ローン					
自動車ローン	-	-	-	-	
その他の消費者ローン	-	-	2	-	
消費者ローン合計	-	-	2	-	
住居用モーゲージ・ローン	4,879	189	6,495	155	
不良債権合計	8,171	289	9,811	265	

(1) 前期にTDRに修正された貸出金に関する不良債権に対して認識されたすべての利息収益。

TDRに修正された貸出金

2019年12月31日現在、当銀行は、過去12か月以内に修正され、その後に不履行（例、修正後に支払期日が90日以上経過している）となった貸出金はなかった（2018年：1件）。

	2019年12月31日				2018年12月31日			
	契約高	修正前 計上済 ローン	修正： 利息資産 計上	修正後 計上済 ローン	契約高	修正前 計上済 ローン	修正： 利息資産 計上	修正後 計上済 ローン
当期中に 締結したTDR								
住居用 モーゲージ・ローン	-	-	-	-	8	1,258	200	1,458
TDRに修正された 貸出金合計	-	-	-	-	8	1,258	200	1,458

	2019年12月31日		2018年12月31日	
	計上	不計上	計上	不計上
未済TDR				
商業用ローン	938	-	965	-
商業用不動産ローン	425	-	474	-
住居用モーゲージ・ローン	3,067	192	3,184	204
TDRに修正された貸出金合計	4,430	192	4,623	204

購入信用減損貸出金

	2019年12月31日				2018年12月31日			
	契約元本	非増価差異	増価差異	帳簿価額	契約元本	非増価差異	増価差異	帳簿価額
期首残高	4,531	(901)	(661)	2,969	6,001	(1,239)	(711)	4,051
キャッシュ・フロー 回収見込の増加	45	28	(28)	45	25	42	(42)	25
返済による減少	(1,577)	247	177	(1,153)	(1,495)	191	92	(1,212)
貸倒引当金の 変動による減少	-	166	-	166	-	105	-	105
貸倒償却による減少	(495)	262	-	(233)	-	-	-	-
期末残高	2,504	(198)	(512)	1,794	4,531	(901)	(661)	2,969

当銀行は特定の信用減損貸出金を取得をしており、これは2014年11月7日付でHSBC（ケイマン）リミテッドの個人向け貸出金を実質的にすべて取得したものの一部である。増価差異（または「増価収益」（accrutable yield））は、貸出金の当初帳簿額に対して回収される見込みの貸出金のキャッシュ・フローの超過分を表す。

注7：信用リスクの集中

貸出およびオフ・バランスシートの与信関連契約ポートフォリオへの信用リスクの集中は、多数の顧客が類似の事業を営んでいる場合、同一地域で業務している場合、契約債務の支払能力が経済状況の変動により同様の影響を被るような類似の経済的特徴を有する場合に発生する。当銀行は、定期的に信用リスク・ポートフォリオの様々なセグメントを監視し、リスクの潜在的な集中を精査し、必要な場合は担保を取得する。当銀行の商業用ポートフォリオでは、リスク集中は主に産業別、さらに地域別で評価される。消費者ポートフォリオでは、主に集中は商品別に評価される。信用エクスポージャーには貸出金、支払承諾、信用証書および未引出しの与信枠に対するコミットメントが含まれる。無条件に取消し可能なクレジット・カードおよび信用枠当座貸越は、下記表からは除外されている。

下記表は、当銀行の業務セクター別の信用エクスポージャーの要約である。開示されているオン・バランスシート・エクスポージャーの金額は、個別引当金の正味金額である。また開示されているオフ・バランスシート・エクスポージャーの金額は、保有担保の総額である。

	2019年12月31日			2018年12月31日		
	貸出金	オフ・バ ランスシート	信用エクス ポージャー 合計	貸出金	オフ・バ ランスシート	信用エクス ポージャー 合計
銀行および金融機関	105,780	145,205	250,985	72,619	166,126	238,745
商業および商品	37,101	32,712	69,813	89,998	48,613	138,611
政府	127,509	-	127,509	10,982	-	10,982
個人	607,292	32,556	639,848	593,688	19,018	612,706
主要産業および製造	59,055	18	59,073	53,346	18	53,364
不動産	153,322	-	153,322	176,942	-	176,942
ホテル接客	14,622	-	14,622	15,538	-	15,538
輸送および通信	917	-	917	795	-	795
小計	1,105,598	210,491	1,316,089	1,013,908	233,775	1,247,683
一般引当金	(909)	-	(909)	(1,673)	-	(1,673)
合計	1,104,689	210,491	1,315,180	1,012,235	233,775	1,246,010

下記表は、現金および現金等価物、短期投資、未収債権およびオフ・バランスシートに関する当銀行の地域別の信用エクスポージャーの要約である。投資有価証券の通貨別の信用エクスポージャーは、注5：投資に記載されている。

	2019年12月31日				2018年12月31日			
	現金および 現金等価物 ならびに 短期投資	貸出金	オフ・バ ランスシート	信用エクス ポージャー 合計	現金および 現金等価物 ならびに 短期投資	貸出金	オフ・バ ランスシート	信用エクス ポージャー 合計
オーストラリア	156,443	-	-	156,443	129,331	-	-	129,331
バルバドス	-	-	-	-	-	2,063	-	2,063
バミューダ	2,225	175,806	2,087	180,118	1,908	202,060	11,586	215,554
カナダ	382,999	-	-	382,999	524,110	-	-	524,110
ケイマン諸島	27,318	883,832	208,404	1,119,554	18,138	730,418	222,189	970,745
ガーンジー	-	33,101	-	33,101	82,974	-	-	82,974
日本	11,848	-	-	11,848	10,099	-	-	10,099
ニュージーランド	5,732	-	-	5,732	623	-	-	623
セントルシア	-	-	-	-	-	65,000	-	65,000
スイス	3,483	-	-	3,483	3,099	-	-	3,099
パハマ	-	12,859	-	12,859	-	14,367	-	14,367
英国	69,328	-	-	69,328	109,891	-	-	109,891
米国	98,031	-	-	98,031	63,043	-	-	63,043
小計	757,407	1,105,598	210,491	2,073,496	943,216	1,013,908	233,775	2,190,899
一般引当金	-	(909)	-	(909)	-	(1,673)	-	(1,673)
合計	757,407	1,104,689	210,491	2,072,587	943,216	1,012,235	233,775	2,189,226

2019年12月31日現在、現金および現金等価物の総額の33.01%（2018年：21.32%）は、S&Pの格付A-1（2018年：AA-）を有するカナダの金融機関1社（2018年：カナダの金融機関）に預けられていた。2019年12月31日現在、現金および現金等価物ならびに短期投資の総額0.00%（2018年：2.64%）は、米国財務省短期証券に保有されていた。

注8：土地建物、設備およびソフトウェア

カテゴリー	2019年12月31日			2018年12月31日		
	原価	減価償却 累計額	帳簿価額 純額	原価	減価償却 累計額	帳簿価額 純額

土地	3,449	-	3,449	3,053	-	3,053
建物	46,295	(12,381)	33,914	44,746	(11,329)	33,417
設備	3,979	(3,287)	692	3,914	(3,125)	789
コンピューター・ハードウェア およびソフトウェア（使用中）	44,533	(35,784)	8,749	42,123	(31,196)	10,927
合計	98,256	(51,452)	46,804	93,836	(45,650)	48,186

	2019年12月31日	2018年12月31日
減価償却		
建物（財産（維持）費に含まれる）	1,057	1,396
設備（財産（維持）費に含まれる）	244	360
コンピューター・ハードウェアおよびソフトウェア（技術および通信費に含まれる）	4,798	4,960
非金利費用に計上される減価償却費合計	6,099	6,716

注9：無形資産

のれん	2019年12月31日	2018年12月31日
のれん ⁽¹⁾	551	551
期末残高	551	551

(1) 注20：企業結合を参照。

顧客関連無形資産	2019年12月31日			2018年12月31日				
	原価	減損 累計額	減価償却 累計額	帳簿価額 純額	原価	減損 累計額	減価償却 累計額	帳簿価額 純額
顧客関連	16,517	-	(4,461)	12,056	16,517	-	(3,360)	13,157

顧客関連は、当初、取得日現在で存在する顧客ごとに経常的に発生することが予想される純キャッシュ・フローの現在価値に基づき評価される。顧客関連の無形資産は、契約から生じるものとそうでないものがある。2019年12月31日終了年度につき認識された無形資産の減損損失はない（2018年：なし）。2019年12月31日終了年度中、顧客無形資産の取得はなかった（2018年：5.4百万米ドルの取得、そのうち5.0百万米ドルは企業買収を通じて取得）。2019年度中の償却費用は1.1百万米ドル（2018年：1.0百万米ドル）であった。今後5年間（2024年12月31日まで）の償却費用の予想合計額は、5.5百万米ドルである。

注10：顧客預金

	2019年12月31日	2018年12月31日
要求払い預金		
要求払い預金 - 無利息	782,079	715,417
要求払い預金 - 利付	2,213,240	2,172,941
要求払い預金 - 小計	2,995,319	2,888,358
額面10万米ドル未満の定期預金		
定期預金（満期6か月以内）	22,086	23,256
定期預金（満期6 - 12か月）	5,023	4,517
定期預金（満期12か月超）	506	507
額面10万米ドル未満の定期預金 - 小計	27,615	28,280
額面10万米ドル以上の定期預金		
定期預金（満期6か月以内）	409,439	390,129
定期預金（満期6 - 12か月）	36,489	49,308
定期預金（満期12か月超）	6,304	11,482
額面10万米ドル以上の定期預金 - 小計	452,232	450,919
合計 - 定期預金（1）	479,847	479,199
合計	3,475,166	3,367,557

（1）2019年12月31日現在、定期預金の0.2百万米ドル（2018年：0.5百万米ドル）は金利0%である。

2019年12月31日現在の利付預金の実効利回りは、0.25%（2018年：0.26%）であった。

注11：今後の従業員給付

	2019年12月31日	2018年12月31日
年間従業員給付費用		
確定拠出年金費用	1,593	1,541
合計	1,593	1,541

注12：与信関連契約およびコミットメント

当銀行は、通常、失効日が確定しているか終了条項を有する、一定の料率かつ特定の目的の場合に返済期限を繰り延べる契約コミットメントを締結している。返済期限を繰り延べる当銀行のほぼすべてのコミットメントは、ローンによる資金調達時の一定の信用基準を維持する顧客であることが条件となる。経営陣は、貸倒引当金が生じる可能性のレベルを確定する際に、返済期限を繰り延べる一定のコミットメントに関連する信用リスクを精査する。

下記表は、以下の信用リスクを表す契約金額を有する支払期限を繰り延べる未実行の法的効力を有するコミットメントを表す。

	2019年12月31日	2018年12月31日
返済期限繰延コミットメント	63,443	64,711
荷為替信用状および商業信用状	1,809	30,002
合計	65,252	94,713

与信関連契約

スタンドバイ信用状および保証状は、当銀行の顧客の要求に応じて、顧客の第三者に対する支払または債務の履行を保証するために発行される。かかる保証は、当銀行が保証書の提示および保証書に規定の書面要件を満たす場合に第三者の受益者に対して、かかる受益者の請求の有効性につき顧客に確認せずに支払いを行わなければならない取消不能の債務を表す。一般に、スタンドバイ信用状の期間は1年を越えず、信用状の期間は4年を超えない。かかるスタンドバイ信用状および保証状に関して当銀行が保有する担保の種類および金額は、通常、当銀行の預金、またはミューチュアル・ファンドで保有する資産に対する手数料により表章される。

当銀行は、スタンドバイ信用状および保証状の発行に関連して徴収される報酬は、保証の発行時に課される債務の公正価値を表すとみなす。保証に関して適用される会計基準に従い、当銀行は、スタンドバイ信用状および保証状の発行に関連して徴収する報酬を繰り延べる。かかる報酬は、当該時点で信用契約の存続期間にわたり均等に収益で認識する。

下記表は、信用リスクを表章する契約金額に関する財務上の保証残高である。

	2019年12月31日			2018年12月31日		
	総額	担保	純額	総額	担保	純額
スタンドバイ信用状	143,601	143,601	-	137,424	136,544	880
保証状	1,638	1,638	-	1,638	1,638	-
合計	145,239	145,239	-	139,062	138,182	880

担保は見積市場価額から売却費用を控除した額を表す。現金が担保の場合、利息収益を含む総額を表す。

保証とは、偶発的に保証会社に対して、（ ）ある事象が発生するかしないかを含め、保証される当事者が保有する資産、負債またはエクイティ証券に関わる連動する金利、外国為替またはその他の変動要因の変動、（ ）上記の特徴を有する第三者に対して提供される補償、（ ）別の事業体による債務契約の不履行、または（ ）別の事業体による債務に関連した不履行に基づき、第三者への支払いを命じる契約である。2019年12月31日現在、当銀行が顧客およびその他の第三者に対して提供する保証は、将来の潜在的支払額の上限が89.7百万米ドル（2018年：109.8百万米ドル）のスタンドバイ信用状および保証状である。2019年12月31日付連結貸借対照表上のかかる金額の帳簿価額は、0米ドル（2018年：0米ドル）であった。

当銀行は、保管会社の一つが提供する融資枠を有し、これにより当銀行は顧客に対する全額担保のスタンドバイ信用状による上限200百万米ドルを提供できる。かかる融資枠の標準的な条件に従い、保管会社は、活用する融資枠の110%の保有証券を相殺する権限を有する。2019年12月31日現在、143.4百万米ドル（2018年：136.0百万米ドル）のスタンドバイ信用状が本融資枠に基づき発行された。

法的手続

通常の業務において生じた、当銀行および子会社に対する係争中の訴訟および法的手続がいくつかある。当銀行および子会社に対して係争中か、当銀行および子会社が関与しているすべての訴訟および手続を検討後、経営陣は当該事項の結果が当銀行の連結財務状況に重大なものとはならないだろうと判断している。

注13：リース

当銀行は、主に事務所と駐車場について、借り手または貸し手としてオペレーティング・リース契約を締結する。合理的に確実に実行される更新オプションを含む既存のリース期間は、2029年まで延長する。一定のリース支払額は、リース期間の関連消費者物価指数の変動に基づき調整される。

	2019年12月31日
リース費用	終了年度
オペレーティング・リース費用	934
短期リース費用	77
リース費用合計	1,011
オペレーティング・リース収益	-
当期に関するその他の情報	
新規オペレーティング・リース債務に関する使用权資産	2,346
オペレーティング・リースからのオペレーティング・キャッシュ・フロー	907
期末現在のその他の情報	
	2019年12月31日
	現在
オペレーティング・リースの使用权資産(貸借対照表上のその他の資産に含まれる)	3,419
オペレーティング・リース債務(貸借対照表上のその他の負債に含まれる)	3,446
加重平均オペレーティング・リースの残存リース期間(年)	6.03
加重平均オペレーティング・リースの割引率	5.25%

コミットメント

下記表は、当銀行の長期リース契約の概要である。

2019年12月31日終了年度	オペレーティング ・リース
2020年	1,048
2021年	778
2022年	566
2023年	378
2024年	242
2025年以降	1,047
コミットメント合計	4,059
控除：表示額に対する割引キャッシュ・フローの影響	(613)
オペレーティング・リース債務	3,446

2018年12月31日終了年度の長期的な賃貸借物件の賃料は1.347百万米ドルであった。

注14：金利収益

貸出金

下記表は、貸出金金利収益の構成を表す。

	2019年12月31日	2018年12月31日
モーゲージに係る契約上の金利	38,653	35,968
その他のローンに係る契約上の金利	16,684	17,982
契約上の金利小計	55,337	53,950
ローン設定手数料減価償却費（償却原価控除後）	1,109	585
貸出金金利収益合計	56,446	54,535
期末現在ローンに含まれる未償却ローン手数料残額	2,794	2,540

注15：デリバティブ商品の会計およびリスク管理

当銀行は、リスク管理を目的とした顧客のニーズに応えるためにデリバティブを利用している。当銀行のデリバティブ契約は、主に、当銀行と取引相手方間の相対による店頭取引で、金利契約および為替契約が含まれる。当銀行は、国際スワップデリバティブ協会のマスター・アグリーメント（以下「ISDA」という。）を締結することで、デリバティブにかかる信用損失に対するエクスポージャーを軽減する機会を追求する。デリバティブ取引の性質上、2当事者間の担保の取決めも同様に利用することがある。当銀行が、同じ取引相手方と1つ以上のデリバティブ取引を締結しており、かつ、かかる取引相手方と法的強制力のあるマスター・ネットリング・アグリーメントを有している場合には、値洗い後のエクスポージャー純額は、かかる取引相手方とのプラス・マイナスの相殺を表す。エクスポージャー純額がマイナスの場合には、当銀行の取引相手方に対する信用エクスポージャーは0であるとみなす。特定の取引相手方との値洗いを必要とするポジション純額は、当銀行とかかる取引相手方との間に法的強制力のあるマスター・ネットリング・アグリー

メントがある場合の合理的な信用リスクの程度を表す。2019年および2018年の終了年度について、当銀行は、デリバティブ取引の相殺を行わないことを選択した。

これらの一定の契約は、信用リスク関連の偶発的な特性が含まれ、当銀行の信用格付けが規定レベルを下回るか、あるいは負債が一定のレベルに達する事象において、取引相手方が当銀行のデリバティブ負債純額の現金決済を前倒しするポジションを有するものである。

すべてのデリバティブ金融商品は、ヘッジとして指定されているかどうかに関わらず、連結貸借対照表において、その他の資産またはその他の負債の中に、公正価値で計上される。連結運用計算書上のデリバティブの公正価値の変動についての会計処理は、当該契約がヘッジとして指定されたか、ヘッジ会計に適合しているかに左右される。

想定元本

想定元本は、交換するキャッシュ・フロー額を決定するために適用されるレートまたは価格に対する契約上の額面を表しているため、連結貸借対照表上の資産または負債としては計上されない。想定元本は、未決済の取引残高を表しており、当該商品の市場リスクまたは信用リスクに伴う潜在的な損益を表すものではない。信用リスクは、デリバティブ商品のプラスの公正価値に限定され、想定元本をはるかに下回る額である。

公正価値

デリバティブ商品は、相殺する前払い現金がない場合、通常、設定時には市場価格はない。これらは、関連する為替レートの変動につれてプラスまたはマイナス方向の評価を受ける。デリバティブの前述の要因による価値の増減の可能性は、一般に市場リスクとみなされる。市場リスクは、当銀行の上級経営陣が規定するように明確に定義されたパラメーター内で管理される。公正価値は、実勢市場価格でデリバティブ契約を入れ替える際の損益と定義する。

リスク管理デリバティブは、ヘッジ商品として公式に指定されていないデリバティブから構成される。それらは当銀行のエクスポージャーの為替リスクを管理するために締結される。ヘッジ商品として公式に指定されていないデリバティブ商品の公正価値の変動は、為替収益において認識される。

顧客向けデリバティブ

当銀行は、主に顧客の外国為替ニーズに応えるために為替契約を締結する。為替契約は将来日付で特定の為替レートで特定の通貨額を交換する契約である。顧客向けデリバティブ商品の公正価値の変動は収益で認識される。

下記表は、未決済のデリバティブ契約の想定元本総額およびそれぞれのプラスまたはマイナスの公正価値総額である。デリバティブの公正価値は、連結貸借対照表でその他の資産およびその他の負債に計上される。プラスの公正価値総額は、その他の資産に計上され、マイナスの公正価値総額は、その他の負債に計上される。当銀行は、連結貸借対照表において、デリバティブの差額決済を行っていない。

2019年12月31日	デリバティブ商品	契約高	想定元本	公正価値総額 (プラス)	公正価値総額 (マイナス)	公正価値 (純額)
顧客向けデリバティブ						
	スポットおよび先渡為替取引	98	405,205	853	(701)	152
デリバティブ商品合計		98	405,205	853	(701)	152

2018年12月31日	デリバティブ商品	契約高	想定元本	公正価値総額 (プラス)	公正価値総額 (マイナス)	公正価値 (純額)
顧客向けデリバティブ						
	スポットおよび先渡為替取引	146	571,778	7,111	(6,907)	204
デリバティブ商品合計		146	571,778	7,111	(6,907)	204

2019年12月31日および2018年12月31日現在、当銀行は、第三者機関に保有されるデリティブ契約に関するいかなる担保の提供も受領もしていない。

当銀行は、各取引相手方に関連する信用リスクを取引相手方に特定の信用リスク制限を使って監視すること、必要な場合にマスター・ネットリング・アグリーメントを利用すること、および担保を得ることでデリバティブのエクスポージャーを管理する。当銀行は、ネットリング・アグリーメントの対象である一定のデリバティブ資産および負債の総額を連結貸借対照表上で相殺しないことを選択した。

当銀行はまた、信用事由において、当銀行または取引相手方が法的に相殺が可能である一定のデリバティブ資産または負債ならびにすべての受領担保または支払担保についても相殺しないことを選択した。下記表は、エクスポージャー純額を示すために、連結貸借対照表に表示されている公正価値から当該ポジションが控除されている。

2019年12月31日	認識済 公正価値総額	控除： マスター・ ネットリング・ アグリーメント に基づき 適用された相殺	連結貸借対照表 に表示された 公正価値純額	控除： 相殺されない デリバティブ 資産/負債	控除： 受領/支払 現金担保	担保控除後の エクスポージャー
デリバティブ資産						
スポット、先渡為替取引 および通貨スワップ	853	-	853	-	-	853
デリバティブ負債						
スポット、先渡為替取引 および通貨スワップ	(701)	-	(701)	-	-	(701)
プラス公正価値純額			152	-		

2018年12月31日	認識済 公正価値総額	控除： マスター・ ネットィング・ アグリーメント に基づき 適用された相殺	連結貸借対照表 に表示された 公正価値純額	控除： 相殺されない デリバティブ 資産 / 負債	控除： 受領 / 支払 現金担保	担保控除後の エクスポージャー
デリバティブ資産 スポット、先渡為替取引 および通貨スワップ	7,111	-	7,111	-	-	7,111
デリバティブ負債 スポット、先渡為替取引 および通貨スワップ	(6,907)	-	(6,907)	-	-	(6,907)
プラス公正価値純額			204	-		

下記表は、未決済のデリバティブ商品について、連結運用計算書上に計上された計上科目および利益を表す。

デリバティブ商品	連結運用計算書科目	終了年度	
		2019年12月31日	2018年12月31日
先渡為替取引	為替収益	152	204
純収益として認識された純利益合計		152	204

注16：金融商品の公正価値

下記表は、経常的に発生する公正価値で測定した金融資産および負債を表す。経営陣は、注2の重要な会計方針に記載のそれぞれの公正価値決定に用いられる入力値の種類に基づき当該項目を分類している。

経営陣は、予想時価と前月の価格を比較して、各証券の価格を毎月見直す。経営陣の予想価格は、市況および個別発行体に関連した変化および / または投資ポートフォリオで保有される資産クラスに対する知識に基づく。異例のまたは著しい価格変動がある場合、あるいは特定の資産クラスが想定外の実績となった場合、当該事項は当銀行の資産および負債委員会によって再検討される。

レベル1の金融商品は、上場株式および活発に取引され買戻し可能なミューチュアル・ファンド株式を含む。

レベル2の金融商品は、活発に取引されていないエクイティ証券、譲渡性預金証書、社債、モーゲージ担保証券およびその他のアセット・バック証券、金利スワップおよびキャップおよび先渡為替取引、ならびに活発に取引されていないミューチュアル・ファンドを含む。

レベル3の金融商品は、アセット・バック証券で、相対的に市場の流動性が低く、実際の取引価格についての情報が直ちに入手できないものを含む。

2019年12月31日および2018年12月31日終了年度中、レベル1およびレベル2またはレベル2およびレベル3の間で移動はなかった。

経常的に発生する公正価値で認識した項目	2019年12月31日				2018年12月31日			
	公正価値			帳簿価額 / 公正価値 合計	公正価値			帳簿価額 / 公正価値 合計
	レベル1	レベル2	レベル3		レベル1	レベル2	レベル3	
金融資産								
負債証券								
売却可能								
米国政府および連邦機関	-	906,623	-	906,623	-	654,457	-	654,457
米国政府以外が発行した負債証券	-	3,429	-	3,429	-	3,064	-	3,064
社債	-	-	-	-	-	54,359	-	54,359
アセット・バック証券 - 学生ローン	-	-	12,891	12,891	-	-	12,625	12,625
商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	54,334	-	54,334
住宅ローン担保証券	-	44,648	-	44,648	-	58,502	-	58,502
売却可能合計	-	954,700	12,891	967,591	-	824,716	12,625	837,341
その他の資産 - デリバティブ	-	853	-	853	-	7,111	-	7,111
金融負債								
その他の負債 - デリバティブ	-	701	-	701	-	6,907	-	6,907

上記のアセット・バック証券 - 学生ローンとして表示されるレベル3の金融商品は、担保付学生ローン証券である連邦家族教育ローン・プログラム（以下「FFELPローン」という。）であり、法的拘束力のないブローカー相場を用いて評価される。当該ブローカーから提供された公正価値は、類似の証券の最新の取引価格であるが、当該証券の取引市場は非流動的であるため、レベル2の分類には当たらない。

レベル3の調整	2019年12月31日		2018年12月31日	
	売却可能 投資	合計	売却可能 投資	合計
期首帳簿価額	12,625	12,625	12,493	12,493
購入	-	-	-	-
売却手取金 / 資本配分	-	-	-	-
純収益で認識する実現および未実現損失	-	-	-	-
その他の包括利益で認識する 実現および未実現利益	266	266	132	132
レベル3への / レベル3からの移動	-	-	-	-
期末帳簿価額	12,891	12,891	12,625	12,625

下記表は、公正価値ヒエラルキーでレベル3に分類される資産の経常的に発生する公正価値測定に関する定量的情報を表す。

金融商品の種類	評価技法	2019年12月31日	2018年12月31日
		公正価値	公正価値
アセット・バック証券 - 学生ローン	未調整第三者価格	12,891	12,625

経常的に発生する公正価値で認識される
以外の項目

	2019年12月31日				2018年12月31日			
	公正価値 ヒエラルキー	帳簿価額	公正価値	増（減）	帳簿価額	公正価値	増（減）	
金融資産								
銀行預け金	レベル1	757,407	757,407	-	918,337	918,337	-	
短期投資	レベル1	-	-	-	24,878	24,878	-	
満期保有投資	レベル2	924,423	943,634	19,211	817,565	804,939	(12,626)	
貸出金（貸倒引当金控除後）	レベル2	1,104,689	1,106,674	1,985	1,012,235	1,012,206	(29)	
金融負債								
顧客預金								
要求払い預金	レベル2	2,995,319	2,995,319	-	2,888,358	2,888,358	-	
定期預金	レベル2	479,847	480,148	(301)	479,199	479,453	(254)	

注17：金利リスク

下記表は、契約上の満期、予想満期またはリプライシング日のいずれか早い日における、資産、負債および株主資本を表す。当銀行の金利リスク・ポジションについての情報を引き出すために本表を利用することは、顧客が自身の金融商品を契約満期またはリプライシング日以前の日付で終了することを選択できるという事実により、限定されたものとなる。例としては、固定金利モーゲージで、これは契約満期で記載されているが、繰上げ返済されることもあり、また、一部の定期預金は、契約満期で記載されているが各契約満期より前に引き出されることもある。ただし、繰上げ返済の違約金および事前通知期間が条件である。投資は、残存契約満期に基づき記載される。モーゲージ担保証券（主に米国政府機関）の主たる残存契約満期は、繰上げ返済を考慮していない。借り手は、対象モーゲージが満期を迎えるよりも前に、債務を繰上げ返済する権利を有することがあるため、残存予想満期は、契約満期とは異なることがある。

2019年12月31日

満期日またはリプライシング日の早い方

(百万米ドル)	3か月以内	3 - 6か月	6 - 12か月	1 - 5年	5年超	無利息資金	合計
資産							
銀行預け金	733	-	-	-	-	24	757
短期投資	-	-	-	-	-	-	-
投資	178	22	2	41	1,649	-	1,892
貸出金	806	9	48	93	149	-	1,105
その他の資産	-	-	-	-	-	85	85
資産合計	1,717	31	50	134	1,798	109	3,839
負債および株主資本							
株主資本	-	-	-	-	-	302	302
要求払い預金	2,213	-	-	-	-	782	2,995
定期預金	356	75	42	7	-	-	480
その他の負債	-	-	-	-	-	62	62
負債および株主資本合計	2,569	75	42	7	-	1,146	3,839
金利感応度ギャップ	(852)	(44)	8	127	1,798	(1,037)	-
金利感応度ギャップ累計	(852)	(896)	(888)	(761)	1,037	-	-

2018年12月31日	満期日またはリプライシング日の早い方						
(百万米ドル)	3か月以内	3 - 6か月	6 - 12か月	1 - 5年	5年超	無利息資金	合計
資産							
銀行預け金	902	-	-	-	-	16	918
短期投資	25	-	-	-	-	-	25
投資	209	17	3	122	1,304	-	1,655
貸出金	708	143	-	127	32	2	1,012
その他の資産	-	-	-	-	-	95	95
資産合計	1,844	160	3	249	1,336	113	3,705
負債および株主資本							
株主資本	-	-	-	-	-	272	272
要求払い預金	2,173	-	-	-	-	715	2,888
定期預金	308	106	54	11	-	-	479
その他の負債	-	-	-	-	-	66	66
負債および株主資本合計	2,481	106	54	11	-	1,053	3,705
金利感応度ギャップ	(637)	54	(51)	238	1,336	(940)	-
金利感応度ギャップ累計	(637)	(583)	(634)	(396)	940	-	-

注18：自己資本規制

当銀行は、ケイマン諸島金融庁（以下「CIMA」という。）が定義するバーゼル 枠組みの資本規制に従っており、これはケイマン諸島で2011年1月1日に発効した。CIMAが当銀行につき設定した資本力は、最低11%のリスク加重した総資本比率である。2019年12月31日現在、リスク加重した総資本比率は21.12%（2018年：20.68%）である。

注19：関連当事者取引

	2019年12月31日	2018年12月31日
連結貸借対照表		
資産		
銀行預け金 - 親会社および関係会社	2,224	84,882
従業員への貸出金	35,697	30,913
関連当事者への貸出金	33,101	-
未収利息	227	34
その他の資産 - 関係会社	7,256	8,616
負債		
顧客預金 - 関係会社およびその他の関連当事者	6,907	28,173
その他の負債 - 親会社および関係会社	2,432	3,035
連結運用計算書		
非金利収益		
資産運用	697	681
純利息収益		
利息収益 - 銀行預金	538	416
利息収益 - 関連会社およびその他の関連当事者への貸出金	493	-
利息費用 - 銀行預金	40	-
非金利費用		
賃金および従業員給付金	1,056	818
専門および外部サービス	2,415	1,915
その他の費用	1,416	1,577

当銀行は、従業員向け福利厚生として優遇金利ローンおよび低手数料での銀行サービスを提供している。

当銀行は、当銀行の適格従業員に関して優遇金利でローンを提供する制度を設定した。それには、当銀行が設定した一定条件が課されており、かかる従業員が一定の信用基準を満たすことを条件としている。ローンの支払いは、当銀行の従業員普通預金口座または貯蓄預金口座からの自動引き落としとして返済される。ローン申請は、当銀行の通常のリテール・バンキングの顧客に対するものと同様の方針に沿って提出される。当銀行の優遇金利の提供力は、市況、規制および当銀行全体の業績を含む多数の要因に依拠する。当銀行は、従業員ローン方針を変更する権利を有する。2019年12月31日終了年度の従業員に対する優遇金利は、0.734百万米ドル（2018年：0.673百万米ドル）であった。

親銀行以外の関連会社からの重大な未収および未払残高には、貸出金および顧客預金が含まれる。当期中、当銀行はガーンジーの関連会社に対し25百万英ポンドを貸出しており、それは、イングランド銀行のプライム・レートに2.5%（フロア-3.00%を条件とする）を加算した変動金利で、2029年7月15日までに全額を返済するものである。劣後債は、規制目的のため資本の性質の貸出金として処理される。通常業務において、当銀行は、関連会社およびその他の関係会社から、またはそれらに対して、関連会社でない当事者に対して提供される条件と同様の条件で通常の銀行業務を受領および提供している。非金利費用は、共通の専門業務の割当てならびに親会社および親会社の子会社に対する貸出金と担保管理手数料と共に、親銀行による株式報酬の割当てで構成されている。

貸出金および参加貸出金に分類されるのは以下の通りである。

2019年12月31日現在、当銀行の親会社からの参加貸出金は、152.9百万米ドル（2018年：253.6百万米ドル）であった。

当銀行は、ガーンジーの関係会社に帰属する貸出金47.7百万米ドルを割り当てた。2019年12月31日現在、割り当てられた貸出金の残高は47.4百万米ドルであった。

注20：企業結合

2018年3月29日付で、当銀行は、ドイツ銀行インターナショナル・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド（以下「DBIT」という。）の株式資本100%の取得を完了した。これは、米国での運営を除く、ドイツ銀行のグローバル・トラスト・ソリューション（以下「GTS」という。）事業に関する親銀行による買収の一部である。買収は、世界的な信託サービス市場における当銀行の市場での地位を強化するために行われた。買収後にDBITからバターフィールド・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッドに名称が変更された。

取得資産は、主として、現金、顧客関連無形資産および未収金で構成される。負債は、主として、前受収益および未払金で構成されるものと推定される。

取得した純資産の公正価値および取得配分は、以下の通り分析される。

	2018年3月29日現在
移転された現金対価の総額	7,239
取得資産	
銀行預け金	2,202
無形資産（15年の見積耐用年数）	4,958
その他の資産 ⁽¹⁾	788
取得資産総額	7,948
取得した負債（貸借対照表上のその他の負債に含まれる）	1,260
取得価格を超える（のれん）	551

(1) その他の資産は、0.788百万米ドルの公正価値の取引未収金で構成される。これには、1.515百万米ドルの未収金の総額および0.727百万米ドルの貸倒引当金が含まれる。

取得資産

2018年2月15日付で、当銀行は、ケイマン諸島におけるドイツ銀行の銀行業および保管事業関連の移転契約を締結した。2018年度中、一部の顧客預金、保管および信用状関連は、当銀行に移転され、すべての移転が第4四半期中に完了した。

注21：後発事象

当財務書類は、2020年2月20日までの後発事象が評価され、発行が可能となった。

[次へ](#)

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Consolidated Balance Sheets

As at 31 December (In thousands of United States dollars)

	2019	2018
Assets		
Cash and demand deposits with banks	133,793	155,036
Cash equivalents	623,614	752,301
Total cash due from banks	757,407	918,337
Short term investments	-	24,876
Debt securities		
Available for sale	967,591	837,341
Held to maturity	924,423	817,565
Total investments in debt securities	1,892,014	1,654,906
Loans and participations receivable, net of allowance for credit losses	1,104,689	1,012,235
Premises, equipment and computer software	46,804	48,186
Intangible assets	12,096	13,157
Accrued interest	7,336	7,368
Goodwill	551	551
Assets held for sale	-	397
Other assets	18,217	25,453
Total assets	3,839,074	3,705,468
Liabilities		
Customer deposits		
Non-interest bearing	782,079	715,417
Interest bearing	2,693,087	2,652,140
Total customer deposits	3,475,166	3,367,557
Accrued interest	1,626	1,922
Other liabilities	60,167	63,649
Total other liabilities	61,793	65,571
Total liabilities	3,536,959	3,433,128
Shareholder's equity		
Common share capital (\$1.00 par; authorised shares 16,450,000 (2018: \$1.00 par; authorised shares 16,450,000))	16,450	16,450
Retained earnings	277,486	269,643
Accumulated other comprehensive income (loss)	8,199	(13,753)
Total shareholder's equity	302,115	272,340
Total liabilities and shareholder's equity	3,839,074	3,705,468

Signed on behalf of the Board by:

Michael A. McWatt
Managing DirectorErwin Dikau
Chief Financial Officer

The accompanying notes on pages 6 to 33 are an integral part of these consolidated financial statements.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Consolidated Statements of Operations

For the year ended 31 December (In thousands of United States dollars)

	2019	2018
Non-interest income		
Asset management	3,524	3,476
Banking	22,309	20,457
Foreign exchange revenue	20,671	18,630
Trust	5,347	5,098
Other non-interest income	2	120
Total non-interest income	51,853	47,781
Interest income		
Interest and fees on loans	56,446	54,535
Investments	54,624	45,837
Deposits with banks	11,901	7,019
Total interest income	122,971	107,391
Interest expense		
Deposits	8,407	4,182
Total interest expense	8,407	4,182
Net interest income before provision for credit recoveries	114,564	103,209
Provision for credit recoveries	1,893	1,297
Net interest income after provision for credit recoveries	116,457	104,506
Net realised gain on available for sale investments	571	341
Net realised (loss) gain on sale of premises, equipment and computer software	(2)	6
Net realised gain on other real estate owned	-	2
Total other gains	569	349
Total net revenue	168,879	152,636
Non-interest expense		
Salaries and other employee benefits	29,787	29,055
Technology and communications	13,732	13,739
Property	4,300	5,242
Professional and outside services	4,334	4,213
Non-income taxes	2,109	1,850
Amortisation of intangible assets	1,101	1,014
Marketing	1,070	987
Other expenses	4,623	4,565
Total non-interest expense	61,056	60,966
Net income	107,823	91,970

Consolidated Statements of Comprehensive Income

For the year ended 31 December (In thousands of United States dollars)

	Line item in the Consolidated Statement of operations, if any.	2019	2018
Comprehensive income			
Net income		107,823	91,970
Accretion of net unrealised gains on held to maturity investments transferred from available-for-sale investments		(56)	(73)
Net unrealised gains/(losses) arising during the period		22,579	(8,996)
Reclassification of realised gains to net income	Net realised (gains) losses on available for sale investments	(571)	(341)
Total comprehensive income		129,775	82,560

The accompanying notes on pages 6 to 33 are an integral part of these consolidated financial statements.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Consolidated Statements of Changes in Shareholder's Equity

For the year ended 31 December (In thousands of United States dollars)

	2019	2018
Common share capital issued and outstanding		
Authorised, issued and fully paid (2019: 16,450,000 shares; 2018: 16,450,000 shares)	16,450	16,450
Retained earnings		
Balance at beginning of year	269,643	237,673
Net income for year	107,823	91,970
Cash dividends declared and paid	(100,000)	(60,000)
Balance at end of year	277,466	269,643
Accumulated other comprehensive (loss) income		
Balance at beginning of year	(13,753)	(4,343)
Held to maturity investment adjustments		
Amortisation of net gains to net income	(56)	(73)
Net change in unamortised gains on held to maturity investments	(56)	(73)
Available for sale investment adjustments		
Gross unrealised gains (losses)	22,579	(8,996)
Transfer of realised (gains) to net income	(571)	(341)
Net change in unrealised and realised gains (losses) on available for sale investments	22,008	(9,337)
Balance at end of year	8,199	(13,753)
Total shareholder's equity	302,115	272,340

The accompanying notes on pages 6 to 33 are an integral part of these consolidated financial statements.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Consolidated Statements of Cash Flows

For the year ended 31 December (In thousands of United States dollars)

	2019	2018
Cash flows from operating activities		
Net income	107,823	91,970
Adjustments to reconcile net income to operating cash flows:		
Depreciation and amortisation	17,374	17,493
Provision for credit recoveries	(1,893)	(1,297)
Net realised (gains) losses of available for sale investments	(571)	(341)
Changes in operating assets and liabilities:		
Decrease (increase) in accrued interest receivable	33	(824)
Decrease (increase) in other assets	7,236	(11,527)
Decrease (increase) in accrued interest payable	(296)	917
(Decrease) increase in other liabilities	(3,484)	17,129
Cash provided by operating activities	126,222	113,520
Cash flows from investing activities		
Net decrease in short term investments	24,878	24,943
Additions to premises, equipment and computer software	(4,320)	(3,113)
Net (increase) decrease in loans and participations receivable	(93,908)	(47,786)
Held to maturity investments: proceeds from maturities and pay downs	109,999	68,450
Held to maturity investments: purchases	(220,144)	(357,675)
Available for sale investments: proceeds from sales	111,247	219,332
Available for sale investments: proceeds from maturities and pay downs	143,841	141,834
Available for sale investments: purchases	(366,355)	(132,636)
Net cash disbursed for business acquisitions	-	(5,483)
Cash (used) provided by investing activities	(294,762)	(92,134)
Cash flows from financing activities		
Net increase (decrease) in demand and term deposit liabilities	107,610	419,047
Cash dividends paid	(100,000)	(60,000)
Cash provided by (used) financing activities	7,610	359,047
Net (decrease) increase in cash due from banks	(160,930)	380,433
Cash due from banks at beginning of year	918,337	537,904
Cash due from banks at end of year	757,407	918,337
Supplemental disclosure of cash flow information		
Cash interest paid	8,793	3,265
Supplemental disclosure of non-cash items		
Extinguishment of loan in exchange for available for sale investments	3,347	-

The accompanying notes on pages 6 to 33 are an integral part of these consolidated financial statements.

Butterfield Bank (Cayman) Limited Notes to the Consolidated Financial Statements

For the year ended 31 December (in thousands of United States dollars)

Note 1: Nature of business

Butterfield Bank (Cayman) Limited (the "Bank") is a full service community bank and a provider of specialised wealth management services. Services offered include retail, private & corporate banking, treasury, asset management and personal & institutional trust services in the Cayman Islands.

The Bank was incorporated on 22 November 1967 under the laws of the Cayman Islands and is a wholly-owned subsidiary of The Bank of N.T. Butterfield & Son Limited ("Butterfield"), a company incorporated in Bermuda. Butterfield is a publicly traded corporation with shares listed on the New York Stock Exchange and the Bermuda Stock Exchange. The Butterfield Group is regulated by the Bermuda Monetary Authority (BMA), while the Bank is regulated by the Cayman Islands Monetary Authority (CIMA). Both regulators operate in accordance with Basel principles.

The Bank holds a category 'A' banking licence and a trust licence under the Banks and Trust Companies Law of the Cayman Islands. In addition, the Bank is licensed under the Securities and Investment Business Law.

The Bank owns directly and indirectly the following subsidiaries:

Field Directors (Cayman) Limited	Field Secretaries (Cayman) Limited	Field Nominees (Cayman) Limited
Butterfield Trust (Cayman) Limited	Butterfield Fiduciary Services (Cayman) Limited	

The Bank has structured its operations in order that it will not be deemed to be engaged in trade or business within the U.S. for purposes of U.S. federal tax laws, or subject to taxation in any jurisdiction.

Note 2: Significant Accounting Policies

a. Basis of Presentation and Use of Estimates and Assumptions

The accounting and financial reporting policies of the Bank and its subsidiaries conform to generally accepted accounting principles in the United States of America ("GAAP"). The preparation of financial statements in accordance with GAAP requires management to make estimates and assumptions that affect the reported amounts of assets and liabilities and disclosure of contingent assets and liabilities at the date of the financial statements and the reported amounts of revenues and expenses during the year, and actual results could differ from those estimates.

Critical accounting estimates are those that require management to make subjective or complex judgments about the effect of matters that are inherently uncertain and may change in subsequent periods. Changes that may be required in the underlying assumptions or estimates in these areas could have a material impact on the future financial condition and results of operations. Management believes that the most critical accounting policies upon which the Bank's financial condition and performance depends, and which involves the most complex or subjective decisions or assessments, are as follows:

- Allowance for credit losses
- Fair value and impairment of financial instruments
- Impairment of intangible assets
- Share-based payments

b. Basis of Consolidation

The Consolidated Financial Statements include the accounts of the Bank and its majority-owned subsidiaries, and those variable interest entities ("VIEs") where the Company is the primary beneficiary. The Bank has no interest in any VIEs which are required to be consolidated. Intercompany accounts and transactions have been eliminated. The Bank consolidates subsidiaries where it holds, directly or indirectly, more than 50% of the voting rights or where it exercises control. Entities where the Bank holds 20% to 50% of the voting rights and/or has the ability to exercise significant influence, are accounted for under the equity method, and the pro rata share of their income (loss) is included in other non-interest income.

c. Foreign Currency Translation

Assets and liabilities arising from foreign currency transactions are translated into United States dollars at the rates of exchange prevailing at the balance sheet date while associated revenues and expenses are translated to United States dollars at the rates of exchange prevailing throughout the year. The resulting gains or losses are included in foreign exchange revenue in the Consolidated Statement of Operations.

d. Assets Held In Trust or Custody

Securities and properties (other than cash and deposits held with the Bank) held in trust, custody, agency or fiduciary capacity for customers are not included in the Consolidated Balance Sheets because the Bank is not the beneficiary of these assets.

e. Cash Due from Banks

Cash due from banks include cash on hand, cash items in the process of collection, amounts due from correspondent banks and highly liquid investments that are readily convertible to known amounts of cash and which are subject to an insignificant risk of change in fair value. Such investments are those with a maturity of three months or less from the date of acquisition and include unrestricted term deposits, certificates of deposit and treasury bills.

f. Short Term Investments

Short-term investments have maturities of less than one year from the date of acquisition, are only subject to an insignificant risk of change in fair value and comprise term deposits, certificate of deposits and treasury bills with a maturity greater than three months from the date of acquisition. Treasury bills are recorded at amortised cost.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)*(In thousands of United States dollars)***Note 2: Significant Accounting Policies (continued)****g. Investments**

Investments in debt securities are classified as available for sale ("AFS") or held to maturity ("HTM").

Investments are classified primarily as AFS when used to manage the Bank's exposure to interest rate and liquidity movements, as well as to make strategic longer-term investments. AFS investments are carried at fair value in the Consolidated Balance Sheets with unrealised gains and losses reported as net increase or decrease to Accumulated Other Comprehensive Income(Loss) ("AOCI").

Investments that the Bank has the positive intent and ability to hold to maturity are classified as HTM and are carried at amortised cost in the Consolidated Balance Sheets. Unrecognised gains and losses on HTM securities are disclosed in the notes to the consolidated financial statements. The specific identification method is used to determine realised gains and losses on AFS investments, which are included in net realised gains on AFS investments in the Consolidated Statement of Operations.

Interest income, including amortisation of premiums and discounts, on securities for which cash flows are not considered uncertain are included in interest income in the Consolidated Statements of Operations. For securities with uncertain cash flows, the investments are accounted for under the cost recovery method, whereby all principal and coupon payments received are applied as a reduction of the amortised cost and carrying amount. Accrual of income is suspended in respect of debt securities that are in default, or from which it is unlikely that future interest payments will be received as scheduled.

Recognition of other-than-temporary impairments

For debt securities, management considers a decline in fair value to be other-than-temporary when it does not expect to recover the entire amortised cost basis of the security. Investments in debt securities in unrealised loss positions are analysed as part of management's ongoing assessment of other-than-temporary impairment ("OTTI"). When management intends to sell such securities or it is more likely than not that the Bank will be required to sell the securities before recovering the amortised cost, it recognises an impairment loss equal to the full difference between the amortised cost basis and the fair value of those securities. When management does not intend to sell or it is more likely than not that the Bank will hold such securities until recovering the amortised cost, management determines whether any credit losses exist to identify any OTTI. Under certain circumstances, management will perform a qualitative determination and considers a variety of factors, including the length of time and extent to which the fair value has been less than cost; adverse conditions specifically related to the industry; geographic area or financial condition of the issuer or underlying collateral of a security; payment structure of the security; changes to the rating of the security by a rating agency; the volatility of the fair value changes; and changes in fair value of the security after the balance sheet date. Alternatively, management estimates cash flows over the remaining lives of the underlying security to assess whether credit losses exist. In situations where there is a credit loss, only the amount of impairment relating to credit losses on AFS and HTM investments is recognised in net income. For AFS investments, the decrease in fair value relating to factors other than credit losses are recognised in AOCI. Cash flow estimates take into account expectations of relevant market and economic data as of the end of the reporting period, including, for example, underlying loan-level data, and structural features of securitisation, such as subordination, excess spread, over collateralisation or other forms of credit enhancement. The degree of judgment involved in determining the recoverable value of an investment security is dependent upon the availability of observable market prices or observable market parameters. When observable market prices and parameters do not exist, judgment is necessary to estimate recoverable value which gives rise to added uncertainty in the assessment. The assessment takes into consideration factors such as interest rate changes, movements in credit spreads, default rate assumptions, prepayment assumptions, type and quality of collateral, and market sentiment.

Management's fair valuations may include inputs and assumptions that are less observable or require greater estimation, thereby resulting in values which may be greater or lower than the actual value at which the investments may be ultimately sold or the ultimate cash flows that may be recovered. If the assumptions on which management based its fair valuations change, the Bank may experience additional OTTI or realised losses or gains, and the period-to-period changes in value could vary significantly.

h. Loans

Loans are reported at the principal amount outstanding, net of allowance for credit losses, unearned income and net deferred loan fees. Interest income is recognised over the term of the loan using the effective interest method, or on a basis approximating a level rate of return over the term of the loan, except for loans classified as non-accrual. Prepayment penalties, if applicable under the terms of the specific loan agreement, are recognised also upon receipt of payment.

Acquired loans

Acquired loans are recorded at fair value at the date of acquisition. No allowance for credit losses is recorded on the acquisition date as the fair value of the acquired assets incorporates assumptions regarding credit risk. Acquired loans with evidence of credit quality deterioration for which it is probable that the Bank will not receive all contractually required payments receivable are accounted for as purchased credit-impaired loans. Generally, acquired loans that meet the Bank's definition for non-accrual status are considered to be credit-impaired.

The excess of the cash flows expected to be collected on purchased credit-impaired loans, measured as of the acquisition date, over the estimated fair value is referred to as the accretible yield and is recognised in interest income over the remaining life of the loan using an effective yield methodology. The difference between contractually required payments as of the acquisition date and the cash flows expected to be collected is referred to as the non-accretible difference which is included as a reduction of the carrying amount of the purchased credit-impaired loans.

The Bank evaluates at each balance sheet date the estimated cash flows and corresponding carrying value of purchased credit-impaired loans in the same manner as for the measurement of impaired loans, as is described below. The Bank evaluates at each balance sheet date whether the carrying value of its purchased credit-impaired loans has decreased and if so, recognises an allowance for credit losses in its Consolidated Statements of Operations. For any increases in cash flows expected to be collected, the Bank adjusts any prior recorded allowance for purchased credit-impaired loans first, and then the amount of accretible yield recognised on a prospective basis over the purchased credit-impaired loan's remaining life.

Purchased credit-impaired loans are not considered non-performing and continue to have an accretible yield as long as there is a reasonable expectation about the timing and amount of cash flows expected to be collected.

Participated or Assigned Loans

The Bank may act as lead lender on large loans from time to time and may, for strategic or commercial reasons, assign portions of such loans to other market participants. Such assignments are without right of recourse to the Bank as lead lender and participants/assignees accept all risks and obligations of the ultimate borrower associated with their proportional participation and assignment in such loans. The Bank records the unassigned portion of the principal outstanding in such loans on the balance sheet and records only its proportional share of interest income on the unassigned portion of the loan in the consolidated statement of operations.

Butterfield Bank (Cayman) Limited Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 2: Significant Accounting Policies (continued)

h. Loans (continued)

Impaired loans

A loan is considered to be impaired when, based on current information and events, the Bank determines that it will not be able to collect all amounts due according to the loan contract, including scheduled interest payments. Impaired loans include all non-accruing loans and all loans modified in a troubled debt restructuring ("TDR") even if full collectability is expected following the restructuring.

When a loan is identified as impaired, the impairment is measured based on the present value of expected future cash flows, discounted at the loan's effective interest rate, except when the sole (remaining) source of repayment for the loan is the operation or liquidation of the collateral. In these cases the current fair value of the collateral, less selling costs is used instead of discounted cash flows.

If the Bank determines that the expected realisable value of the impaired loan is less than the recorded investment in the loan (net of previous charge-offs, deferred loan fees or costs and unamortised premium or discount), impairment is recognised through an allowance estimate. If the Bank determines that part of the allowance is uncollectible that amount is charged off.

Non-accrual

Commercial, Commercial real estate and Consumer loans (excluding credit card consumer loans) are placed on non-accrual status immediately if:

- in the opinion of management, full payment of principal or interest is in doubt; or
- principal or interest is 90 days past due.

Residential mortgages are placed on non-accrual status immediately if:

- in the opinion of management, full payment of principal or interest is in doubt; or
- when principal or interest is 90 days past due, unless the loan is well secured and any ongoing collection efforts are reasonably expected to result in repayment of all amounts due under the contractual terms of the loan.

Interest income on non-accrual loans is recognised only to the extent it is received in cash. Cash received on non-accrual loans where there is no doubt regarding full repayment (no impairment recognised in the form of a specific allowance) is first applied as repayment of the past due principal amount of the loan and secondly to past due interest and fees.

Where there is doubt regarding the ultimate full repayment of the non-accrual loan (impairment recognised in the form of a specific allowance), all cash received is applied to reduce the principal amount of the loan. Interest income on these loans is recognised only after the entire balance receivable is recovered and interest is actually received.

Loans are returned to accrual status when:

- none of the principal or accrued interest is past due (with certain exceptions) and the Bank expects repayment of the remaining contractual obligation; or
- when the loan becomes well secured and in the process of collection.

Loans Modified in a Troubled Debt Restructuring ("TDR")

A modification of a loan constitutes a TDR when a borrower is experiencing financial difficulty and the modification constitutes a concession from originally agreed terms. If a restructuring is considered a TDR, the Bank is required to make certain disclosures in the notes of the Consolidated Financial Statements and individually evaluate the restructured loan for impairment. The Bank employs various types of concessions when modifying a loan that it would not otherwise consider which may include extension of repayment periods, interest rate reductions, principal or interest forgiveness, forbearance, and other actions intended to minimise economic loss and to avoid foreclosure or repossession of collateral.

Commercial and industrial loans modified in a TDR often involve temporary interest-only payments, term extensions, and converting revolving credit lines to term loans. Additional collateral, a co-borrower, or a guarantor is often requested.

Commercial mortgage and construction loans modified in a TDR often involve extending the maturity date at an interest rate lower than the current market rate for new debt with similar risk, or substituting or adding a new borrower or guarantor.

Residential mortgage modifications generally involve a short-term forbearance period after which the missed payments are added to the end of the loan term, thereby extending the maturity date. Interest continues to accrue on the missed payments and as a result, the effective yield on the mortgage remains unchanged. As the forbearance period usually involves an insignificant payment delay they typically do not meet the reporting criteria for a TDR.

When a loan undergoes a TDR, the determination of the loan's accrual versus nonaccrual status following the modification depends on several factors. As with the risk rating process, the accrual status decision for such a loan is a separate and distinct process from the loan's TDR analysis and determination. Management considers the following in determining the accrual status of restructured loans:

- if the loan was appropriately on accrual status prior to the restructuring, the borrower has demonstrated performance under the previous terms, and the Bank's credit evaluation shows the borrower's capacity to continue to perform under the restructured terms (both principal and interest payments), it is likely that the appropriate conclusion is for the loan to remain on accrual at the time of the restructuring. This evaluation must include consideration of the borrower's sustained historical repayment performance for a reasonable period prior to the date on which the loan was restructured. A sustained period of repayment performance generally would be a minimum of six months and would involve payments of cash or cash equivalents; or
- If the loan was on nonaccrual status before the restructuring, but the bank's credit evaluation shows the borrower's capacity to meet the restructured terms, the loan would likely remain as non-accrual until the borrower has demonstrated a reasonable period of sustained repayment performance. As noted above, this period generally would be at least six months (thereby providing reasonable assurance as to the ultimate collection of principal and interest in full under the modified terms). Sustained performance before the restructuring may be taken into account.

Loans that have been modified in a TDR are restored to accrual status only when interest and principal payments are brought current for a continuous period of six months under the modified terms. However, performance prior to the modification, or significant events that coincide with the modification, are included in assessing whether the borrower can meet the new terms and may result in the loan being returned to accrual status at the time of loan modification or after a shorter performance period. If the borrower's ability to meet the revised payment schedule is uncertain, the loan remains on non-accrual status.

Butterfield Bank (Cayman) Limited Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(in thousands of United States dollars)

Note 2: Significant Accounting Policies (continued)

h. Loans (continued)

A loan that is modified in a TDR prior to becoming impaired will be left on accrual status if full collectability in accordance with the restructured terms is expected. The Bank works with its customers in these difficult economic times and may enter into a TDR for loans that are in default, or at risk of defaulting, even if the loan is not impaired.

A loan that had previously been modified in a TDR and is subsequently refinanced under current underwriting standards at a market rate with no concessionary terms is accounted for as a new loan and is no longer reported as a TDR.

Delinquencies

The entire balance of an account is contractually delinquent if the minimum payment of principal or interest is not received by the specified due date. Delinquency is reported on loans that are 30 days or more past due.

Charge offs

The Bank recognises charge offs when it determines that loans are uncollectible and this generally occurs when all commercially reasonable means of recovering the loan balance have been exhausted.

Commercial and Consumer loans are either fully or partially charged off down to the fair value of collateral securing the loans when:

- management judges the loan to be uncollectible;
- repayment is expected to be protracted beyond reasonable time frames;
- the asset has been classified as a loss by either the Bank's internal loan review process or third party appraisers; or
- the customer has filed bankruptcy and the loss becomes evident owing to a lack of assets or cash flow.

The outstanding balance of Commercial and Consumer real estate secured loans and residential mortgages that are in excess of the estimated property value, less cost to sell, is charged off once there is reasonable assurance that such excess outstanding balance is not recoverable.

Credit card consumer loans that are contractually 180 days past due and other consumer loans with an outstanding balance under \$100,000 that are contractually 180 days past due are charged-off.

i. Allowance for Credit Losses

The Bank maintains an allowance for credit losses, which in management's opinion is adequate to absorb all estimated credit related losses in its lending and off-balance sheet credit related arrangements at the balance sheet date. The allowance for credit losses consists of specific allowances and a general allowance as follows:

Specific Allowances

Specific allowances are determined on an exposure by exposure basis and reflect the associated estimated credit loss. The specific allowance for credit loss is computed as the difference between the recorded investment in the loan and the present value of expected future cash flows from the loan. The effective rate of return on the loan is used for discounting the cash flows. However, when foreclosure of a collateral-dependent loan is probable, the Bank measures impairment based on the fair value of the collateral. The Bank considers estimated costs to sell, on a discounted basis, in the measurement of impairment if those costs are expected to reduce the cash flows available to repay or otherwise satisfy the loan. If the measurement of an impaired loan is less than the recorded investment in the loan, then the Bank recognises impairment by creating an allowance with a corresponding charge to provision for credit losses.

General Allowance

The allowance for credit losses attributed to the remaining portfolio is established through various analyses that estimate the incurred loss at the balance sheet date inherent in the lending and off-balance sheet credit related arrangements portfolios. These analyses consider historical default rates, geographic, industry, and other environmental factors. Management may also consider overall portfolio indicators including trends in internally risk rated exposures, cash-basis loans, historical and forecasted write-offs, and a review of industry, geographic and portfolio concentrations, including current developments within those segments. In addition, management considers the current business strategy and credit process, including limit setting and compliance, credit approvals, loan underwriting criteria and loan workout procedures.

Each portfolio of smaller balance, homogeneous loans, including consumer instalment, revolving credit, and most other consumer loans, is collectively evaluated for impairment. The allowance for credit losses attributed to these loans is established via a process that estimates the probable losses inherent and incurred in the portfolio, based upon various analyses. Management considers overall portfolio indicators including historical credit losses; delinquent (defined as loans that are more than 30 days past due), non-performing, and classified loans; trends in volumes and terms of loans; an evaluation of overall credit quality; the credit process, including lending policies and procedures; and economic, geographical, product, and other environmental factors.

j. Business Combinations, Goodwill and Intangible Assets

All business combinations are accounted for using the acquisition method. Identifiable intangible assets (mostly customer relationships) are recognised separately from goodwill and are initially valued at fair value using discounted cash flow calculations and other recognised valuation techniques. Goodwill represents the excess of the fair value of the consideration paid for the acquisition of a business over the fair value of the net assets acquired.

Goodwill is tested annually for impairment at the reporting unit level, or more frequently if events or circumstances indicate there may be impairment. If the carrying amount of a reporting unit, including the allocated goodwill, exceeds its fair value, goodwill impairment is measured as the excess of the carrying amount of the reporting unit's allocated goodwill over the implied fair value of the goodwill. Other acquired intangible assets with finite lives are amortised on a straight-line basis over their estimated useful lives, not exceeding 15 years. Intangible assets' estimated lives are re-evaluated annually and an impairment test is carried out if certain indicators of impairment exist.

k. Premises, Equipment and Computer Software

Land is carried at cost. Buildings, equipment and computer software, including leasehold improvements, are carried at cost less accumulated depreciation. The Bank generally computes depreciation using the straight-line method over the estimated useful life of an asset, which is 50 years for buildings, and 3 to 10 years for other equipment. For leasehold improvements the Bank uses the straight-line method over the lesser of the remaining term of the leased facility or the estimated economic life of the improvement. The Bank capitalises certain costs incurred during the development phase, associated with the acquisition or development of internal use software. Once the software is ready for its intended use, these costs are amortised on a straight-line basis over the software's expected useful life, which is between 5 and 10 years.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)*(In thousands of United States dollars)***Note 2: Significant Accounting Policies (continued)****k. Premises, Equipment and Computer Software (continued)**

Management reviews the recoverability of the carrying amount of premises, equipment and computer software when indicators of impairment exist and an impairment charge is recorded when the carrying amount of the reviewed asset is deemed not recoverable by future expected cash flows to be derived from the use and disposition of the asset. If there is a disposition out of premises, equipment and computer software, a gain is recorded if the difference of the proceeds on disposition is in excess of the asset's carrying value. Otherwise, a loss is recorded. If there is an abandonment out of premises, equipment and computer software, the full carrying value of the asset is recognised as a loss.

l. Leases

In the normal course of operation, the Bank enters into leasing agreements either as the lessee or the lessor. Starting on 1 January 2019 (the adoption date of the new lease accounting guidance Accounting Standards Update ("ASU") 2016-02 Leases (Topic 842)), the Bank recognised (prospectively, with no adjustments to prior periods) right-of-use assets and lease liabilities for operating leases and for finance leases. Lease liabilities are measured as the present value of future lease payments, including term renewals that are reasonably certain to occur, discounted using the Bank's incremental borrowing interest rate. Right-of-use assets are measured as the carrying amount of the related lease liabilities adjusted for: prepaid or accrued lease payments, unamortised lease incentive received, unamortised initial direct costs and any impairment of the right-of-use asset.

On 1 January 2019 the Bank elected the practical expedient: (1) not to reassess whether any expired or existing contracts are or contain leases; (2) not to reassess the lease classification for any expired or existing leases and (3) not to reassess initial direct costs for any existing leases.

The Bank also elected the practical expedient not to separate lease components from non-lease components for all classes of underlying assets.

The Bank also elected the practical expedient not to recognise a right-of-use asset and a lease liability for leases with a term at inception of 12 months or less, including renewal options that are reasonably certain to be exercised (referred to as "short term leases").

m. Derivatives

All derivatives are recognised on the Consolidated Balance Sheets at their fair value. On the date that the Bank enters into a derivative contract, it designates the derivative as: a hedge of the fair value of a recognised asset or liability (a fair value hedge); a hedge of a forecasted transaction or the variability of cash flows that are to be received or paid in connection with a recognised asset or liability (a cash flow hedge); or an instrument that is held for trading or non-hedging purposes (a trading or non-hedging instrument).

All instruments utilised as a hedging instrument in a fair value hedge or cash flow hedge must have one or more underlying notional amounts, no or a minimal net initial investment and a provision for net settlement in the contract to meet the definition of a derivative instrument.

The changes in the fair value for a derivative that is designated and qualifies as a fair value hedge, along with changes in the fair value of the hedged asset or liability that are attributable to the hedged risk, are recorded in current year earnings. The changes in the fair value of a derivative that is designated and qualifies as a cash flow hedge, to the extent that the hedge is effective, are recorded in other comprehensive income ("OCI") and the ineffective portion is recorded in current year earnings. That is, ineffectiveness from a derivative that overcompensates for changes in the hedged cash flows is recorded in earnings. However, the ineffectiveness from a derivative that undercompensates is not recorded in earnings. The changes in the fair value of a derivative that is designated and qualifies as a foreign currency hedge is recorded in either current year earnings or OCI, depending on whether the hedging relationship satisfies the criteria for a fair value or cash flow hedge. Changes in the fair value of derivative trading and non-hedging instruments are reported in current year earnings.

The Bank formally documents all relationships between hedging instruments and hedged items, as well as its risk management objective and strategy for undertaking various hedge transactions. This process includes linking all derivatives that are designated as fair value, cash flow, or foreign currency hedges to specific assets and liabilities on the consolidated balance sheets or specific firm commitments or forecasted transactions. The Bank also formally assesses whether the derivatives that are used in hedging transactions have been highly effective in offsetting changes in the fair value or cash flows of hedged items and whether those derivatives may be expected to remain highly effective in future periods. For those hedge relationships that are terminated, hedge designations that are elected to be removed, forecasted transactions that are no longer expected to occur, or the hedge relationship ceases to be highly effective, the hedge accounting treatment described in the paragraphs above is no longer applied and the end-user derivative is terminated or transferred to the trading designation. For fair value hedges, any changes to the carrying value of the hedged item prior to the discontinuance remain as part of the basis of the asset or liability. When a cash flow hedge is discontinued, the net derivative gain (loss) remains in AOCI unless it is probable that the forecasted transaction will not occur in the originally specified time period.

n. Collateral

The Bank pledges assets as collateral as required for various transactions involving deposit products and derivative financial instruments. Assets that have been pledged as collateral, including those that can be sold or repledged by the secured party, continue to be reported on the Bank's consolidated balance sheets under the same line items as non-pledged assets of the same type.

o. Employee Future Benefits

The Bank maintains a trustee defined contribution plan for substantially all employees. The Bank and participating employees provide an annual contribution based on each participating employee's pensionable earnings. Amounts paid are expensed in the period and are included in Salaries and other employee benefits in the Consolidated Statements of Operations.

p. Share-Based Compensation

Butterfield engages in equity settled share-based payment transactions in respect of services received from eligible employees. The fair value of the services received is measured by reference to the fair value of the shares or share options granted on the date of the grant. The cost of the employee services received in respect of the shares or share options granted is allocated to the Bank by Butterfield and recognised in Salaries and other employee benefits in the Consolidated Statements of Operations over the shorter of the vesting or service period.

q. Revenue Recognition

Trust and corporate services fees include fees for private and institutional trust, executorships, corporate and managed bank accounts. Asset management fees include fees for investment management, investment advice and brokerage services. Fees are recognised as revenue over the period of the relationship or when the Bank has rendered all services to the clients and is entitled to collect the fee from the client, as long as there are no contingencies associated with the fee.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 2: Significant Accounting Policies (continued)

q. Revenue Recognition (continued)

Banking services fees primarily include fees for letters of credit and other financial guarantees, compensating balances, overdraft facilities and other financial services-related products as well as credit card fees. Letters of credit and other financial guarantees fees are recognised as revenue over the period in which the related guarantee is outstanding. Credit card fees are comprised of merchant discounts, late fees and membership fees, net of interchange and rewards costs. Credit card fees are recognised in the period in which the service is provided. All other fees are recognised as revenue in the period in which the service is provided.

Foreign exchange revenue includes fees earned on currency exchange transactions which are recognised when such transactions occur, as well as gains and losses recognised when translating financial instruments held or due in currencies other than the local functional currency at the rates of exchange prevailing at the balance sheet date.

Loan interest income includes the amortisation of non-refundable loan origination and commitment fees. These fees are recognised as an adjustment of yield over the life of the related loan. These loan origination and commitment fees are offset by their related direct cost and only the net amounts are deferred and amortised into interest income.

Interest income, including amortisation of premiums and discounts, on debt securities for which cash flows are not considered uncertain are included in interest income in the Consolidated Statements of Operations. Loans placed on non-accrual status are accounted for under the cost recovery method, whereby all principal and interest payments received are applied as a reduction of the amortised cost and carrying amount.

r. Fair Values

Fair value is defined as the exchange price that would be received for an asset or paid to transfer a liability (an exit price) in the principal or most advantageous market for the asset or liability in an orderly transaction between market participants on the measurement date. The Bank determines the fair values of assets and liabilities based on the fair value hierarchy which requires an entity to maximise the use of observable inputs and minimise the use of unobservable inputs when measuring fair value. The relevant accounting standard describes three levels of inputs that may be used to measure fair value. Investments classified as trading and available for sale, and derivative assets and liabilities are recognised in the Consolidated Balance Sheets at fair value.

Level 1, 2 and 3 valuation inputs

Management classifies items that are recognised at fair value on a recurring basis based on the level of inputs used in their respective fair value determination as described below.

Fair value inputs are considered Level 1 when based on unadjusted quoted prices in active markets for identical assets.

Fair value inputs are considered Level 2 when based inputs other than quoted prices that are observable for the asset or liability either directly or indirectly, including inputs in markets that are not considered to be active.

Fair value inputs are considered Level 3 when based on internally developed models using significant unobservable assumptions involving management's estimations or non-binding bid quotes from brokers.

The following methods and assumptions were used in the determination of the fair value of financial instruments:

Cash and cash equivalents

The carrying amount of cash and deposits with banks, being short term in nature, is deemed to equate to the fair value.

Cash equivalents include unrestricted term deposits, certificates of deposits and treasury bills with a maturity of less than three months from the date of acquisition and the carrying value at cost is considered to approximate fair value because they are short-term in nature, bear interest rates that approximate market rates, and generally have negligible credit risk.

Short term investments

Short-term investments comprise restricted term and demand deposits and unrestricted term deposits and treasury bills with less than one year but greater than three months maturity from the date of acquisition. The carrying value at cost is considered to approximate fair value because they are short-term in nature, bear interest rates that approximate market rates, and generally have negligible credit risk.

Investments

The fair values for AFS investments are generally sourced from third parties. The fair value of fixed income securities is based upon quoted market values where available, "evaluated bid" prices provided by third party pricing services ("pricing services") where quoted market values are not available, or by reference to broker or underwriter bid indicators where pricing services do not provide coverage for a particular security. To the extent the Bank believes current trading conditions represent distressed transactions, the Bank may elect to utilise internally generated models. The pricing services typically use market approaches for valuations using primarily Level 2 inputs (in the vast majority of valuations), or some form of discounted cash flow analysis. Pricing services indicate that they will only produce an estimate of fair value if there is objectively verifiable information available to produce a valuation. Standard inputs to the valuations provided by the pricing services listed in approximate order of priority for use when available include: reported trades, benchmark yields, broker/dealer quotes, issuer spreads, two-sided markets, benchmark securities, bids, offers, and reference data. The pricing services may prioritise inputs differently on any given day for any security, and not all inputs listed are available for use in the evaluation process on any given day for each security evaluation. However, the pricing services also monitor market indicators and industry and economic events. When these inputs are not available, they identify "buckets" of similar securities (allocated by asset class types, sectors, sub-sectors, contractual cash flows/structure, and credit rating characteristics) and apply some form of matrix or other modelled pricing to determine an appropriate security value which represents their best estimate as to what a buyer in the marketplace would pay for a security in a current sale. It is common industry practice to utilise pricing services as a source for determining the fair values of investments where the pricing services are able to obtain sufficient market corroborating information to allow them to produce a valuation at a reporting date. In addition, in the majority of cases, although a value may be obtained from a particular pricing service for a security or class of similar securities, these values are corroborated against values provided by other pricing services. While the Bank receives values for the majority of the investment securities it holds from pricing services, it is ultimately management's responsibility to determine whether the values received and recorded in the financial statements are representative of appropriate fair value measurements.

Broker/dealer quotations are used to value fixed maturities where prices are unavailable from pricing services due to factors specific to the security such as limited liquidity, lack of current transactions, or trades only taking place in privately negotiated transactions. These are considered Level 3 valuations, as significant inputs utilised by brokers may be difficult to corroborate with observable market data, or sufficient information regarding the specific inputs utilised by the broker was not available to support a Level 2 classification.

For disclosure purposes, investments held to maturity are fair valued using the same methods described above

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 2: Significant Accounting Policies (continued)

r. Fair Values (continued)

Loans

The majority of loans are variable rate and re-price in response to changes in market rates and hence management estimates that the fair value of loans is not significantly different than their carrying amount. For significant fixed-rate loan exposures, fair value is estimated by discounting the future cash flows, using the current rates at which similar loans would be made to borrowers with similar credit ratings and for the same remaining maturities, of such loans. Management includes the effects of specific provisions raised against individual loans, which factors in a loan's credit quality, as well as accrued interest in determining the fair value of loans.

Accrued interest

The carrying amounts of accrued interest receivable and payable are assumed to approximate their fair values given their short-term nature.

Deposits

The fair value of fixed-rate deposits has been estimated by discounting the contractual cash flows, using market interest rates offered at the balance sheet date for deposits of similar terms. The carrying amount of deposits with no stated maturity date is deemed to equate to the fair value.

Derivatives

Derivative contracts can be exchange traded or over-the-counter ("OTC") derivative contracts and may include forward, swap and option contracts relating to interest rates or foreign currencies. Exchange-traded derivatives typically fall within Level 1 of the fair value hierarchy depending on whether they are deemed to be actively traded or not. OTC derivatives are valued using market transactions and other market evidence whenever possible, including market-based inputs to models, model calibration to market clearing transactions, broker or dealer quotations or alternative pricing sources where an understanding of the inputs utilised in arriving at the valuations is obtained.

Where models are used, the selection of a particular model to value an OTC derivative depends upon the contractual terms and specific risks inherent in the instrument as well as the availability of pricing information in the market. The Bank generally uses similar models to value similar instruments. Valuation models require a variety of inputs, including contractual terms, market prices, yield curves, credit curves, measures of volatility, prepayment rates and correlations of such inputs. For OTC derivatives that trade in liquid markets, such as generic forwards, interest rate swaps and options, model inputs can generally be verified and model selection does not involve significant management judgment.

Goodwill

The fair value of reporting units for which goodwill is recognised is determined when an impairment assessment is performed by discounting estimated future cash flows using discount rates reflecting valuation-date market conditions and risks specific to the reporting unit.

s. Impairment or Disposal of Long-Lived Assets

Impairment losses are recognised when the carrying amount of a long-lived asset exceeds the sum of the undiscounted cash flows expected from its use and disposal. The impairment recognised is measured as the amount by which the carrying amount of the asset exceeds its fair value. Long-lived assets that are to be disposed of other than by sale are classified and accounted for as held for use until the date of disposal or abandonment. Assets that meet certain criteria are classified as held for sale and are measured at the lower of their carrying amounts or fair value, less estimated costs to sell.

t. Credit Related Arrangements

In the normal course of business, the Bank enters into various commitments to meet the credit requirements of its customers. Such commitments, which are not included in the Consolidated Balance Sheets, include:

- Commitments to extend credit which represent undertakings to make credit available in the form of loans or other financing for specific amounts and maturities, subject to certain conditions;
- Standby letters of credit, which represent irrevocable obligations to make payments to third parties in the event that the customer is unable to meet its financial obligations; and
- Documentary and commercial letters of credit, primarily related to the import of goods into the Cayman Islands by customers, which represent agreements to honour drafts presented by third parties upon completion of specific activities.

These credit arrangements are subject to the Bank's normal credit standards and collateral is obtained where appropriate. The contractual amounts for these commitments set out in the table in Note 12 represent the maximum payments the Bank would have to make should the contracts be fully drawn, the counterparty default, and any collateral held prove to be of no value. As many of these arrangements will expire or terminate without being drawn upon or are fully collateralised, the contractual amounts do not necessarily represent future cash requirements. The Bank does not carry any liability for these obligations.

u. Consolidated Statements of Cash Flows

For the purposes of the Consolidated Statements of Cash Flows, cash due from banks include cash on hand, cash items in the process of collection, amounts due from correspondent banks and highly liquid investments that are readily convertible to known amounts of cash and which are subject to an insignificant risk of change in fair value.

v. New Accounting Pronouncements

The following accounting developments were issued during the year ended 31 December 2019 or are accounting standards pending adoption:

In June 2016, the FASB published Accounting Standards Update 2016-13 Financial Instruments – Credit Losses. The amendments in this update provide a new impairment model, known as the current expected credit loss model ("CECL") that is based on expected losses rather than incurred losses. The amendments in this update are also intended to reduce the complexity and reduce the number of impairment models entities use to account for debt instruments. For public business entities that meet the GAAP definition of a SEC filer, the effective date for this update is for fiscal years beginning after 15 December 2019, including interim periods within those fiscal years. The CECL model is applicable to the measurement of credit losses on financial instruments at amortised cost, including loan receivables and held to maturity debt securities. It also applies to off-balance sheet credit exposures not accounted for as insurance (loan commitments, standby letters of credit, financial guarantees, and other similar instruments) and net investments in certain leases recognised by a lessor. In addition, the amendments to Topic 326 require credit losses on available-for-sale securities to be presented as a valuation allowance rather than as a direct write-down.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)*(In thousands of United States dollars)***Note 2: Significant Accounting Policies (continued)****v. New Accounting Pronouncements (continued)**

For debt securities, the guidance will be applied prospectively. Existing purchased credit-impaired ("PCI") assets will be grandfathered and classified as purchased credit deteriorated ("PCD") assets at the date of adoption. The assets will be grossed up for the allowance for expected credit losses for all PCD assets at the date of adoption and will continue to recognize the noncredit discount in interest income based on the yield of such assets as of the adoption date. Subsequent changes in expected credit losses will be recorded through the allowance. For all other assets within the scope of CECL, which are primarily loans for the Bank, a cumulative-effect adjustment will be recognized in retained earnings (accumulated deficit) as of the date of application.

The Bank will apply the provisions of ASU 2016-13 with effect from 1 January 2020. The Bank does not intend to restate comparative information. In addition to the adjustment to opening accumulated deficit and the measurement of expected credit losses, the standard will also result in revisions to accounting policies and procedures, new and additional financial statement note disclosures, changes and amendments to internal control documents, the development of a new risk model and associated methodologies, as discussed above. The new loss model will also require the Bank to collect and maintain additional attributes as it relates to its financial instruments that are within scope of CECL including fair value of collateral, expected performance over the lifetime of the instrument and reasonable and supportable assumptions about future economic conditions. Changes in the required allowance for credit losses will be recorded in the consolidated statement of operations.

The Bank had previously established a working group with multiple members from applicable departments, including credit risk management and finance, to evaluate the requirements of this new standard, to develop a loss model consistent with lifetime expected loss estimates and to design and implement any changes required to current processes. The design and implementation of the new impairment process has been completed with the measurement of expected losses to be primarily based on the product of the respective instrument's probability of default ("PD"), loss given default ("LGD"), and exposure at default ("EAD"), and historically incurred loss rates, respectively. For available-for-sale securities, any allowance for credit losses is based on an impairment assessment. However it is noted that the loss model will continue to be enhanced based on experience of the relevant portfolios.

Based on using data as of 31 December 2019, the total expected adjustment as a result of the adoption of this update on the opening balance of the Bank's net equity at 1 January 2020 is a decrease of \$3.0 million. The estimated impact relates to increases in the allowance for credit losses under the new expected credit loss requirements. The Bank will continue to monitor and refine certain elements of its impairment process in advance of its Q1 2020 reporting.

In April 2019 and November 2019 respectively, the FASB published ASU 2019-04 and ASU 2019-11 Codification Improvements to Topic 326, Financial Instruments—Credit Losses, affecting a variety of topics including Topic 815, Derivatives and Hedging, Topic 825, Financial Instruments and Sub-topic 805-20, Business Combinations—Identifiable Assets and Liabilities, and Any Noncontrolling Interest. The amendments clarify, correct and improve various aspects of the guidance in the following ASU's related to financial instruments: ASU 2016-01 Financial Instruments—Overall (Subtopic 825-10); Recognition and Measurement of Financial Assets and Liabilities, ASU 2016-13 Financial Instruments—Credit Losses (Topic 326); Measurement of Credit Losses on Financial Instruments, and ASU 2017-12 Derivatives and Hedging (Topic 815): Targeted Improvements to Accounting for Hedging Activities. The amendments relating to ASU 2016-01 are effective for fiscal years beginning after December 15, 2019, including interim periods within those fiscal years, early adoption is permitted and it should be applied on a modified-retrospective transition basis. The amendments relating to ASU 2016-13 are effective as noted in ASU 2016-13. The amendments relating to ASU 2017-12 are effective as noted in ASU 2017-12. Other than the impact of ASU 2016-13 as disclosed above, ASU 2019-04 and ASU 2019-11 are not expected to have a material impact on the Bank's financial statements.

In May 2019, the FASB published Accounting Standards Update 2019-05 Financial Instruments - Credit Losses (Topic 326) - Targeted Transition Relief. The amendments in this update provide targeted transition relief that is an option for, and will be available to, all reporting entities within the scope of Topic 326. It provides entities with an option to irrevocably elect the fair value option in Subtopic 825-10, applied on an instrument-by-instrument basis for eligible instruments that are within the scope of Subtopic 326-20 upon adoption of Topic 326. The fair value option election does not apply to held to maturity debt securities. The effective date and transition methodology for the amendments in this update are the same as in ASU 2016-13. The Bank has elected not to adopt this elective guidance.

In March 2019, the FASB published Accounting Standards Update 2019-01 Leases (Topic 842) - Codification Improvements. The amendments in this update provide clarification on three issues relating to ASU 2016-02 Leases (Topic 842): (1) determining the fair value of the underlying asset by lessors that are not manufacturers or dealers; (2) presentation on the statement of cash flows - sales-type and direct financing leases for all lessors that are depository and lending entities within the scope of Topic 942; and (3) transition disclosures related to Topic 250, Accounting Changes and Error Corrections. The transition and effective date provisions for this update apply to issue 1 and issue 2 and are effective for fiscal years beginning after December 15, 2019, and interim periods within those fiscal years, for public business entities. Issue 3 amendments are to the original transition requirements in Topic 842 to clarify that the transition disclosures for Topic 250, paragraphs 250-10-50-1(b)(2) and paragraph 250-10-50-3 are excluded from interim disclosure requirements for Topic 842. The Bank does not anticipate this ASU to have an impact on the Bank.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 3: Cash Due from Banks

	31 December 2019	31 December 2018
Unrestricted		
Non-interest bearing		
Cash and demand deposits with banks	24,453	16,723
Interest bearing		
Demand deposits with banks ¹	109,340	139,313
Cash equivalents	623,614	762,301
Sub-total - Interest bearing	732,954	901,614
Total cash due from banks	757,407	918,337

¹ Interest bearing cash due from banks includes certain demand deposits with banks as at 31 December 2019 in the amount of \$20.1 million (2018: \$25.8 million) that are earning interest at a negligible rate.

Note 4: Short Term Investments

	31 December 2019	31 December 2018
Unrestricted		
Interest earning		
US treasury bills maturing within three months	-	24,878
Total short term investments	-	24,878

Note 5: Investments in debt securities

Amortised Cost, Carrying Amount and Fair Value

On the consolidated balance sheets, available for sale ("AFS") investments are carried at fair value and held to maturity ("HTM") investments are carried at amortised cost.

	31 December 2019				31 December 2018			
	Amortised cost	Gross unrealised gains	Gross unrealised losses	Carrying amount / Fair value	Amortised cost	Gross unrealised gains	Gross unrealised losses	Carrying amount / Fair value
Available for sale								
US government and federal agencies	898,566	9,670	(1,613)	906,623	664,541	1,687	(11,771)	654,457
Non-US government debt securities	3,348	81	-	3,429	3,046	18	-	3,064
Corporate debt securities	-	-	-	-	55,508	-	(1,149)	54,359
Asset-backed securities - Student loans	13,290	-	(399)	12,891	13,290	-	(665)	12,625
Commercial mortgage-backed securities	-	-	-	-	55,504	6	(1,176)	54,334
Residential mortgage-backed securities	44,600	188	(146)	44,648	59,874	-	(1,172)	58,502
Total available for sale	959,804	9,939	(2,152)	967,591	851,563	1,711	(15,933)	837,341

	31 December 2019				31 December 2018			
	Amortised cost/Carrying value	Gross unrealised gains	Gross unrealised losses	Fair value	Amortised cost/Carrying amount	Gross unrealised gains	Gross unrealised losses	Fair value
Held to maturity⁽¹⁾								
US government and federal agencies	924,423	19,488	(277)	943,634	817,565	2,068	(14,694)	804,939
Total held to maturity	924,423	19,488	(277)	943,634	817,565	2,068	(14,694)	804,939

⁽¹⁾ For the periods ended 31 December 2019 and 31 December 2018 non-credit impairments recognised in AOCI/AOCL for held to maturity investments is equal to \$Nil.

During the year ended 31 December 2019, there were Nil purchases of AFS securities from its Parent Bank. During the year ended 31 December 2018, the Bank purchased \$46.8 million of AFS securities and \$0.03 million of accrued interest from its Parent Bank at estimated fair value.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 5: Investments in debt securities (continued)

Investments with unrealised loss positions

The following tables show the fair value and gross unrealised losses of the Bank's available for sale and held to maturity investments with unrealised losses that are not deemed to be other-than-temporarily impaired, aggregated by investment category and length of time that individual securities have been in a continuous unrealised loss position. Debt securities are categorised as being in a continuous loss position for "Less than 12 months" or "12 months or more" based on the point in time that the fair value declined below the cost basis.

31 December 2019	Less than 12 months		12 months or more		Total fair value	Total gross unrealised losses
	Fair value	Gross unrealised losses	Fair value	Gross unrealised losses		
Available for sale						
US government and federal agencies	85,107	(460)	125,749	(1,153)	210,856	(1,613)
Non-US government debt securities	202	-	-	-	202	-
Asset-backed securities - Student loans	-	-	12,891	(399)	12,891	(399)
Residential mortgage-backed securities	-	-	28,531	(140)	28,531	(140)
Total available for sale securities with unrealised losses	85,309	(460)	167,171	(1,692)	252,480	(2,152)
Held to maturity						
US government and federal agencies	-	-	46,411	(277)	46,111	(277)
Total held to maturity securities with unrealised losses	-	-	46,411	(277)	46,111	(277)
31 December 2018	Less than 12 months		12 months or more		Total fair value	Total gross unrealised losses
	Fair value	Gross unrealised losses	Fair value	Gross unrealised losses		
Available for sale						
US government and federal agencies	141,343	(522)	372,832	(11,249)	514,175	(11,771)
Corporate debt securities	14,914	(114)	39,445	(1,035)	54,359	(1,149)
Asset-backed securities - Student loans	-	-	12,625	(665)	12,625	(665)
Commercial mortgage-backed securities	-	-	49,317	(1,176)	49,317	(1,176)
Residential mortgage-backed securities	16,182	(352)	42,320	(820)	58,502	(1,172)
Total available for sale securities with unrealised losses	172,439	(988)	516,539	(14,945)	688,978	(15,933)
Held to maturity						
US government and federal agencies	332,551	(5,441)	285,162	(9,253)	617,713	(14,694)
Total held to maturity securities with unrealised losses	332,551	(5,441)	285,162	(9,253)	617,713	(14,694)

The Bank does not believe that the AFS and HTM investment securities that were in an unrealised loss position as of 31 December 2019 (and 31 December 2018), which were composed of twenty three securities representing 15.64% of the AFS and HTM portfolios' carrying value (2018: eighty four and 79.6%, respectively), represent an OTTI. Total gross unrealised losses were 0.81% of the fair value of affected securities (2018: 2.34%). Management does not intend to sell and it is likely that management will not be required to sell the securities prior to their anticipated recovery. Unrealised losses were attributable primarily to changes in market interest rates, relative to when the investment securities were purchased, and not due to the credit quality of the investment securities. The issuers continue to make timely principal and interest payments on the securities. The following describes the processes for identifying credit impairment in security types with the most significant unrealised losses as shown in the preceding tables.

Management believes that all the **US government and federal agencies securities** do not have any credit losses, given the explicit and implicit guarantees provided by the US federal government.

Management believes that all the **Non-US government debt securities** do not have any credit losses, given the explicit guarantee provided by the issuing government.

Investments in **Asset-backed securities - Student loans** are composed primarily of securities collateralised by Federal Family Education Loan Program loans ("FFELP loans"). FFELP loans benefit from a US federal government guarantee of at least 97% of defaulted principal and accrued interest, with additional credit support provided in the form of over-collateralisation, subordination and excess spread, which collectively total in excess of 100%. Accordingly, the vast majority of FFELP loan-backed securities are not exposed to traditional consumer credit risk.

Investments in **Residential mortgage-backed securities** relate to four securities which are rated AAA (three securities) and Aaa (one security) and possess similar significant credit enhancement as described above. No credit losses were recognised on these securities as the weighted average credit support and the weighted average LTV ratios range from 11% - 22% and 59% - 63%, respectively. Current credit support is significantly greater than any delinquencies experienced on the underlying mortgages.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 5: Investments in debt securities (continued)

Investment maturities

The following table presents the remaining term to contractual maturity of the Bank's securities. The actual maturities may differ as certain securities offer prepayment options to the borrowers.

31 December 2019	Remaining term to maturity						Carrying amount
	Within 3 months	3 to 12 months	1 to 5 years	5 to 10 years	Over 10 years	No specific or single maturity	
Available for sale							
US government and federal agencies	-	-	-	-	-	906,623	906,623
Non-US government debt securities	-	-	202	3,227	-	-	3,429
Asset-backed securities - Student loans	-	-	-	-	-	12,891	12,891
Residential mortgage-backed securities	-	-	-	-	-	44,648	44,648
Total available for sale	-	-	202	3,227	-	964,162	967,591
Held to maturity							
US government and federal agencies	-	-	-	-	-	924,423	924,423
Total held to maturity securities	-	-	-	-	-	924,423	924,423
Total investments	-	-	202	3,227	-	1,888,585	1,892,014
Total by currency							
US dollars	-	-	202	3,227	-	1,888,585	1,892,014
Total investments	-	-	202	3,227	-	1,888,585	1,892,014

31 December 2018	Remaining term to maturity						Carrying amount
	Within 3 months	3 to 12 months	1 to 5 years	5 to 10 years	Over 10 years	No specific or single maturity	
Available for sale							
US government and federal agencies	-	-	-	-	-	654,457	654,457
Non-US government debt securities	-	3,064	-	-	-	-	3,064
Corporate debt securities	-	-	54,359	-	-	-	54,359
Asset-backed securities - Student loans	-	-	-	-	-	12,625	12,625
Commercial mortgage-backed securities	-	-	-	-	-	54,334	54,334
Residential mortgage-backed securities	-	-	-	-	-	58,502	58,502
Total available for sale	-	3,064	54,359	-	-	779,918	837,341
Held to maturity							
US government and federal agencies	-	-	-	-	-	817,565	817,565
Total held to maturity securities	-	-	-	-	-	817,565	817,565
Total investments	-	3,064	54,359	-	-	1,597,483	1,654,906
Total by currency							
US dollars	-	3,064	54,359	-	-	1,597,483	1,654,906
Total investments	-	3,064	54,359	-	-	1,597,483	1,654,906

Pledged Investments

The Bank pledges certain US government and federal agencies investment securities to further secure the Bank's issued customer deposit products. The secured party does not have the right to sell or repledge the collateral.

	31 December 2019		31 December 2018	
	Amortised cost	Fair value	Amortised cost	Fair value
Pledged Investments				
Available for sale	2,950	3,002	2,751	2,707
Held to maturity	3,123	3,177	3,558	3,467

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 5: Investments in debt securities (continued)

Sale Proceeds and Realised Gains and Losses of AFS Securities

	31 December 2019			31 December 2018		
	Sale proceeds	Gross realised gains	Gross realised (losses)	Sale proceeds	Gross realised gains	Gross realised (losses)
AFS securities sold						
Corporate debt securities	55,256	49	(129)	24,975	-	(87)
Commercial mortgage-backed securities	55,991	651	-	-	-	-
Residential mortgage-backed securities	-	-	-	194,357	544	(116)
Net realised gains (losses) recognised in net income	111,247	700	(129)	219,332	544	(203)

Note 6: Loans and Participations Receivable

The following table summarises the composition of the loans and participations receivable portfolio:

	31 December 2019	31 December 2018
Commercial loans		
Banks	33,101	-
Governments	127,509	12,670
Commercial and industrial	66,096	147,891
Commercial overdrafts	5,475	10,156
Total gross commercial loans	232,181	170,517
Less specific allowances for credit losses on government loans	-	(1,688)
Net commercial loans	232,181	168,829
Commercial real estate loans		
Commercial mortgage	179,304	180,420
Construction	57,509	48,909
Total gross commercial real estate loans	236,813	229,329
Less specific allowance for credit losses on commercial real estate loans	-	-
Net commercial real estate loans	236,813	229,329
Consumer loans		
Automobile financing	7,765	6,975
Credit card	26,253	23,623
Overdrafts	3,043	2,242
Other consumer	30,174	27,751
Total gross consumer loans	67,235	60,591
Less specific allowance for credit losses on consumer loans	-	-
Net consumer loans	67,235	60,591
Residential mortgage loans	569,590	555,382
Less specific allowance for credit losses on residential mortgage loans	(181)	(203)
Net residential mortgage loans	569,389	555,159
Total gross loans	1,105,779	1,015,799
Less specific allowance for credit losses	(181)	(1,891)
Less general allowance for credit losses	(909)	(1,673)
Net loans	1,104,689	1,012,235

The principal means of securing residential mortgages, personal, credit card and commercial loans are charges over assets and guarantees. Residential and commercial mortgage loans are generally repayable over periods of up to thirty years and personal, commercial and government loans are generally repayable over terms not exceeding fifteen years. Amounts owing on credit cards are revolving and typically a minimum amount is due within 30 days from billing. The effective yield on total loans as at 31 December 2019 is 4.92% (2018: 5.71%).

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 6: Loans and Participations Receivable (continued)

Age analysis of past due loans (including non-accrual loans)

The following table summarises the past due status of the loans. The aging of past due amounts are determined based on the contractual delinquency status of payments under the loan and this aging may be affected by the timing of the last business day at period end. An account is generally considered to be contractually delinquent when payments have not been made in accordance with the loan terms.

	31 December 2019				Total Current ⁽¹⁾	Total loans
	30 – 59 days	60 – 89 days	90 days or more	Total past due loans		
Commercial loans						
Banks	-	-	-	-	33,101	33,101
Governments	-	-	-	-	127,509	127,509
Commercial and industrial	-	-	-	-	66,096	66,096
Commercial overdrafts	-	-	-	-	5,475	5,475
Total commercial loans	-	-	-	-	232,181	232,181
Commercial real estate loans						
Commercial mortgage	445	-	-	445	178,859	179,304
Construction	-	-	-	-	57,509	57,509
Total commercial real estate loans	445	-	-	445	236,368	236,813
Consumer loans						
Automobile financing	-	-	-	-	7,765	7,765
Credit card	-	-	-	-	26,253	26,253
Overdrafts	-	-	-	-	3,043	3,043
Other consumer	-	16	-	16	30,158	30,174
Total consumer loans	-	16	-	16	67,219	67,235
Residential mortgage loans	2,846	1,466	2,146	6,258	563,292	569,550
Total gross loans	3,091	1,482	2,146	6,719	1,099,060	1,105,779

⁽¹⁾ Loans less than 30 days past due are included in Current.

	31 December 2018				Total Current ⁽¹⁾	Total loans
	30 – 59 days	60 – 89 days	90 days or more	Total past due loans		
Commercial loans						
Governments	-	-	3,750	3,750	8,920	12,670
Commercial and industrial	231	-	-	231	147,460	147,691
Commercial overdrafts	-	-	-	-	10,156	10,156
Total commercial loans	231	-	3,750	3,981	166,536	170,517
Commercial real estate loans						
Commercial mortgage	837	-	-	837	179,583	180,420
Construction	-	-	-	-	48,909	48,909
Total commercial real estate loans	837	-	-	837	228,492	229,329
Consumer loans						
Automobile financing	9	5	-	14	6,961	6,975
Credit card	-	-	-	-	23,623	23,623
Overdrafts	-	-	-	-	2,242	2,242
Other consumer	114	4	-	118	27,633	27,751
Total consumer loans	123	9	-	132	60,459	60,591
Residential mortgage loans	3,861	1,039	3,319	8,249	547,113	555,362
Total gross loans	5,052	1,078	7,069	13,199	1,002,600	1,015,799

⁽¹⁾ Loans less than 30 days past due are included in Current.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 6: Loans and Participations Receivable (continued)

Non-Performing Loans (excluding Purchased Credit Impaired Loans)

	31 December 2019			31 December 2018		
	Non-accrual loans	Accruing loans past due 90 days	Total non-performing loans	Non-accrual loans	Accruing loans past due 90 days	Total non-performing loans
Commercial loans						
Governments	-	-	-	3,750	-	3,750
Commercial and industrial	31	-	31	-	-	-
Total commercial loans	31	-	31	3,750	-	3,750
Commercial real estate loans	-	-	-	-	-	-
Consumer loans						
Automobile financing	-	-	-	-	-	-
Credit cards	-	-	-	-	-	-
Overdrafts	-	-	-	-	-	-
Other consumer	-	-	-	-	-	-
Total consumer loans	-	-	-	-	-	-
Residential mortgage loans	1,632	568	2,200	1,683	194	1,877
Total non-performing loans	1,663	568	2,231	5,433	194	5,627

The table below presents information about the credit quality of the Bank's loan portfolio.

31 December 2019	Pass	Special Mention	Substandard	Non-accrual ⁽¹⁾	Total gross recorded loans
Commercial loans					
Banks	33,101	-	-	-	33,101
Governments	127,509	-	-	-	127,509
Commercial and industrial	64,665	462	938	31	66,096
Commercial overdrafts	5,475	-	-	-	5,475
Total commercial loans	230,750	462	938	31	232,181
Commercial real estate loans					
Commercial mortgage	158,922	19,957	425	-	179,304
Construction	57,509	-	-	-	57,509
Total commercial real estate loans	216,431	19,957	425	-	236,813
Consumer loans					
Automobile financing	7,765	-	-	-	7,765
Credit card	26,253	-	-	-	26,253
Overdrafts	3,043	-	-	-	3,043
Other consumer	30,172	2	-	-	30,174
Total consumer loans	67,233	2	-	-	67,235
Residential mortgage loans	561,911	-	6,007	1,632	569,550
Total gross recorded loans	1,076,325	20,421	7,370	1,663	1,105,779

⁽¹⁾ Excludes purchased credit-impaired loans.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 6: Loans and Participations Receivable (continued)

31 December 2018	Pass	Special Mention	Substandard	Non-accrual ⁽¹⁾	Total gross recorded loans
Commercial loans					
Governments	8,920	-	-	3,750	12,670
Commercial and industrial	146,535	191	965	-	147,691
Commercial overdrafts	10,156	-	-	-	10,156
Total commercial loans	165,611	191	965	3,750	170,517
Commercial real estate loans					
Commercial mortgage	168,311	11,635	474	-	180,420
Construction	48,909	-	-	-	48,909
Total commercial real estate loans	217,220	11,635	474	-	229,329
Consumer loans					
Automobile financing	6,975	-	-	-	6,975
Credit card	23,623	-	-	-	23,623
Overdrafts	2,242	-	-	-	2,242
Other consumer	27,742	9	-	-	27,751
Total consumer loans	60,582	9	-	-	60,591
Residential mortgage loans	545,713	-	7,968	1,683	555,362
Total gross recorded loans	989,126	11,835	9,405	5,433	1,015,799

⁽¹⁾ Excludes purchased credit-impaired loans.

Loans' Credit Quality

The four credit quality classifications set out above are defined below and describe the credit quality of the Group's lending portfolio. These classifications each encompass a range of more granular, internal credit rating grades assigned.

A **pass** loan shall mean a loan that is expected to be repaid as agreed. A loan is classified as pass where the Bank is not expected to face repayment difficulties because the present and projected cash flows are sufficient to repay the debt and the repayment schedule as established by the agreement is being followed.

A **special mention** loan shall mean a loan under close monitoring by the Bank's management. Loans in this category are currently protected and still performing (current with respect to interest and principal payments), but are potentially weak and present an undue credit risk exposure, but not to the point of justifying a classification of substandard.

A **substandard** loan shall mean a loan whose evident unreliability makes repayment doubtful and there is a threat of loss to the Bank unless the unreliability is averted.

A **non-accrual** loan shall mean either management is of the opinion full payment of principal or interest is in doubt or when principal or interest is 90 days past due and for residential loans which are not well secured and in the process of collection.

	31 December 2019		31 December 2018	
	Individually evaluated	Collectively evaluated	Individually evaluated	Collectively evaluated
Total gross loans evaluated for impairment				
Commercial loans	969	231,212	4,715	165,802
Commercial real estate loans	425	236,388	474	228,855
Consumer loans	7	67,228	11	60,580
Residential mortgage loans	6,487	563,063	7,991	547,371
Total gross recorded loans	7,888	1,097,891	13,191	1,002,608

Changes in General and Specific Allowances for Credit Losses

Loan allowances	31 December 2019				31 December 2018	
	Commercial loans	Commercial real estate loans	Consumer loans	Residential mortgage loans	Total loans	Total loans
Allowances at beginning of period	2,375	645	115	429	3,564	5,545
Provision (released)/recorded during the period	(1,715)	(385)	95	112	(1,893)	(1,297)
Recoveries	8	-	112	21	141	409
Charge-offs	(374)	-	(211)	(137)	(722)	(1,093)
Allowances at end of period	294	260	111	425	1,090	3,564
Ending Balance: individually evaluated for impairment	-	-	-	181	181	1,891
Ending Balance: collectively evaluated for impairment	294	260	111	244	909	1,673

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 6: Loans and Participations Receivable (continued)

Impaired Loans (excluding purchased credit impaired loans)

A loan is considered to be impaired when, based on current information and events, the Bank determines that it will not be able to collect all amounts due according to the loan contract, including scheduled interest payments. Impaired loans include all non-accrual loans and all loans modified in a TDR even if full collectability is expected following the restructuring. For the year ended 31 December 2019, the amount of gross interest income that would have been recorded had impaired loans been current was \$ 0.092 million (2018: \$ 0.341 million). The table below presents information about the Bank's impaired loans:

31 December 2019	Impaired loans with an allowance			Impaired loans without an allowance Gross recorded loans	Total impaired loans		
	Gross recorded loans	Specific allowance	Net loans		Gross recorded loans	Specific allowance	Net loans
Commercial loans							
Commercial and industrial	-	-	-	969	969	-	969
Governments	-	-	-	-	-	-	-
Total commercial loans	-	-	-	969	969	-	969
Commercial real estate loans							
Commercial mortgage	-	-	-	425	425	-	425
Total commercial real estate loans	-	-	-	425	425	-	425
Consumer loans							
Automobile financing	-	-	-	-	-	-	-
Credit cards	-	-	-	-	-	-	-
Other consumer	-	-	-	-	-	-	-
Total consumer loans	-	-	-	-	-	-	-
Residential mortgage loans	1,440	(181)	1,259	3,259	4,699	(181)	4,518
Total impaired loans	1,440	(181)	1,259	4,653	6,093	(181)	5,912

31 December 2016	Impaired loans with an allowance			Impaired loans without an allowance Gross recorded loans	Total impaired loans		
	Gross recorded loans	Specific allowance	Net loans		Gross recorded loans	Specific allowance	Net loans
Commercial loans							
Commercial and industrial	-	-	-	965	965	-	965
Commercial overdrafts	3,750	(1,688)	2,062	-	3,750	(1,688)	2,062
Total commercial loans	3,750	(1,688)	2,062	965	4,715	(1,688)	3,027
Commercial real estate loans							
Commercial mortgage	-	-	-	474	474	-	474
Total commercial real estate loans	-	-	-	474	474	-	474
Consumer loans							
Automobile financing	-	-	-	-	-	-	-
Credit cards	-	-	-	-	-	-	-
Other consumer	-	-	-	-	-	-	-
Total consumer loans	-	-	-	-	-	-	-
Residential mortgage loans	1,015	(37)	978	3,652	4,657	(37)	4,620
Total impaired loans	4,765	(1,725)	3,040	5,291	10,056	(1,725)	8,331

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 6: Loans and Participations Receivable (continued)

Average Impaired Loan Balances and Related Recognised Interest Income

31 December 2019	Impaired loans		31 December 2018	Impaired loans	
	Average gross recorded loans	Interest income recognised ¹		Average gross recorded loans	Interest income recognised ¹
Commercial loans					
Commercial and industrial	967	69	985	68	
Governments	1,875	-	1,875	-	
Total commercial loans	2,842	69	2,860	68	
Commercial real estate loans					
Commercial mortgage	450	31	454	42	
Total commercial real estate loans	450	31	454	42	
Consumer loans					
Automobile financing	-	-	-	-	
Other consumer	-	-	2	-	
Total consumer loans	-	-	2	-	
Residential mortgage loans	4,879	189	6,495	155	
Total impaired loans	8,171	289	9,811	265	

¹All interest income recognised on impaired loans relate to loans previously modified in a TDR.

Loans Modified in a TDR

As at 31 December 2019, the Bank has Nil (2018: One) loans that were modified within the last 12 months and subsequently defaulted (i.e. 90 days or more past due following a modification).

	31 December 2019				31 December 2018			
	Number of contracts	Pre-modification recorded loans	Modification: interest capitalisation	Post-modification recorded loans	Number of contracts	Pre-modification recorded loans	Modification: interest capitalisation	Post-modification recorded loans
TDRs entered into during the year								
Residential mortgage loans	-	-	-	-	8	1,258	200	1,458
Total loans modified in a TDR	-	-	-	-	8	1,258	200	1,458

TDRs outstanding	31 December 2019		31 December 2018	
	Accrual	Non-accrual	Accrual	Non-accrual
Commercial loans	936	-	965	-
Commercial real estate loans	425	-	474	-
Residential mortgage loans	3,067	192	3,184	204
Total loans modified in a TDR	4,430	192	4,623	204

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 6: Loans and Participations Receivable (continued)

Purchased Credit Impaired Loans

	31 December 2019				31 December 2018			
	Contractual principal	Non-accretable difference	Accretable difference	Carrying amount	Contractual principal	Non-accretable difference	Accretable difference	Carrying amount
Balance at beginning of year	4,531	(901)	(661)	2,969	6,001	(1,239)	(711)	4,051
Advances and increases in the cash flows expected to be collected	45	28	(28)	45	25	42	(42)	25
Reductions resulting from repayments	(1,577)	247	177	(1,153)	(1,495)	191	92	(1,212)
Reductions resulting from changes in allowances for credit losses	-	166	-	166	-	105	-	105
Reductions resulting from charge-offs	(495)	262	-	(233)	-	-	-	-
Balance at end of year	2,504	(198)	(512)	1,794	4,531	(901)	(661)	2,969

The Bank acquired certain credit-impaired loans as part of the 7 November 2014 acquisition of substantially all retail loans of HSBC (Cayman) Limited. The accretable difference (or "accretable yield") represents the excess of a loan's cash flows expected to be collected over the loan's initial carrying amount.

Note 7: Credit Risk Concentrations

Concentrations of credit risk in the lending and off-balance sheet credit related arrangements portfolios arise when a number of customers are engaged in similar business activities, are in the same geographic region, or when they have similar economic features that would cause their ability to meet contractual obligations to be similarly affected by changes in economic conditions. The Bank regularly monitors various segments of its credit risk portfolio to assess potential concentrations of risks and to obtain collateral when deemed necessary. In the Bank's commercial portfolio, risk concentrations are primarily evaluated by industry and also by geographic region. In the consumer portfolio, concentrations are primarily evaluated by products. Credit exposures include loans, guarantees and acceptances, letters of credit and commitments for undrawn lines of credit. Unconditionally cancellable credit cards and overdrafts lines of credit are excluded from the tables below.

The following table summarises the credit exposure of the Bank by business sector. The on-balance sheet exposure amounts disclosed are net of specific allowances and the off-balance sheet exposure amounts disclosed are gross of collateral held:

	31 December 2019			31 December 2018		
	Loans	Off-balance sheet	Total credit exposure	Loans	Off-balance sheet	Total credit exposure
Banks and financial services	105,780	145,205	250,985	72,619	166,126	238,745
Commercial and merchandising	37,101	32,712	69,813	89,998	48,613	138,611
Governments	127,509	-	127,509	10,952	-	10,952
Individuals	607,292	32,556	639,848	593,688	19,018	612,706
Primary industry and manufacturing	59,055	18	59,073	53,346	18	53,364
Real estate	153,322	-	153,322	176,942	-	176,942
Hospitality industry	14,622	-	14,622	15,538	-	15,538
Transport and communication	917	-	917	795	-	795
Sub-total	1,105,598	210,491	1,316,089	1,013,908	233,775	1,247,683
General allowance	(909)	-	(909)	(1,673)	-	(1,673)
Total	1,104,689	210,491	1,315,180	1,012,235	233,775	1,246,010

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 7: Credit Risk Concentrations (continued)

The following table summarises the credit exposure of the Bank by geographic region for cash and cash equivalents, short-term investments, loans receivable and off-balance sheet exposure. The credit risk concentration by currency for investments is disclosed in Note 5: Investments

	31 December 2019				31 December 2018			
	Cash and cash equivalents and short-term investments	Loans	Off-balance sheet	Total credit exposure	Cash and cash equivalents and short-term investments	Loans	Off-balance sheet	Total credit exposure
Australia	156,443	-	-	156,443	129,331	-	-	129,331
Barbados	-	-	-	-	-	2,063	-	2,063
Bermuda	2,225	175,606	2,087	180,118	1,908	202,060	11,586	215,554
Canada	382,999	-	-	382,999	524,110	-	-	524,110
Cayman Islands	27,318	883,832	208,404	1,119,554	18,138	730,418	222,189	970,745
Guernsey	-	33,101	-	33,101	82,974	-	-	82,974
Japan	11,848	-	-	11,848	10,099	-	-	10,099
New Zealand	5,732	-	-	5,732	623	-	-	623
St. Lucia	-	-	-	-	-	65,000	-	65,000
Switzerland	3,483	-	-	3,483	3,099	-	-	3,099
The Bahamas	-	12,859	-	12,859	-	14,367	-	14,367
United Kingdom	69,328	-	-	69,328	109,891	-	-	109,891
United States	98,031	-	-	98,031	63,043	-	-	63,043
Sub-total	757,407	1,105,598	210,491	2,073,496	943,216	1,013,908	233,775	2,190,899
General allowance	-	(909)	-	(909)	-	(1,673)	-	(1,673)
Total	757,407	1,104,689	210,491	2,072,587	943,216	1,012,235	233,775	2,189,226

At 31 December 2019, 33.01% (2018: 21.32%) of total cash and cash equivalents were placed with a single Canadian (2018: Canadian) Financial Institution with an S&P rating of A-1 (2018: AA-). At 31 December 2019, 0.00% (2018: 2.64%) of the total cash and cash equivalents and short-term investments were held in US Treasury Bills.

Note 8: Premises, Equipment and Computer Software

Category	31 December 2019			31 December 2018		
	Cost	Accumulated depreciation	Net carrying amount	Cost	Accumulated depreciation	Net carrying amount
Land	3,449	-	3,449	3,053	-	3,053
Buildings	46,295	(12,381)	33,914	44,746	(11,329)	33,417
Equipment	3,979	(3,287)	692	3,914	(3,125)	789
Computer hardware and software in use	44,533	(35,784)	8,749	42,123	(31,196)	10,927
Total	98,256	(51,452)	46,804	93,836	(45,650)	48,186

	31 December 2019	31 December 2018
Depreciation		
Buildings (included in property expense)	1,067	1,396
Equipment (included in property expense)	244	360
Computer hardware and software (included in technology & communications expense)	4,798	4,960
Total depreciation charged to non-interest expense	6,099	6,716

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 9: Intangible Assets

	31 December 2019	31 December 2018
Goodwill	551	551
Balance at end of year	551	551

¹See note 20: Business Combinations

Customer relationship intangible assets	31 December 2019			31 December 2018				
	Cost	Accumulated impairment	Accumulated amortisation	Net carrying amount	Cost	Accumulated impairment	Accumulated amortisation	Net carrying amount
Customer relationships	16,517	-	(4,481)	12,036	16,517	-	(3,380)	13,137

Customer relationships are initially valued based on the present value of net cash flows expected to be derived solely from the recurring customer base existing as at the date of acquisition. Customer relationship intangible assets may or may not arise from contracts. There were no intangible asset impairment losses recognised for the year ended 31 December 2019 (2018: Nil). There were no acquisitions of customer intangible assets during the year ended 31 December 2019 (2018: \$5.4 million, of which \$5.0 million was acquired through a business acquisition). During 2019, the amortisation expense amounted to \$1.1 million (2018: \$1.0 million). The estimated aggregate amortisation expense in total for the next five years (until 31 December 2024) is \$5.5 million.

Note 10: Customer Deposits

	31 December 2019	31 December 2018
Demand deposits		
Demand deposits - Non-interest bearing	782,079	715,417
Demand deposits - Interest bearing	2,213,240	2,172,941
Sub-total - demand deposits	2,995,319	2,888,358
Term deposits having a denomination of less than \$100 thousand		
Term deposits maturing within six months	22,086	23,256
Term deposits maturing between six to twelve months	5,023	4,517
Term deposits maturing after twelve months	506	507
Sub-total - term deposits having a denomination of less than \$100 thousand	27,615	28,280
Term deposits having a denomination of \$100 thousand or more		
Term deposits maturing within six months	409,439	390,129
Term deposits maturing between six to twelve months	36,489	49,308
Term deposits maturing after twelve months	6,304	11,482
Sub-total - term deposits having a denomination of \$100 thousand or more	452,232	450,919
Total - term deposits¹	479,847	479,199
Total	3,475,166	3,367,557

¹ As at 31 December 2019, \$0.2 million (2018: \$0.5 million) of the term deposits bear an interest rate of 0%.

The effective yield on interest bearing deposits at 31 December 2019 was 0.25% (2018: 0.26%).

Note 11: Employee Future Benefits

	31 December 2019	31 December 2018
Annual benefit expense		
Defined contribution expense	1,593	1,541
Total	1,593	1,541

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 12: Credit Related Arrangements and Commitments

The Bank enters into contractual commitments to extend credit, normally with fixed expiration dates or termination clauses, at specified rates and for specific purposes. Substantially all of the Bank's commitments to extend credit are contingent upon customers maintaining specific credit standards at the time of loan funding. Management assesses the credit risk associated with certain commitments to extend credit in determining the level of the allowance for possible loan losses.

The following table presents the unfunded legally binding commitments to extend credit with contractual amounts representing credit risk as follows:

	31 December 2019	31 December 2018
Commitments to extend credit	63,443	64,711
Documentary and commercial letters of credit	1,899	30,002
Total	65,252	94,713

Credit Related Arrangements

Standby letters of credit and letters of guarantee are issued at the request of a Bank customer in order to secure the customer's payment or performance obligations to a third party. These guarantees represent an irrevocable obligation of the Bank to pay the third party beneficiary upon presentation of the guarantee and satisfaction of the documentary requirements stipulated therein, without investigation as to the validity of the beneficiary's claim against the customer. Generally, the term of the standby letters of credit does not exceed one year, while the term of the letters of guarantee does not exceed four years. The types and amounts of collateral security held by the Bank for these standby letters of credit and letters of guarantee is generally represented by deposits with the Bank or a charge over assets held in mutual funds.

The Bank considers the fees collected in connection with the issuance of standby letters of credit and letters of guarantee to be representative of the fair value of its obligation undertaken in issuing the guarantee. In accordance with applicable accounting standards related to guarantees, the Bank defers fees collected in connection with the issuance of standby letters of credit and letters of guarantee. The fees are then recognised in income proportionately over the life of the credit agreements.

The following table presents the outstanding financial guarantees with contractual amounts representing credit risk as follows:

	31 December 2019			31 December 2018		
	Gross	Collateral	Net	Gross	Collateral	Net
Standby letters of credit	143,601	143,601	-	137,424	136,544	880
Letters of guarantee	1,638	1,638	-	1,638	1,638	-
Total	145,239	145,239	-	139,062	138,182	880

Collateral is shown at estimated market value less selling cost. Where cash is the collateral, this is shown gross including accrued income.

A guarantee is a contract that contingently requires the guarantor to make payments to a third party based on (i) changes in an underlying interest rate, foreign exchange rate or other variable, including the occurrence or non-occurrence of an event, that is related to an asset, liability or equity security held by the guaranteed party, (ii) an indemnification provided to the third party with the characteristics listed above, (iii) another entity's failure to perform under an obligating agreement, or (iv) another entity's failure to perform related to its indebtedness. As at 31 December 2019 the guarantees that the Bank provided to its customers and other third parties were standby letters of credit and letters of guarantee with a maximum potential amount of future payments of \$89.7 million (2018: \$109.8 million). The carrying value of these amounts on the 31 December 2019 Consolidated Balance Sheet were \$Nil (2018: \$Nil).

The Bank has a facility by one of its custodians, whereby the Bank may offer up to \$200 million of standby letters of credit to its customers on a fully secured basis. Under the standard terms of the facility, the custodian has the right to set-off against securities held of 110% of the utilised facility. At 31 December 2019, \$143.4 million (2018: \$135.0 million) of standby letters of credit were issued under this facility.

Legal Proceedings

There are a number of actions and legal proceedings pending against the Bank and its subsidiaries which arose in the normal course of its business. Management, after reviewing all actions and proceedings, pending against or involving the Bank and its subsidiaries, considers that the resolution of these matters would not be material to the consolidated financial position of the Bank.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 13: Leases

The Bank enters into operating lease agreements either as the lessee or the lessor, primarily for office and parking spaces. The terms of the existing leases, including renewal options that are reasonably certain to be exercised, extend up to the year 2029. Certain lease payments will be adjusted during the related leases' term based on movements in the relevant consumer price index.

	Year ended 31 December 2019
Lease Costs	
Operating lease costs	934
Short-term lease costs	77
Total lease cost	1,011
Operating lease income	-
Other information for the period	
Right-of-use-assets related to new operating lease liabilities	2,346
Operating cash flows from operating leases	907
Other information at end of period	As at 31 December 2019
Operating leases right-of-use assets (included in other assets on the balance sheets)	3,419
Operating leases liabilities (included in other liabilities on the balance sheets)	3,446
Weighted average remaining lease term for operating leases (in years)	6.03
Weighted average discount rate for operating leases	5.25%

Commitments

The following table summarises the maturity analysis of the Bank's commitments for long-term leases:

Year ending 31 December 2019	Operating Leases
2020	1,048
2021	778
2022	566
2023	378
2024	242
2025 & thereafter	1,047
Total commitments	4,059
Less: effect of discounting cash flows to their present value	(613)
Operating lease liabilities	3,446

Rental expense for premises leased on a long-term basis for the year ended 31 December 2018 amounted to \$1.347 million.

Note 14: Interest Income

Loans

The following table presents the components of loan interest income:

	31 December 2019	31 December 2018
Contractual interest earned on mortgages	36,653	35,968
Contractual interest earned on other loans	16,684	17,982
Subtotal contractual interest earned	55,337	53,950
Amortisation of loan origination fees (net of amortised costs)	1,109	585
Total loan interest income	56,446	54,535
Balance of unamortised loan fees included in loans as at year end	2,794	2,540

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 15: Accounting for Derivative Instruments and Risk Management

The Bank uses derivatives for risk management purposes and to meet the needs of its customers. The Bank's derivative contracts principally involve over-the-counter ("OTC") transactions that are privately negotiated between the Bank and the counterparty to the contract and include interest rate contracts and foreign exchange contracts. The Bank may pursue opportunities to reduce its exposure to credit losses on derivatives by entering into International Swaps and Derivatives Association master agreements ("ISDAs"). Depending on the nature of the derivative transaction, bilateral collateral arrangements may be used as well. When the Bank is engaged in more than one outstanding derivative transaction with the same counterparty, and also has a legally enforceable master netting agreement with that counterparty, the net marked to market exposure represents the netting of the positive and negative exposures with that counterparty. When there is a net negative exposure, the Bank regards its credit exposure to the counterparty as being zero. The net marked to market position with a particular counterparty represents a reasonable measure of credit risk when there is a legally enforceable master netting agreement between the Bank and that counterparty. For the years ended 2019 and 2018, the Bank elected not to net its derivative transactions.

Certain of these agreements contain credit risk-related contingent features in which the counterparty has the option to accelerate cash settlement of the Bank's net derivative liabilities with the counterparty in the event the Bank's credit rating falls below specified levels or the liabilities reach certain levels.

All derivative financial instruments, whether designated as hedges or not, are recorded on the consolidated balance sheet at fair value within other assets or other liabilities. The accounting for changes in the fair value of a derivative in the Consolidated Statements of Operations depends on whether the contract has been designated as a hedge and qualifies for hedge accounting.

Notional amounts

The notional amounts are not recorded as assets or liabilities on the Consolidated Balance Sheets as they represent the face amount of the contract to which a rate or price is applied to determine the amount of cash flows to be exchanged. Notional amounts represent the volume of outstanding transactions and do not represent the potential gain or loss associated with market risk or credit risk of such instruments. Credit risk is limited to the positive fair value of the derivative instrument, which is significantly less than the notional amount.

Fair value

Derivative instruments, in the absence of any compensating up-front cash payments, generally have no market value at inception. They obtain value, positive or negative, as relevant exchange rates change. The potential for derivatives to increase or decrease in value as a result of the foregoing factors is generally referred to as market risk. Market risk is managed within clearly defined parameters as prescribed by senior management of the Bank. The fair value is defined as the profit or loss associated with replacing the derivative contracts at prevailing market prices.

Risk management derivatives comprise of derivatives not formally designated as hedges. These are entered into to manage foreign exchange risk of the Bank's exposure. Changes in the fair value of derivative instruments not formally designated as hedges are recognised in foreign exchange revenue.

Client service derivatives

The Bank enters into foreign exchange contracts primarily to meet the foreign exchange needs of its customers. Foreign exchange contracts are agreements to exchange specific amounts of currencies at a future date at a specified rate of exchange. Changes in the fair value of client services derivative instruments are recognised in foreign exchange income.

The following table shows the aggregate notional amounts of derivative contracts outstanding and respective gross positive or negative fair value. Fair value of derivatives is recorded in the Consolidated Balance Sheets in Other assets and Other liabilities. Gross positive fair values are recorded in Other assets and gross negative fair values are recorded in Other liabilities, and the Bank has not netted any derivatives on the Consolidated Balance Sheets.

31 December 2019	Derivative Instrument	Number of contracts	Notional amounts	Gross Positive fair value	Gross Negative fair value	Net fair value
Client services derivatives						
	Spot and forward foreign exchange	98	405,205	853	(701)	152
Total derivative instruments		98	405,205	853	(701)	152

31 December 2018	Derivative Instrument	Number of Contracts	Notional amounts	Gross Positive fair value	Gross Negative fair value	Net fair value
Client services derivatives						
	Spot and forward foreign exchange	146	571,778	7,111	(6,907)	204
Total derivative instruments		146	571,778	7,111	(6,907)	204

The Bank has not provided or received any collateral with respect to the derivative contracts held with third party institutions as at 31 December 2019 and 2018.

We manage derivative exposure by monitoring the credit risk associated with each counterparty using counterparty specific credit risk limits, using master netting arrangements where appropriate and obtaining collateral. The Bank elected not to offset in the consolidated balance sheets certain gross derivative assets and liabilities subject to netting agreements.

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 15: Accounting for Derivative Instruments and Risk Management (continued)

The Bank also elected not to offset certain derivative assets or liabilities and all collateral received or paid that the Bank or the counterparties could legally offset in the event of default. In the tables below, these positions are deducted from the net fair value presented in the consolidated balance sheets in order to present the net exposures. The collateral values presented in the following table are limited to the related net derivative asset or liability balance and, accordingly, do not include excess collateral received or paid.

	Gross fair value recognised	Less: Offset applied under master netting agreements	Net fair value presented in the consolidated balance sheets	Less: derivative assets / liabilities not offset	Less: cash collateral received / paid	Exposures net of collateral
31 December 2019						
Derivative assets						
Spot and forward foreign exchange and currency swaps	853	-	853	-	-	853
Derivative liabilities						
Spot and forward foreign exchange and currency swaps	(701)	-	(701)	-	-	(701)
Net positive fair value			152	-		
31 December 2018						
Derivative assets						
Spot and forward foreign exchange and currency swaps	7,111	-	7,111	-	-	7,111
Derivative liabilities						
Spot and forward foreign exchange and currency swaps	(6,907)	-	(6,907)	-	-	(6,907)
Net positive fair value			204	-		

The following table shows the location and amount of gains recorded in the Consolidated Statement of Operations on derivative instruments outstanding.

Derivative instrument	Consolidated Statement of Operations line item	For the year ended	
		31 December 2019	31 December 2018
Forward foreign exchange	Foreign exchange revenue	152	204
Total net gains recognised in net income		152	204

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 16: Fair Value of Financial Instruments

The following table presents the financial assets and liabilities that are measured at fair value on a recurring basis. Management classifies these items based on the type of inputs used in their respective fair value determination as described in Note 2: Significant Accounting Policies.

Management reviews the price of each security monthly, comparing market values to expectations and to the prior month's price. Management's expectations are based upon knowledge of prevailing market conditions and developments relating to specific issuers and/or asset classes held in the investment portfolio. Where there are unusual or significant price movements, or where a certain asset class has performed out-of-line with expectations, the matter is reviewed by the Bank's Asset and Liability Committee.

Financial instruments in Level 1 include listed equity shares and actively traded and redeemable shares of mutual funds.

Financial instruments in Level 2 include equity securities not actively traded, certificate of deposits, corporate bonds, mortgage-backed securities and other asset-backed securities, interest rate swaps, caps and forward foreign exchange contracts, and mutual funds not actively traded.

Financial instruments in Level 3 include asset-backed securities for which the market is relatively illiquid and for which information about actual trading prices is not readily available.

There were no transfers between Level 1 and Level 2 or Level 2 and Level 3 during the year ended 31 December 2019 and the year ended 31 December 2018.

Items that are recognised at fair value on a recurring basis

	31 December 2019				31 December 2018			
	Fair value			Total carrying amount / Fair value	Fair value			Total carrying amount / Fair value
	Level 1	Level 2	Level 3		Level 1	Level 2	Level 3	
Financial assets								
Debt securities								
Available for sale								
US government and federal agencies	-	906,623	-	906,623	-	654,457	-	654,457
Non-US government debt securities	-	3,429	-	3,429	-	3,064	-	3,064
Corporate debt securities	-	-	-	-	-	54,359	-	54,359
Asset-backed securities - Student loans	-	-	12,891	12,891	-	-	12,625	12,625
Commercial mortgage-backed securities	-	-	-	-	-	54,334	-	54,334
Residential mortgage-backed securities	-	44,648	-	44,648	-	58,502	-	58,502
Total Available for sale	-	954,700	12,891	967,591	-	824,716	12,625	837,341
Other assets - Derivatives	-	853	-	853	-	7,111	-	7,111
Financial liabilities								
Other liabilities - Derivatives	-	701	-	701	-	6,907	-	6,907

The level 3 financial instruments shown as Asset backed securities - Student loans in the above table is Federal Family Education Loan Program ("FFELP loans") guaranteed student loan security and is valued using a non-binding broker quote. The fair value provided by the broker is the last trading price of similar securities but as the market for the security is illiquid, a Level 2 classification is not supported.

Level 3 reconciliation	31 December 2019		31 December 2018	
	Available for sale investments	Total	Available for sale investments	Total
Carrying amount at beginning of year	12,625	12,625	12,493	12,493
Purchases	-	-	-	-
Proceeds from sale / Capital distributions	-	-	-	-
Realised and unrealised losses recognised in net income	-	-	-	-
Realised and unrealised gains recognised in other comprehensive income	266	266	132	132
Transfers in and out of Level 3	-	-	-	-
Carrying amount at end of year	12,891	12,891	12,625	12,625

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(in thousands of United States dollars)

Note 16: Fair Value of Financial Instruments (continued)

The following table presents quantitative information about recurring fair value measurements of assets classified within Level 3 of the fair value hierarchy.

Financial Instrument Type	Valuation Technique	31 December 2019	31 December 2018
		Fair Value	Fair Value
Asset-backed securities - Student loans	Unadjusted third party priced	12,891	12,625

Items other than those recognised at fair value on a recurring basis

	31 December 2019				31 December 2018		
	Fair value hierarchy	Carrying amount	Fair value	Appreciation / (depreciation)	Carrying amount	Fair value	Appreciation / (depreciation)
Financial assets							
Cash due from banks	Level 1	757,407	757,407	-	918,337	918,337	-
Short term investments	Level 1	-	-	-	24,878	24,878	-
Investments held to maturity	Level 2	924,423	943,634	19,211	817,565	804,939	(12,626)
Loans, net of allowance for credit losses	Level 2	1,104,689	1,106,674	1,985	1,012,235	1,012,206	(29)
Financial liabilities							
Customer deposits							
Demand deposits	Level 2	2,995,319	2,995,319	-	2,888,358	2,888,358	-
Term deposits	Level 2	479,847	480,148	(301)	479,199	479,463	(254)

Note 17: Interest Rate Risk

The following table sets out the assets, liabilities and shareholder's equity on the date of the earlier of contractual maturity, expected maturity or repricing date. Use of this table to derive information about the Bank's interest rate risk position is limited by the fact that customers may choose to terminate their financial instruments at a date earlier than the contractual maturity or repricing date. Examples of this include fixed-rate mortgages, which are shown at contractual maturity but which may pre-pay earlier, and certain term deposits, which are shown at contractual maturity but which may be withdrawn before their contractual maturity subject to prepayment penalties and notice periods. Investments are shown based on remaining contractual maturities. The remaining contractual principal maturities for mortgage-backed securities (primarily US government agencies) do not consider prepayments. Remaining expected maturities will differ from contractual maturities because borrowers may have the right to prepay obligations before the underlying mortgages mature.

31 December 2019	Earlier of contractual maturity or repricing date					Non-interest bearing funds	Total
	Within 3 months	3 to 6 months	6 to 12 months	1 to 5 years	After 5 years		
(in \$ millions)							
Assets							
Cash due from banks	733	-	-	-	-	24	757
Short term investments	-	-	-	-	-	-	-
Investments	178	22	2	41	1,549	-	1,892
Loans	806	9	48	93	149	-	1,105
Other assets	-	-	-	-	-	85	85
Total assets	1,717	31	50	134	1,798	109	3,839
Liabilities and shareholder's equity							
Shareholder's equity	-	-	-	-	-	302	302
Demand deposits	2,213	-	-	-	-	782	2,995
Term deposits	356	75	42	7	-	-	480
Other liabilities	-	-	-	-	-	62	62
Total liabilities and shareholder's equity	2,589	75	42	7	-	1,146	3,839
Interest rate sensitivity gap	(852)	(44)	8	127	1,798	(1,037)	-
Cumulative interest rate sensitivity gap	(852)	(896)	(888)	(761)	1,037	-	-

Butterfield Bank (Cayman) Limited
Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 17: Interest Rate Risk (continued)

31 December 2018	Earlier of contractual maturity or repricing date						Total
	Within 3 months	3 to 6 months	6 to 12 months	1 to 5 years	After 5 years	Non-interest bearing funds	
(in \$ millions)							
Assets							
Cash due from banks	902	-	-	-	-	16	918
Short term investments	25	-	-	-	-	-	25
Investments	209	17	3	122	1,304	-	1,655
Loans	708	143	-	127	32	2	1,012
Other assets	-	-	-	-	-	95	95
Total assets	1,844	160	3	249	1,336	113	3,705
Liabilities and shareholder's equity							
Shareholder's equity	-	-	-	-	-	272	272
Demand deposits	2,173	-	-	-	-	715	2,888
Term deposits	308	106	54	11	-	-	479
Other liabilities	-	-	-	-	-	66	66
Total liabilities and shareholder's equity	2,481	106	54	11	-	1,053	3,705
Interest rate sensitivity gap	(637)	54	(51)	238	1,336	(940)	-
Cumulative interest rate sensitivity gap	(637)	(583)	(634)	(396)	940	-	-

Note 18: Regulatory Capital

The Bank is subject to capital requirements of the Basel II framework as defined by the Cayman Islands Monetary Authority ("CIMA"), which came into effect on 1 January 2011 in the Cayman Islands. The measure of capital strength established by CIMA for the Bank is the risk weighted total capital ratio with a minimum of 11%. At 31 December 2019 the risk weighted capital ratio was 21.12% (2018: 20.68%).

Note 19: Related Party Transactions

	31 December 2019	31 December 2018
Consolidated Balance Sheet		
Assets		
Cash due from banks – parent and affiliates	2,224	84,882
Loans to staff	35,697	30,913
Loan to affiliated entity	33,101	-
Accrued interest	227	34
Other assets - affiliates	7,256	8,616
Liabilities		
Customer deposits – affiliates and other related parties	6,907	28,173
Other liabilities – parent and affiliates	2,432	3,035
Consolidated Statement of Operations		
Non-Interest Income		
Asset Management	697	681
Net-Interest Income		
Interest Income – Deposits with banks	538	416
Interest Income – Loans to affiliated entities and other related parties	493	-
Interest Expense – Deposits with banks	40	-
Non-Interest Expense		
Salaries and staff benefits	1,056	818
Professional and outside services	2,415	1,915
Other expenses	1,416	1,577

Butterfield Bank (Cayman) Limited

Notes to the Consolidated Financial Statements (continued)

(In thousands of United States dollars)

Note 19: Related Party Transactions (continued)

The Bank provides, as a benefit to employees, loan facilities at preferred lending rates and banking services at reduced charges.

The Bank established a programme to offer loans with preferential rates to eligible Bank employees, subject to certain conditions set by the Bank and provided that such employees meet certain credit criteria. Loan payments are serviced by automatically debiting the employee's chequing or savings account with the Bank. Applications for loans are handled according to the same policies as those for the Bank's regular retail banking clients. The Bank's ability to offer preferential rates on loans depends upon a number of factors, including market conditions, regulations and the Bank's overall profitability. The Bank has the right to change its employee loan policy at any time after notifying participants. The interest rate benefit to employees for the year ended 31 December 2019 was \$0.734 million (2018: \$0.673 million).

Significant balances due and from affiliated entities other than the Parent Bank are included in Loans and Bank deposits. During the year the Bank lent GBP 25 million to its Guernsey affiliate, repayable in full by 15 July 2029 at a variable interest rate based on the Bank of England prime rate plus 2.5%, subject to a floor of 3.00%. The subordinated debt is treated as a loan of a capital nature for regulatory purposes. In the ordinary course of business, the Bank receives from and provides to its affiliated and other related corporations, normal banking services on terms similar to those offered to non-related parties. The non-interest expenses are comprised of share based compensation allocations from the Parent Bank along with shared professional services allocations and loan and collateral administration fees to parent and subsidiary of parent.

Classified in Loans and participation receivables is:

Loan participation receivables from the Bank's Parent at 31 December 2019 totalled \$152.9 million (2018: \$253.6 million).

The Bank assigned \$47.7 million of a loan it originated to its Guernsey based affiliate. The outstanding balance on that assigned loan was \$47.4 million as at 31 December 2019.

Note 20: Business combinations

On 29 March 2018, the Bank concluded the acquisition of 100% of the share capital of Deutsche Bank International Trust Co. (Cayman) Limited ("DBIT") as part of the Parent Bank's acquisition of Deutsche Bank's Global Trust Solution ("GTS") business, excluding its US operations. The acquisition was undertaken to enhance the Bank's market presence in the global trust service market. Subsequent to the acquisition, the name was changed from DBIT to Butterfield Fiduciary Services (Cayman) Limited.

The assets acquired consist mainly of cash, customer relationship intangibles and accounts receivable. The liabilities assumed consist mainly of deferred revenues and accounts payable.

The fair value of the net assets acquired and allocation of purchase is summarised as follows:

	As at March 29, 2018
Total cash consideration transferred	7,239
Assets acquired	
Cash due from banks	2,202
Intangible assets (estimated useful life of 15 years)	4,958
Other assets ¹	788
Total assets acquired	7,948
Liabilities acquired (included in Other liabilities on the balance sheet)	1,250
Excess purchase price (Goodwill)	551

¹Other assets consist of trade receivables with a fair value of \$0.788 million. This includes gross receivables of \$1.515 million and provision for bad debts of \$0.727 million.

Asset acquisition

On 15 February 2018, the Bank had entered into a relationship transfer agreement with Deutsche Bank's banking and custody business in the Cayman Islands. During 2018, certain customer deposit, custody and letters of credit relationships were transferred to the Bank; all transfers were completed during the fourth quarter.

Note 21: Subsequent Events

The financial statements were available to be issued and subsequent events have been evaluated up to 20 February 2020.

独立監査人報告書

バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッドの取締役会御中

我々は、2019年12月31日および2018年12月31日現在の連結貸借対照表、ならびに同日に終了した年度の関連連結運用計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本変動計算書および連結キャッシュ・フロー計算書から構成される、バターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッドおよびその子会社の添付の連結財務書類を監査した。

連結財務書類に関する経営陣の責任

経営陣は、米国一般会計原則に従った連結財務書類の作成および公正な表示に責任を負う。かかる責任には、詐欺によるものであれ、過誤によるものであれ、重大な虚偽記載がない連結財務書類の作成および公正な表示に関する内部統制の設計、実施、ならびに維持が含まれる。

監査人の責任

我々の責任は、我々が実施した監査に基づき連結財務書類に関する見解を表明することである。我々は、米国一般監査基準に従い監査を実施した。米国一般監査基準は、連結財務書類に重大な虚偽陳述がないか否かに関する合理的保証を得よう監査を計画し、実施することを我々監査人に対し求める。

監査には、連結財務書類における金額および開示内容に関する監査証拠を獲得する手順の実施が必要となる。選択された手順は、詐欺によるものであれ、過誤によるものであれ、連結財務書類の重大な虚偽記載のリスクの査定を含め、我々の判断にかかっている。かかるリスク査定を行う際、我々は当該状況において適切な監査手順を設計するため、当銀行による連結財務書類の作成および公正な表示に関する内部統制を考慮するが、当銀行の内部統制の効果についての見解を表明する目的のために考慮する訳ではない。従って、我々は内部統制については何ら意見表明を行わない。監査にはまた、連結財務書類の全般的表示に対する評価と同様、採用される会計方針の妥当性、ならびに会社経営陣が行った重要な会計上の見積もりの合理性に対する評価が含まれる。我々は、我々が獲得した監査証拠は我々の監査意見についての根拠を与えるのに十分かつ適切なものであると考える。

見解

我々の見解では、上で言及されている連結財務書類は、米国一般会計原則に従い、2019年12月31日および2018年12月31日現在のバターフィールド・バンク（ケイマン）リミテッドおよびその子会社の財務状態、ならびに同日に終了した年度の営業成績およびキャッシュ・フローを重要な全ての点において公正に表示している。

ブライスウォーターハウスクーパース
ケイマン諸島
2020年2月20日

Report of Independent Auditors

To the Board of Directors of Butterfield Bank (Cayman) Limited

We have audited the accompanying consolidated financial statements of Butterfield Bank (Cayman) Limited and its subsidiaries, which comprise the consolidated balance sheets as of December 31, 2019 and December 31, 2018, and the related consolidated statements of operations, comprehensive income, changes in shareholder's equity and cash flows for the years then ended.

Management's Responsibility for the Consolidated Financial Statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of the consolidated financial statements in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America; this includes the design, implementation, and maintenance of internal control relevant to the preparation and fair presentation of consolidated financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

Auditor's Responsibility

Our responsibility is to express an opinion on the consolidated financial statements based on our audits. We conducted our audits in accordance with auditing standards generally accepted in the United States of America. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the consolidated financial statements are free from material misstatement.

An audit involves performing procedures to obtain audit evidence about the amounts and disclosures in the consolidated financial statements. The procedures selected depend on our judgment, including the assessment of the risks of material misstatement of the consolidated financial statements, whether due to fraud or error. In making those risk assessments, we consider internal control relevant to the Company's preparation and fair presentation of the consolidated financial statements in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control. Accordingly, we express no such opinion. An audit also includes evaluating the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of significant accounting estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the consolidated financial statements. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our audit opinion.

Opinion

In our opinion, the consolidated financial statements referred to above present fairly, in all material respects, the financial position of Butterfield Bank (Cayman) Limited and its subsidiaries as of December 31, 2019 and December 31, 2018, and the results of their operations and their cash flows for the years then ended in accordance with accounting principles generally accepted in the United States of America.

PricewaterhouseCoopers

Cayman Islands

February 20, 2020

() 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は本書提出代理人が別途保管している。